

**人口減少・少子高齢化に対応した
施策検討に係る調査（追跡）**

報 告 書

平成 27 年 6 月

株式会社 ちばぎん総合研究所

目 次

調査の概要	1
1. ふたたび千葉県に住むことについて(全員回答)	6
2. 将来ふたたび千葉県に「とても住みたい」「やや住みたい」と回答した人	39
3. 将来ふたたび千葉県に住む意向について「どちらともいえない」と回答した人	46
4. 将来ふたたび千葉県に「あまり住みたくない」「まったく住みたくない」と回答した人	48
5. ふたたび千葉県に住むことを検討する場合、自治体の取組みで重要なこと(全員回答)	50

■調査の概要

1. 趣 旨

○平成 26 年度に実施した「人口減少・少子高齢化に対応した施策検討に係る調査」において、千葉県から転出した女性にアンケートを実施したところ、53.1%が「将来また千葉県に住みたい」と回答したことを受け、その理由等について追跡調査を行い、千葉県人口ビジョン及び千葉県総合戦略の策定における基礎資料とするもの。

2. 調査の方法

(1) 調査時期

・平成 27 年 6 月 3 日～11 日

(2) 調査対象

・「人口減少・少子高齢化に対応した施策検討に係る調査」中、「首都圏住民向け WEB アンケート調査」において調査対象とした平成 23 年 4 月以降に千葉県から転出した女性 1,000 サンプル

(3) 調査方法

・インターネットを介した WEB アンケート調査

(4) 回収数

364 (回収率 36.4%)

(参考) 調査結果の見方

1. 本文中の「SA」、「MA」は以下の略称である。また、「n」はその設問の有効回答数を示す。
 - ・「SA」(Single Answer)：単一回答形式（選択肢の中から 1 つを選択してもらう設問）
 - ・「MA」(Multiple Answer)：複数回答形式（選択肢の中から複数を選択してもらう設問）
2. 集計結果の比率は、各設問の標本数を 100%とした百分比(%)で表示した。原則として小数点第 2 位を四捨五入してある。その結果として「SA」(単一回答形式)では、この比率の合計が 100%にならないこともある。
3. 「MA」(複数回答形式)では回答者が複数の選択肢を選択するため、百分比(%)の合計は、一般的に 100%を上回る。
4. 見やすさに配慮するために、以下の取組みを行っている。
 - 本文中のグラフ・表中の選択肢標記の語句の簡略化
 - クロス集計で比較対象とする選択肢を、主なもののみ限定

○回答者の属性

①年齢

	【回答】	回答数	%
1	20歳代	61	16.8
2	30歳代	146	40.1
3	40歳代	110	30.2
4	50歳代	32	8.8
5	60歳代	13	3.6
6	70歳以上	2	0.5
	合計	364	100.0

②就業・就学形態

	【回答】	回答数	%
1	フルタイム就業	129	35.4
2	パートタイム就業	78	21.4
3	無職・専業主婦・学生	157	43.1
	合計	364	100.0

③家族構成

	【回答】	回答数	%
1	一人暮らし等	66	18.1
2	夫婦のみ	119	32.7
3	二世帯同居（親と子）	162	44.5
4	三世帯同居（祖父母と親と子）	17	4.7
	合計	364	100.0

④子どもとの同居

	【回答】	回答数	%
1	子どもはいない	205	56.3
2	就学前	97	26.6
3	小学校	38	10.4
4	中学校	16	4.4
5	高等学校	14	3.8
6	短大・大学・大学院・高専・専門学校	9	2.5
7	社会人・アルバイト等	14	3.8
	合計	364	100.0

⑤千葉県出身

	【回答】	回答数	%
1	千葉県出身	107	29.4
2	千葉県以外の出身	257	70.6
	合計	364	100.0

⑥千葉県居住年数

	【回答】	回答数	%
1	5年未満	99	27.2
2	5年以上10年未満	68	18.7
3	10年以上20年未満	62	17.0
4	20年以上30年未満	70	19.2
5	30年以上40年未満	49	13.5
6	40年以上	16	4.4
	合計	364	100.0

⑦転居前の居住地

	【回答】	回答数	%
1	千葉市	56	15.4
2	市川市	49	13.5
3	船橋市	56	15.4
4	松戸市	41	11.3
5	柏市	30	8.2
6	市原市	9	2.5
7	習志野市	9	2.5
8	八千代市	6	1.6
9	浦安市	25	6.9
10	野田市	6	1.6
11	流山市	9	2.5
12	我孫子市	7	1.9
13	鎌ヶ谷市	9	2.5
14	成田市	7	1.9
15	佐倉市	6	1.6
16	四街道市	3	0.8
17	八街市	1	0.3
18	印西市	4	1.1
19	白井市	2	0.5
20	富里市	3	0.8
21	木更津市	4	1.1
22	君津市	2	0.5
23	富津市	0	0.0
24	袖ヶ浦市	1	0.3
25	香取市	0	0.0
26	銚子市	2	0.5
27	旭市	1	0.3
28	匝瑳市	3	0.8
29	東金市	2	0.5
30	山武市	1	0.3
31	大網白里市	1	0.3
32	茂原市	0	0.0
33	勝浦市	1	0.3
34	いすみ市	0	0.0
35	館山市	0	0.0
36	鴨川市	1	0.3
37	南房総市	1	0.3
38	酒々井町	0	0.0
39	栄町	2	0.5
40	神崎町	0	0.0
41	多古町	0	0.0
42	東庄町	0	0.0
43	九十九里町	1	0.3
44	芝山町	0	0.0
45	横芝光町	0	0.0
46	一宮町	0	0.0
47	睦沢町	1	0.3
48	長生村	0	0.0
49	白子町	0	0.0
50	長柄町	0	0.0
51	長南町	1	0.3
52	大多喜町	0	0.0
53	御宿町	1	0.3
54	鋸南町	0	0.0
	合計	364	100.0

⑧現在の居住地

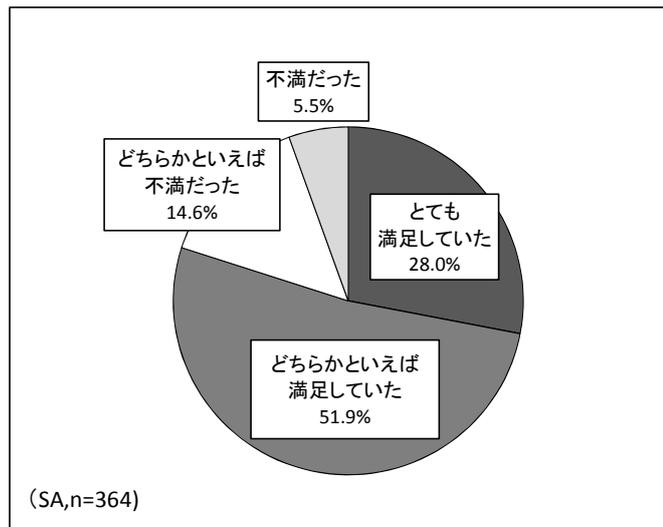
	【回答】	回答数	%
1	北海道	7	1.9
2	青森県	2	0.5
3	岩手県	1	0.3
4	宮城県	1	0.3
5	秋田県	1	0.3
6	山形県	0	0.0
7	福島県	0	0.0
8	茨城県	2	0.5
9	栃木県	2	0.5
10	群馬県	8	2.2
11	埼玉県	55	15.1
12	東京都	161	44.2
13	神奈川県	38	10.4
14	新潟県	3	0.8
15	富山県	2	0.5
16	石川県	0	0.0
17	福井県	0	0.0
18	山梨県	1	0.3
19	長野県	5	1.4
20	岐阜県	2	0.5
21	静岡県	11	3.0
22	愛知県	12	3.3
23	三重県	1	0.3
24	滋賀県	1	0.3
25	京都府	0	0.0
26	大阪府	9	2.5
27	兵庫県	11	3.0
28	奈良県	2	0.5
29	和歌山県	0	0.0
30	鳥取県	0	0.0
31	島根県	0	0.0
32	岡山県	3	0.8
33	広島県	3	0.8
34	山口県	2	0.5
35	徳島県	0	0.0
36	香川県	0	0.0
37	愛媛県	1	0.3
38	高知県	0	0.0
39	福岡県	10	2.7
40	佐賀県	0	0.0
41	長崎県	2	0.5
42	熊本県	2	0.5
43	大分県	0	0.0
44	宮崎県	0	0.0
45	鹿児島県	2	0.5
46	沖縄県	1	0.3
	合計	364	100.0

1. ふたたび千葉県に住むことについて（全員回答）

（1）千葉県の住みごころ

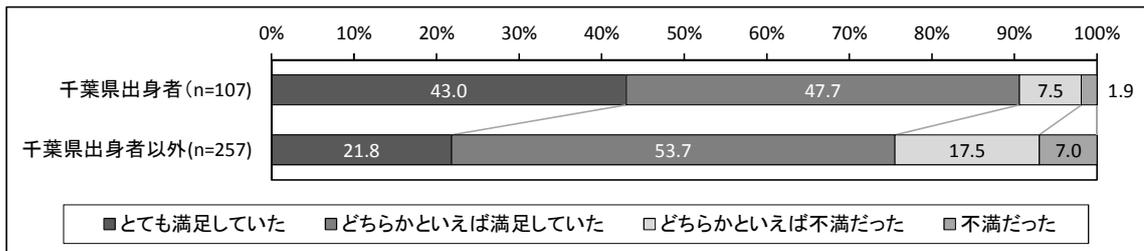
問 千葉県にんでいたときの住みごころに満足していましたか。（SA）

⇒千葉県での住みごころに「満足していた」とした人は、「とても」「どちらかといえば」の合計で79.9%であった。

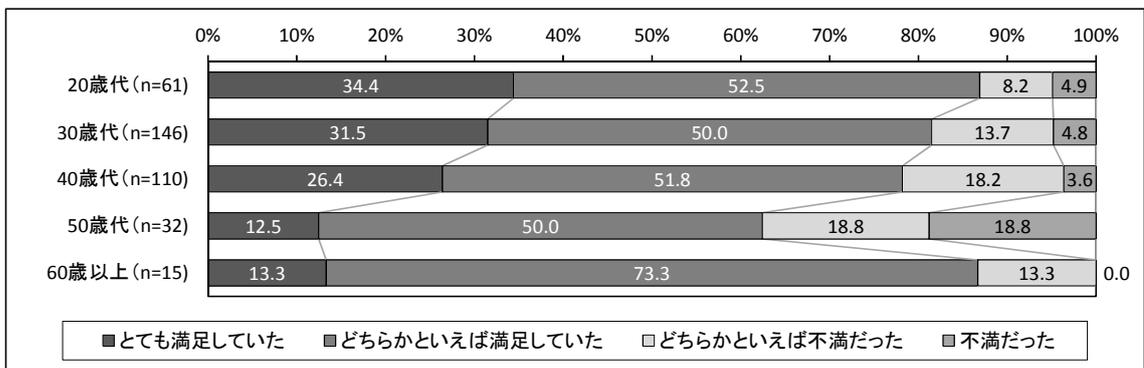


■ 属性別動向

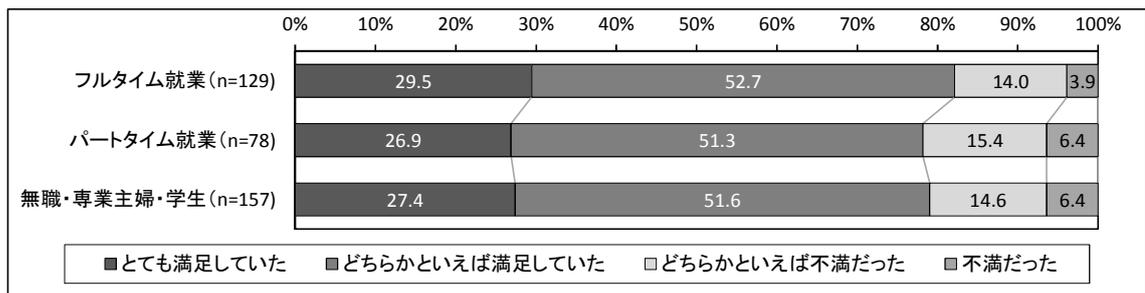
① 出身別



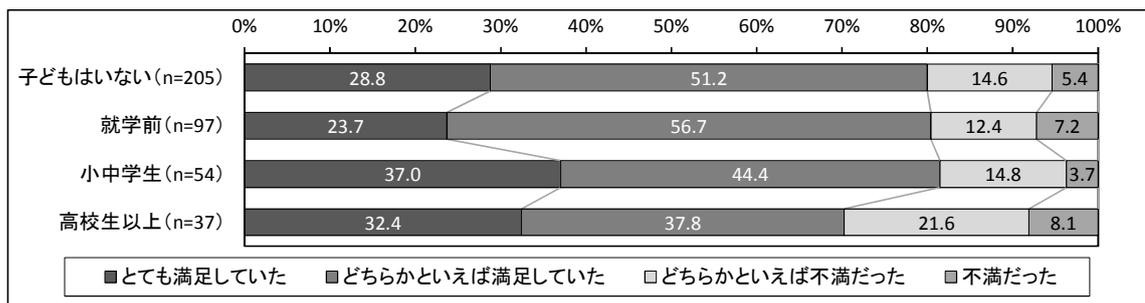
② 年齢別



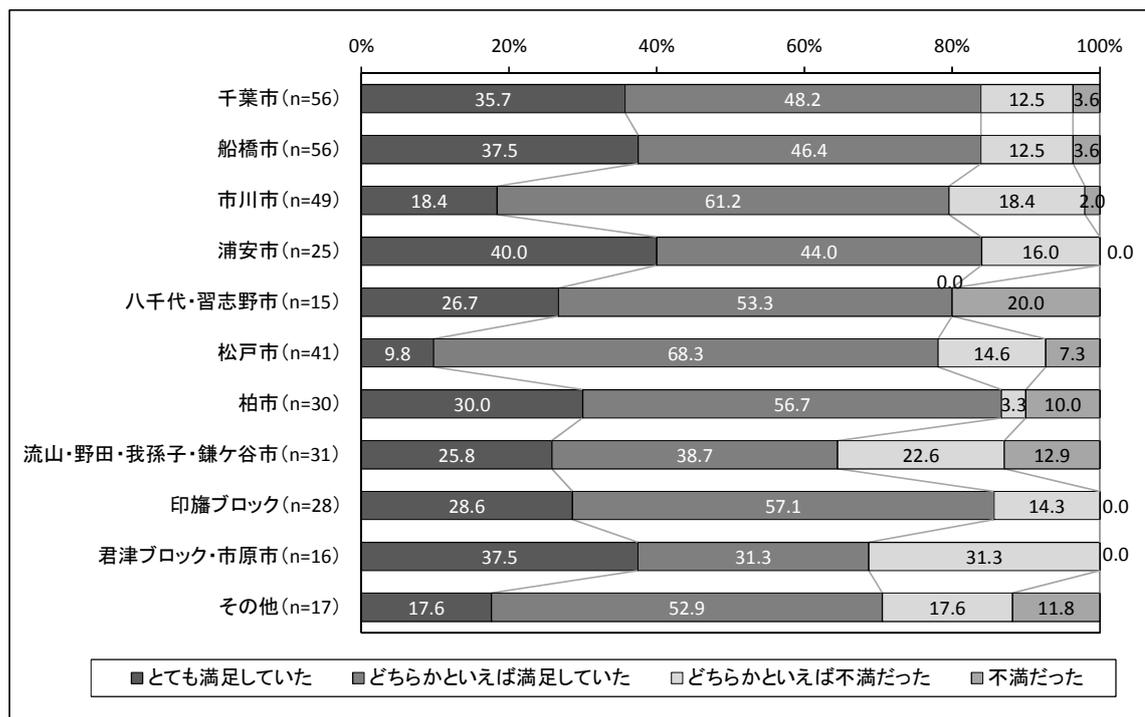
③就業・就学形態別



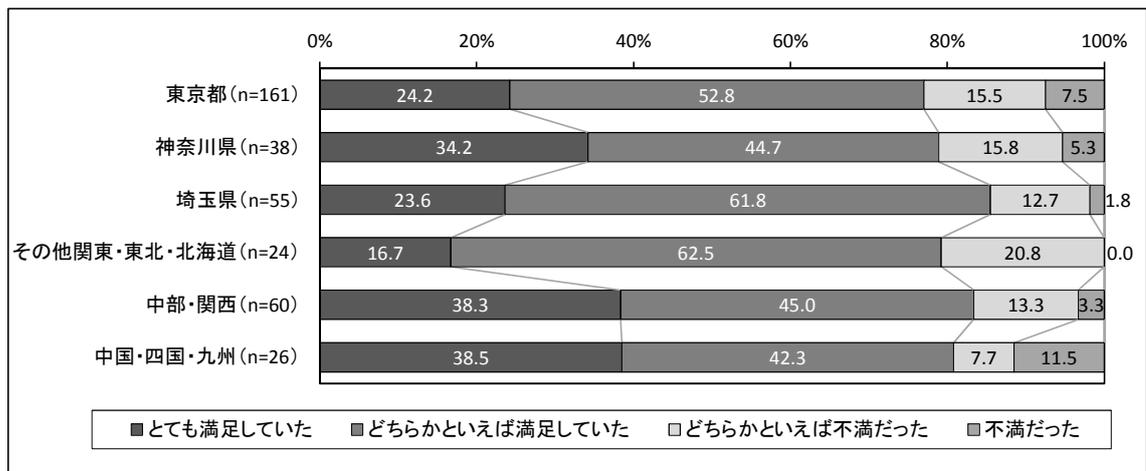
④子どもの属性別



⑤転居前の居住地別



◎現在の居住地別

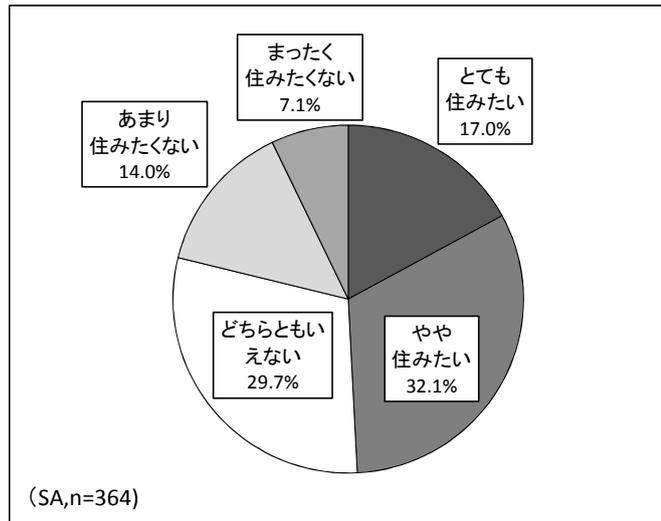


- 年齢別に見ると、50 歳代において「満足していた」（「とても」と「どちらかといえは」の合計）が、他の年代よりも低い。
- 子どもの属性別では、高校生以上の子どもを持つ人について、「満足していた」比率がやや低い。
- 転居前の居住地別では、「満足していた」比率は柏市が 86.7%と最も高い。また、「とても満足していた」比率は、浦安市（40.0%）、君津ブロック・市原市（37.5%）が高い。
- 現在の居住地別に見ると、いずれの地域も8割前後が「満足していた」と回答しており、「満足していた」比率が最も高いのは、埼玉県の 85.4%であった。

(2) 千葉県への再居住の希望

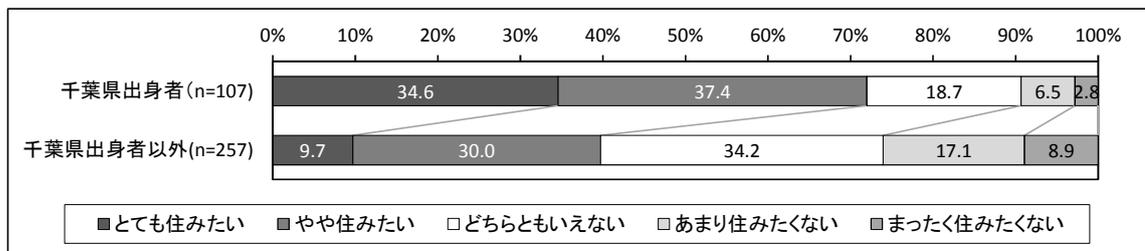
問 将来、ふたたび千葉県に住みたいと思いますか。(SA)

⇒ふたたび千葉県に「住みたい」とした人は、「とても」「やや」の合計で、ほぼ半数の49.1%となり、「まったく住みたくない」と「あまり住みたくない」の合計21.1%を大幅に上回った。

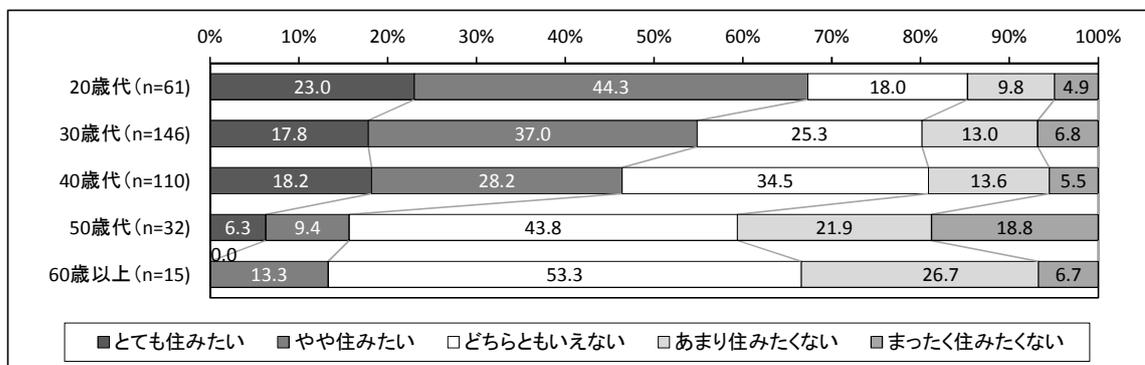


■ 属性別動向

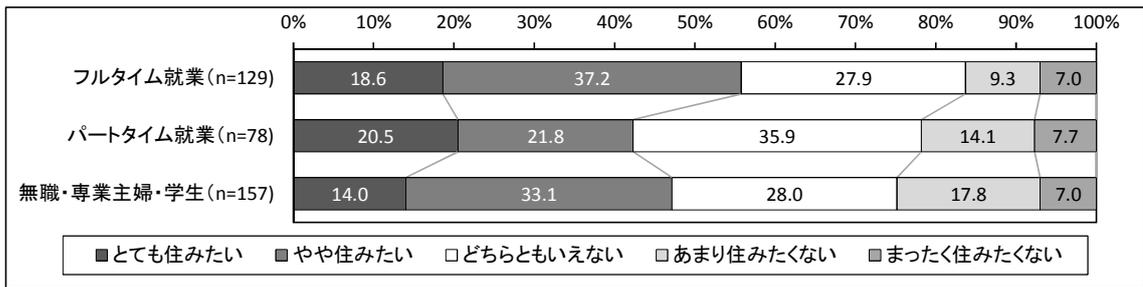
① 出身別



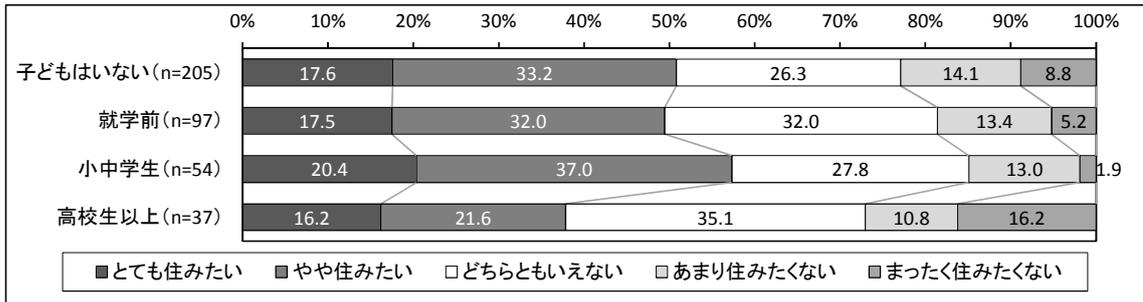
② 年齢別



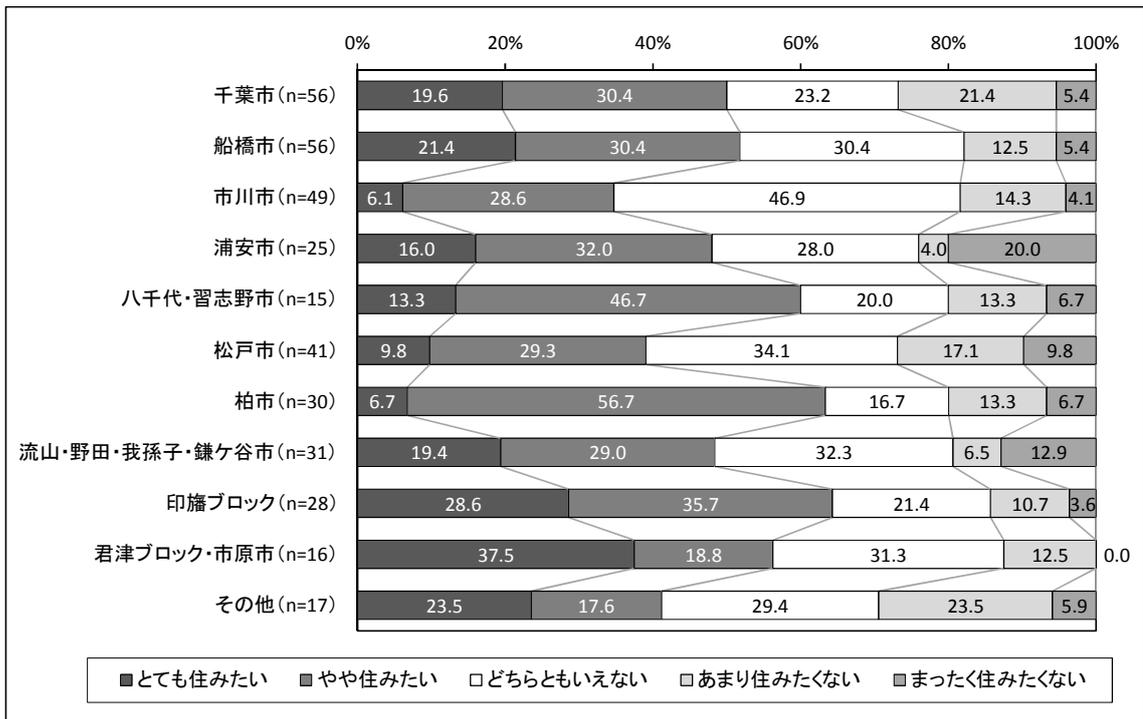
③就業・就学形態別



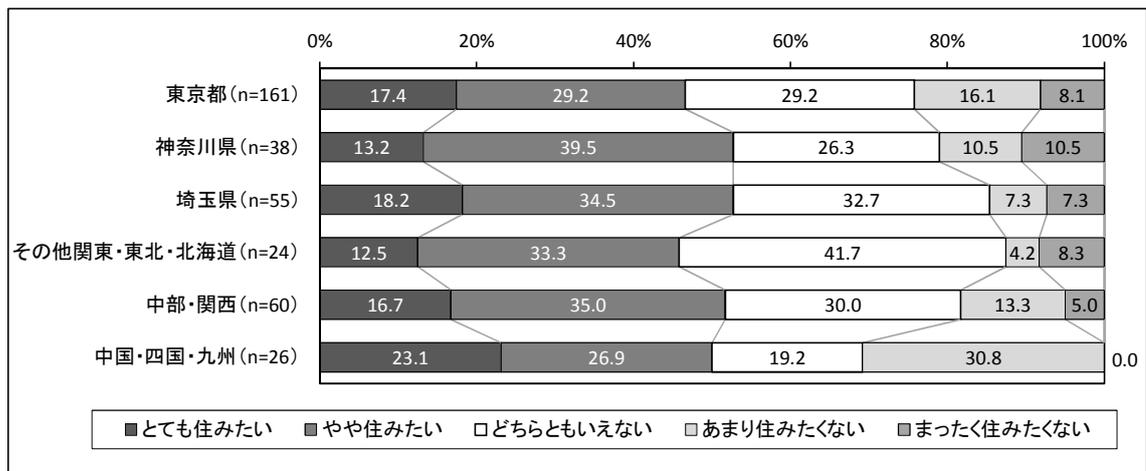
④子どもの属性別



⑤転居前の居住地別



◎現在の居住地別

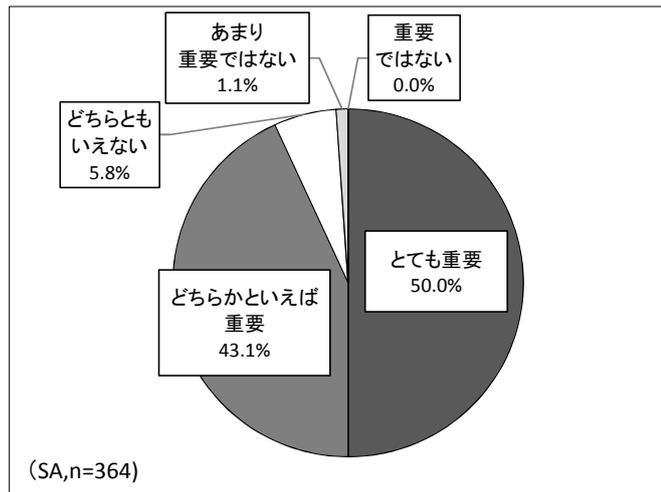


- 千葉県出身者で、ふたたび千葉県に「住みたい」（「とても」と「やや」の合計）と回答した比率は72.0%と高く、千葉県出身者以外の2倍近い数値を示している。
- 年齢別に見ると、若い年代ほど、ふたたび千葉県に住みたいと考えていることがわかる。
- 転居前の居住地別で、ふたたび千葉県に「住みたい」比率が最も高いのは、印旛ブロック（64.3%）で、柏市（63.4%）、八千代・習志野市（60.0%）と続く。「とても住みたい」比率は、君津ブロック・市原市が37.5%と最も高い。
- 現在の居住地別に見ると、ふたたび千葉県に「住みたい」比率が最も高いのは、神奈川県と埼玉県の52.7%であった。また、「とても住みたい」比率では、中国・四国・九州において2割超（23.1%）となった。

(3) - 1. 住まいを選ぶ際に重視する点（住宅価格・家賃の手頃さ）

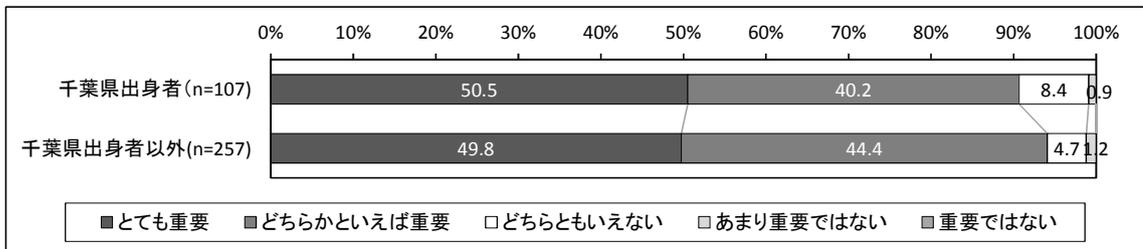
問 住まいを選ぶにあたり、「住宅価格・家賃の手頃さ」はどのくらい重要ですか。
 (SA)

⇒半数が「とても重要」と回答しており、「どちらかといえば重要」を含めれば
 9割超が「重要」と考えている。

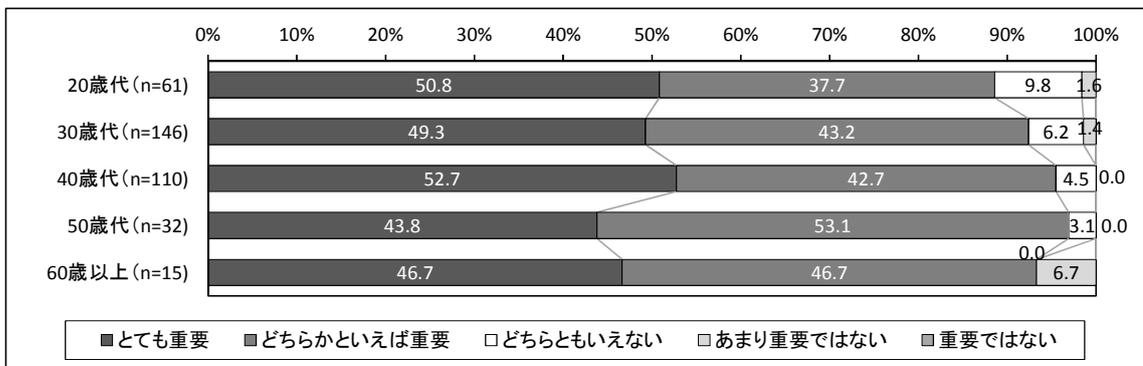


■属性別動向

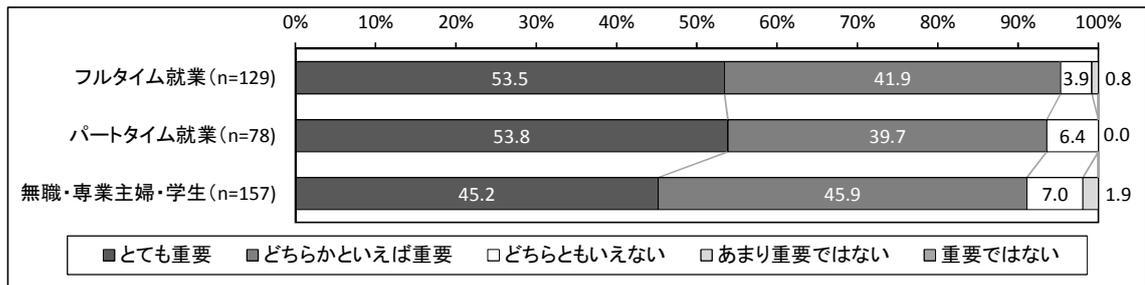
①出身別



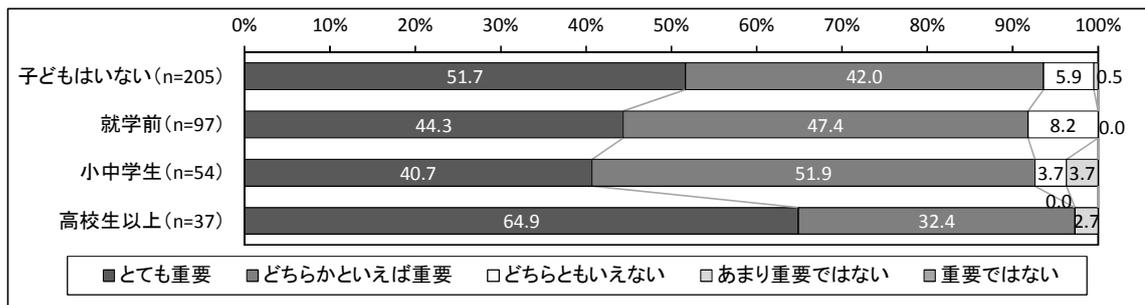
②年齢別



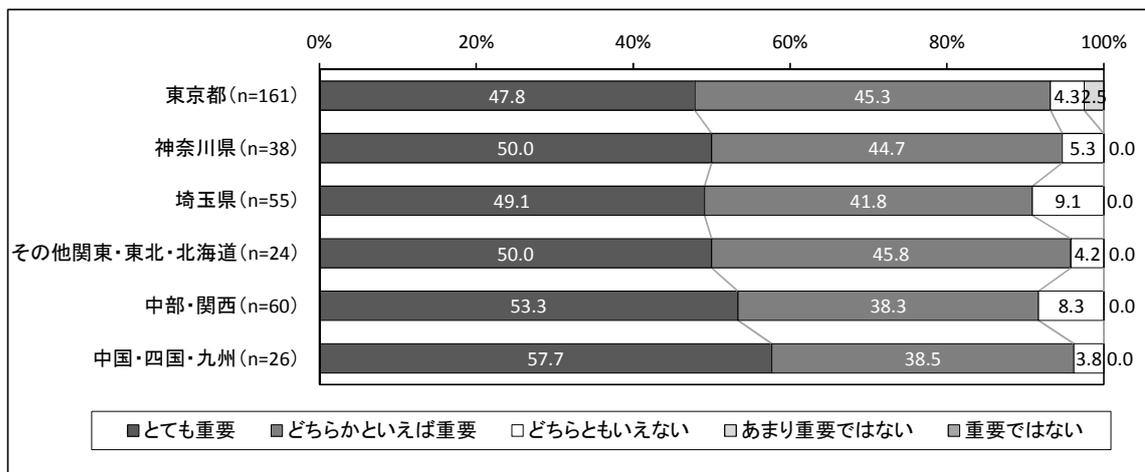
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○年齢別では、40歳代が「とても重要」の比率が最も高い。また、「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）では、年齢とともに比率が高まり、50歳代で96.9%と最も高くなる。

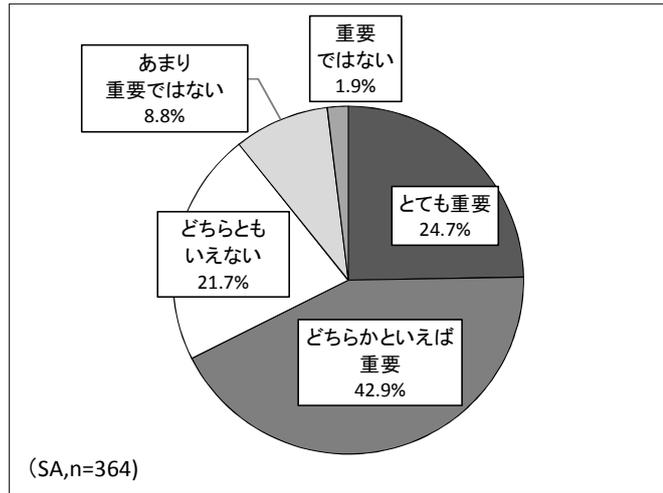
○子どもの属性別では、高校生以上の子どもを持つ人の回答において、「とても重要」が64.9%と、非常に高い比率となっている。

○現在の居住地別では、首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県）よりも、中部・関西、中国・四国・九州といった遠方地域において、「とても重要」の比率が高い。

(3) - 2. 住まいを選ぶ際に重視する点 (就職先の充実さ)

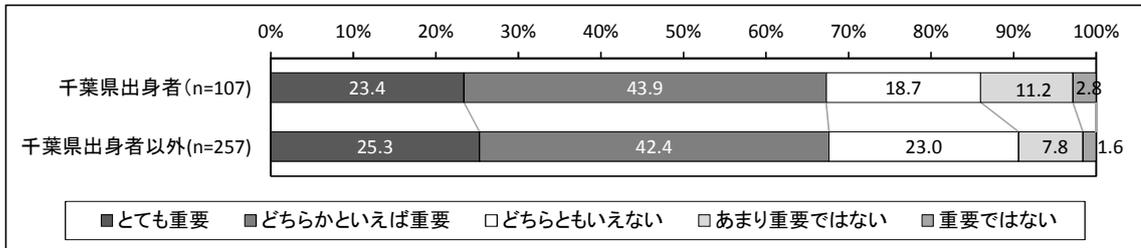
問 住まいを選ぶにあたり、「就職先の充実さ」はどのくらい重要ですか。(SA)

⇒「とても重要」との回答は 24.7%であるが、「どちらかといえば重要」も合計すると、7割弱 (67.6%) が「重要」と考えている。

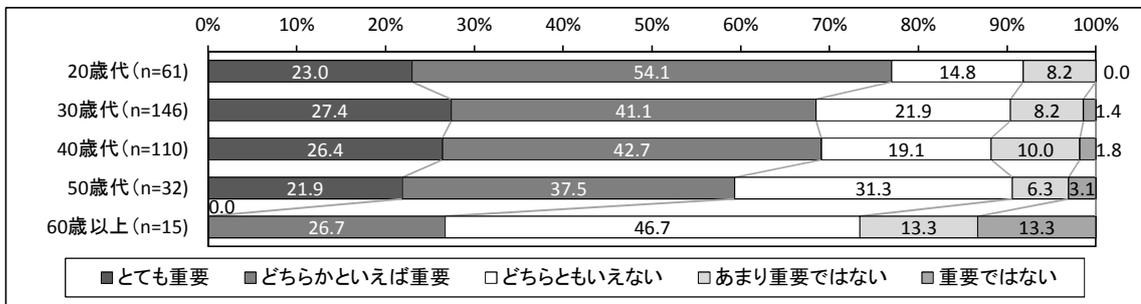


■ 属性別動向

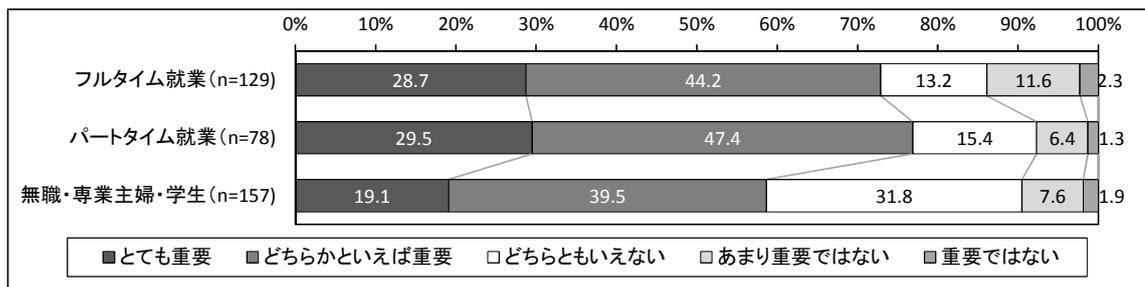
① 出身別



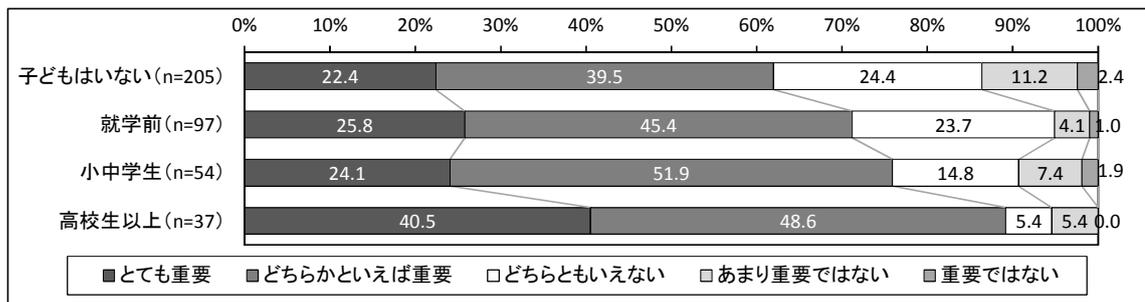
② 年齢別



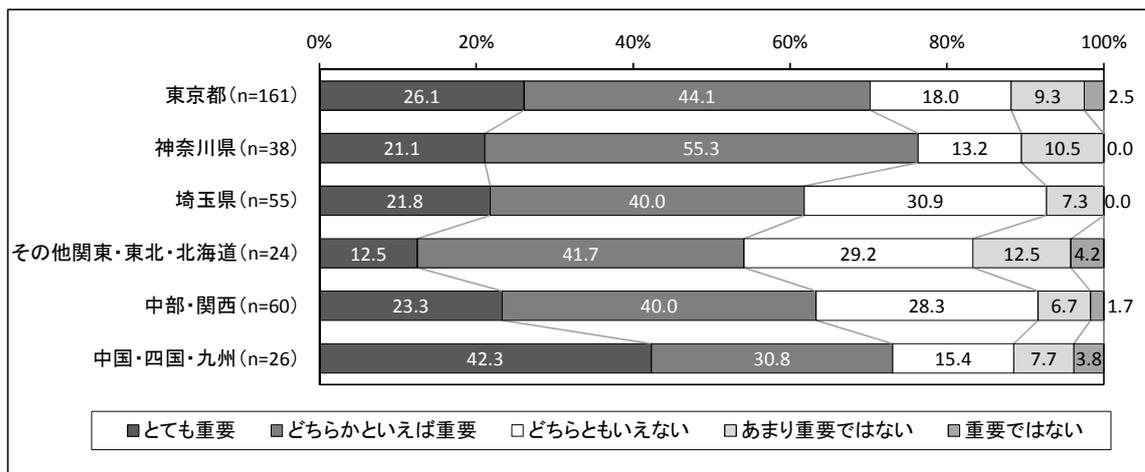
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○年齢別に、「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）の比率を見ると、20歳代において77.1%と最も高い。

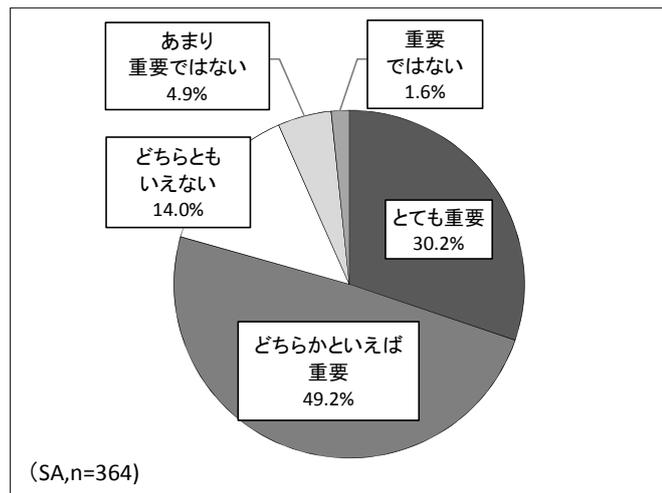
○子どもの属性別を見ると、子どもが大きいほど「重要」の比率が高くなっている。

○現在の居住地別では、中国・四国・九州において、「とても重要」の比率が42.3%と、他の地域と比べて高い。

(3) - 3. 住まいを選ぶ際に重視する点（職場・学校までの近さ）

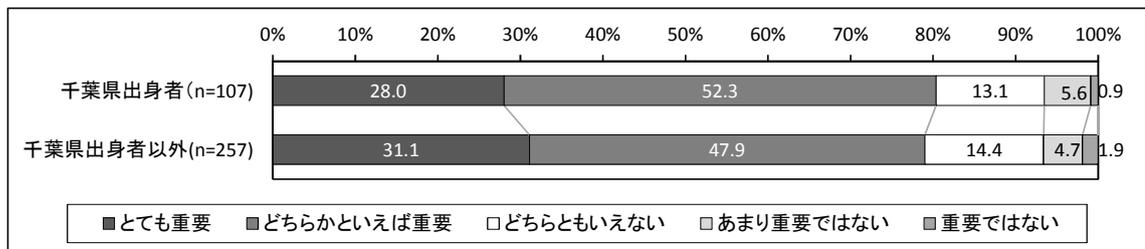
問 住まいを選ぶにあたり、「職場・学校までの近さ」はどのくらい重要ですか。
 (SA)

⇒職場・学校までの近さを「重要」とした人は、「とても」と「どちらかといえ
 ば」の合計で約8割（79.2%）であった。

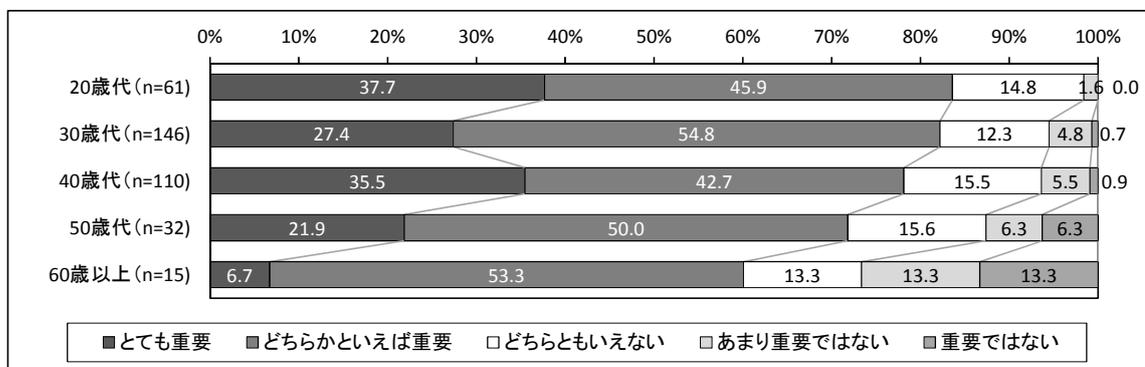


■ 属性別動向

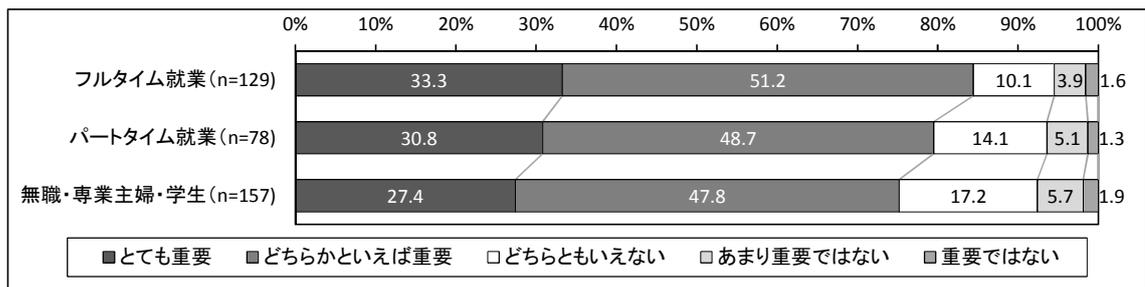
① 出身別



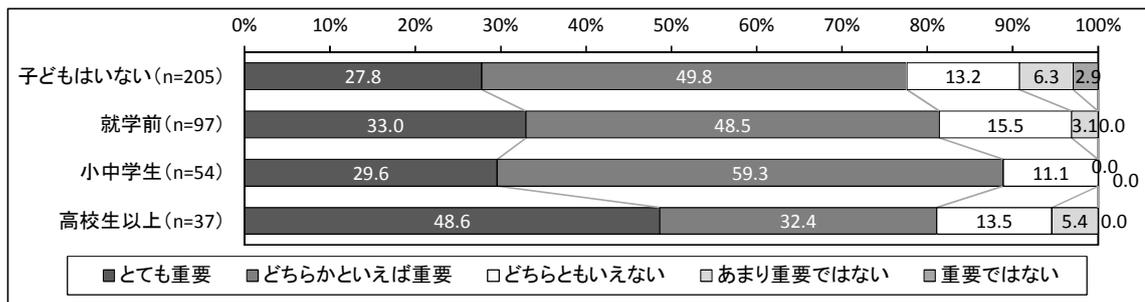
② 年齢別



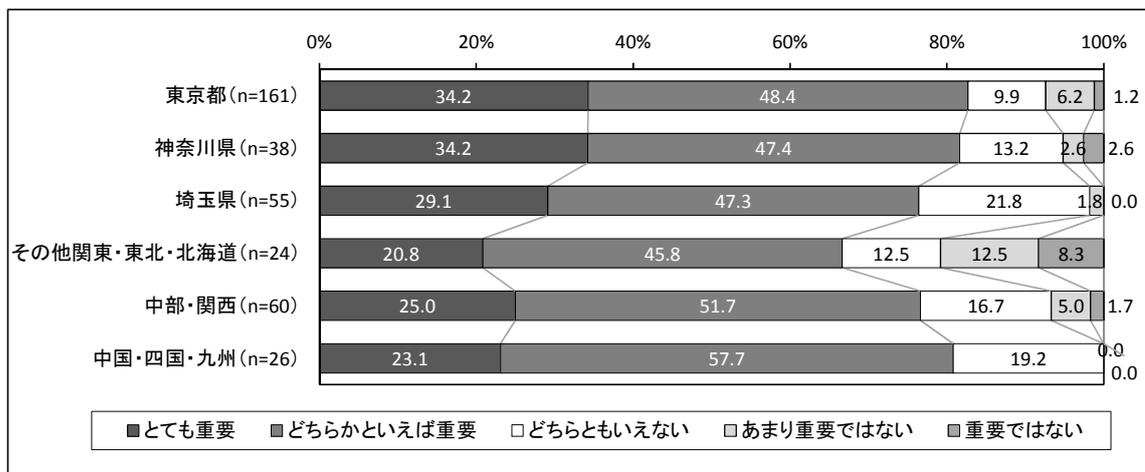
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○年齢別に見ると、「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）の比率は若いほど高く、年齢とともにその比率が低下する傾向にある。

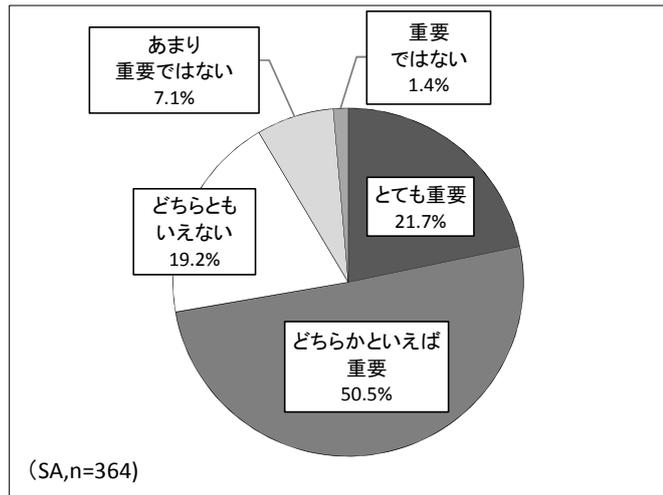
○子どもの属性別では、高校生以上の子どもを持つ人の回答において「とても重要」が48.6%と、他に比べて高い比率を示している。

○現在の居住地別で「重要」の比率を比べると、東京都（82.6%）が最も高く、「神奈川県」（81.6%）が続いている。

(3) - 4. 住まいを選ぶ際に重視する点 (都会までの近さ)

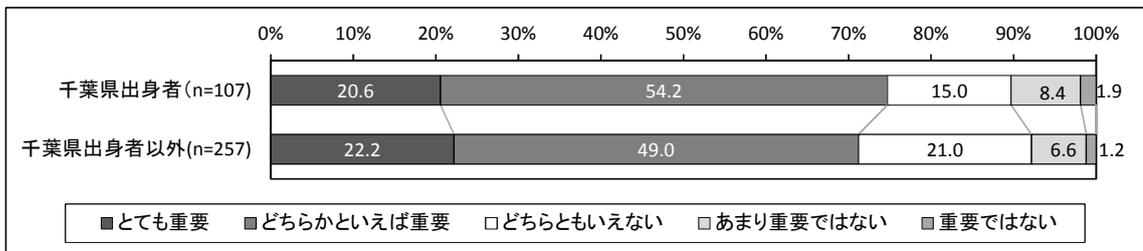
問 住まいを選ぶにあたり、「都会までの近さ」はどのくらい重要ですか。(SA)

⇒「とても重要」との回答は21.7%であるが、「どちらかといえば重要」も合計すると、7割強(72.2%)が重要と考えている。

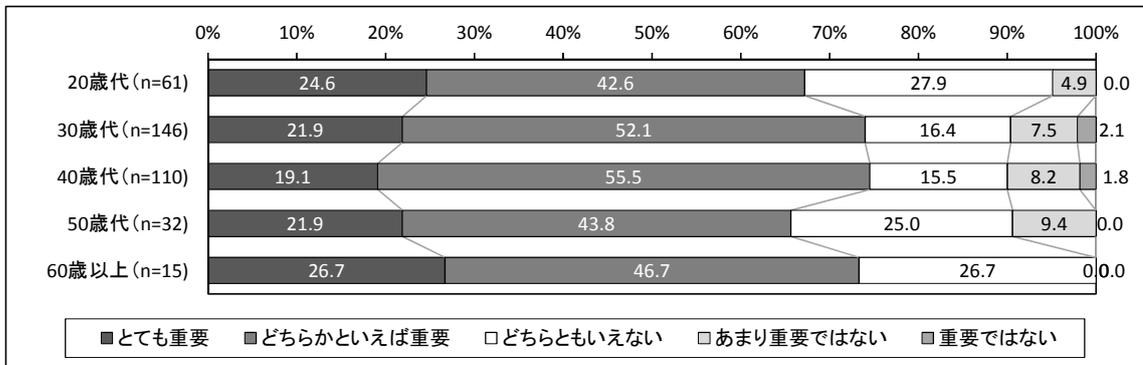


■ 属性別動向

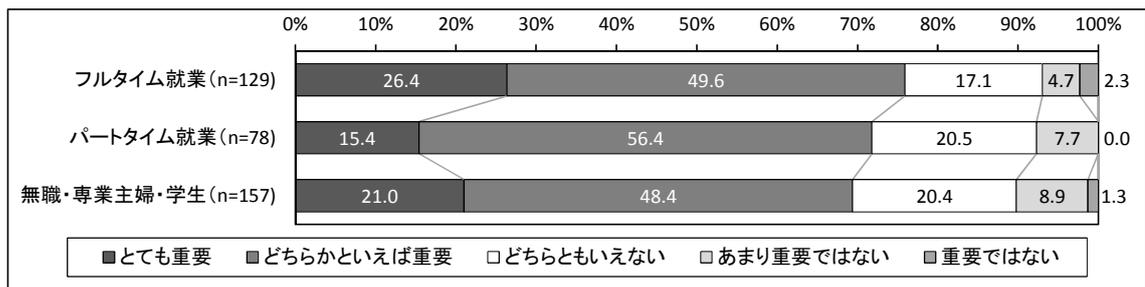
① 出身別



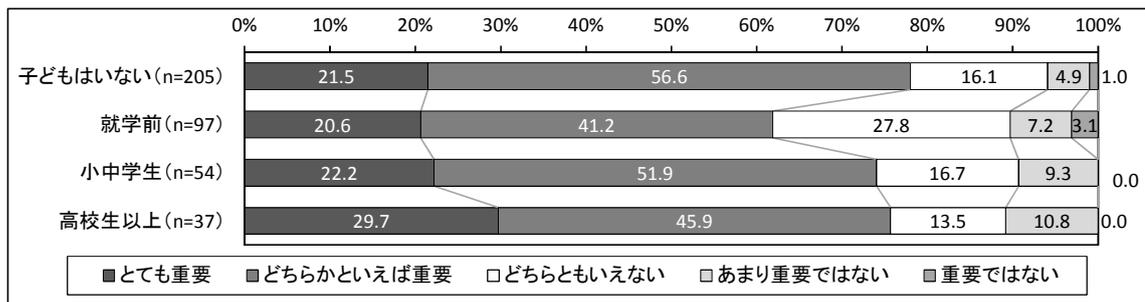
② 年齢別



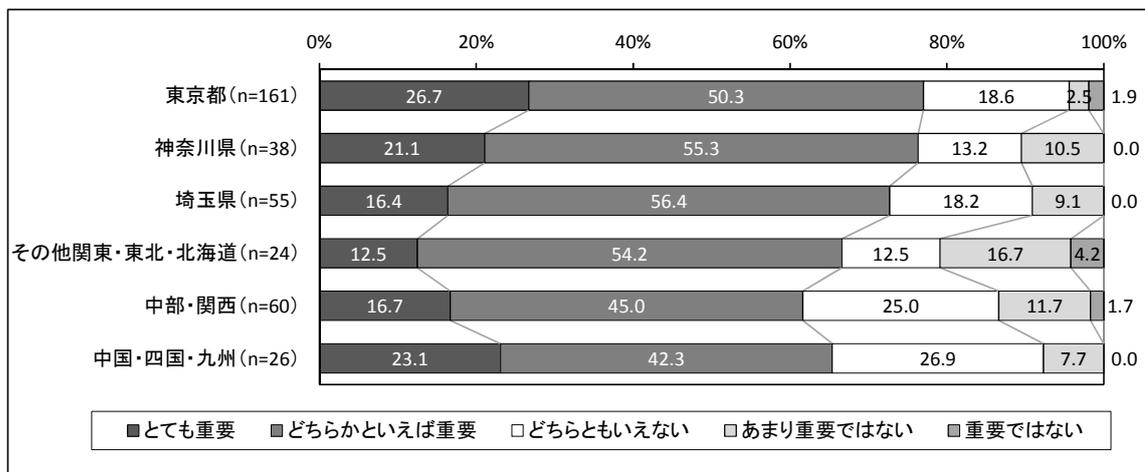
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○60歳以上において、「とても重要」の比率が26.7%と最も高い。

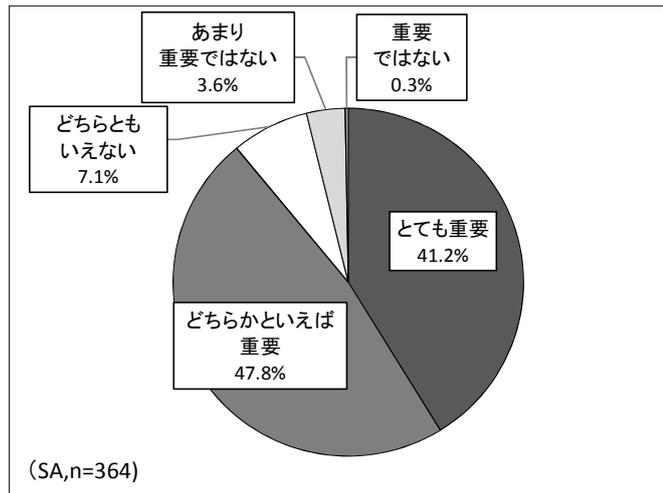
○子どもの属性別では、「子どもはいない」とした人が「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）と回答した比率が高い。

○現在の居住地別に見ると、東京都（77.0%）、神奈川県（76.4%）、埼玉県（72.8%）において「重要」の比率が高く、「都会までの近さ」を求めて千葉県から転出した可能性も考えられる。

(3) - 5. 住まいを選ぶ際に重視する点 (交通利便性の良さ)

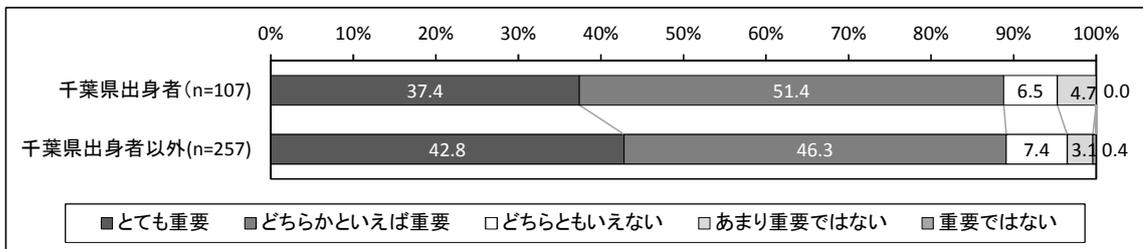
問 住まいを選ぶにあたり、「交通利便性の良さ」はどのくらい重要ですか。(SA)

⇒「とても重要」「どちらかといえば重要」の合計は 89.0%と高く、住まいを選ぶ際に重要なポイントの1つとなっていることがわかる。

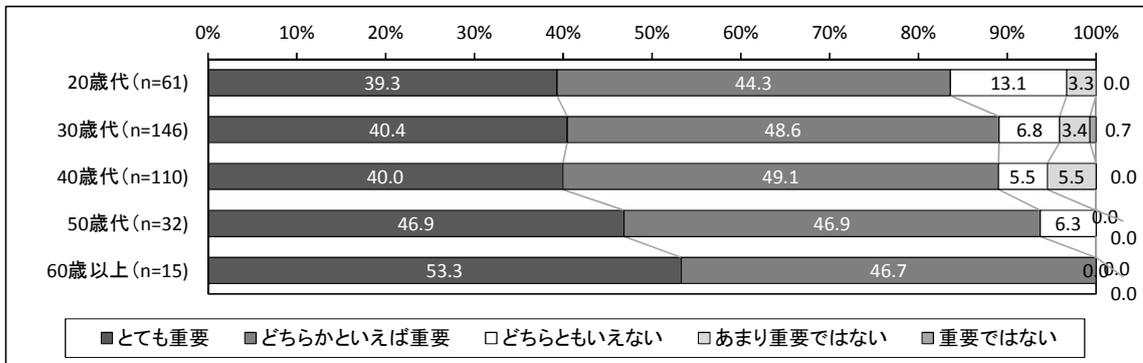


■ 属性別動向

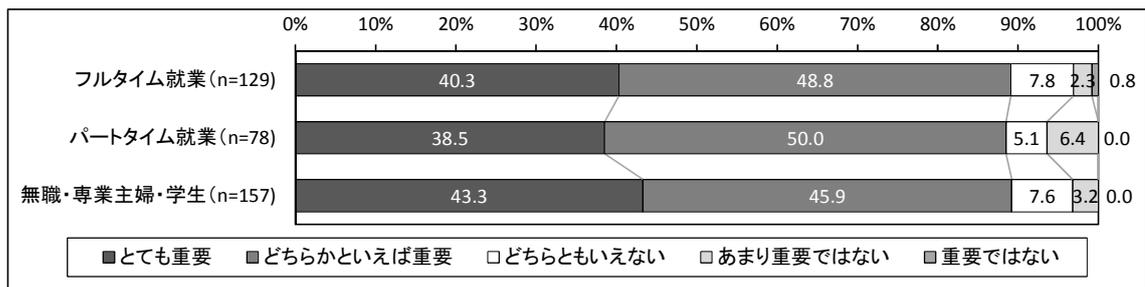
① 出身別



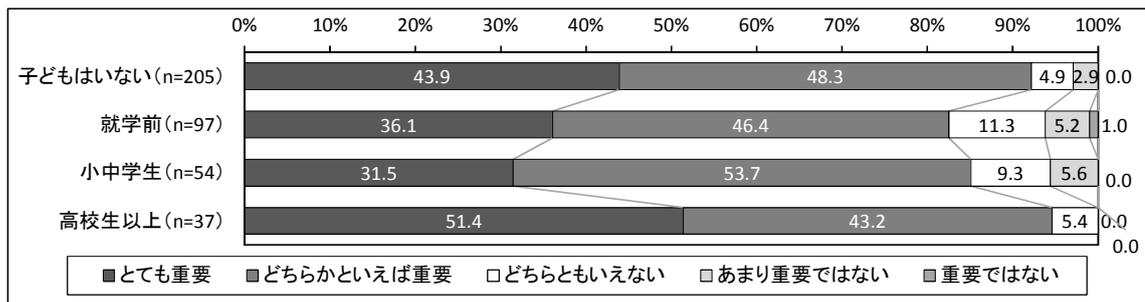
② 年齢別



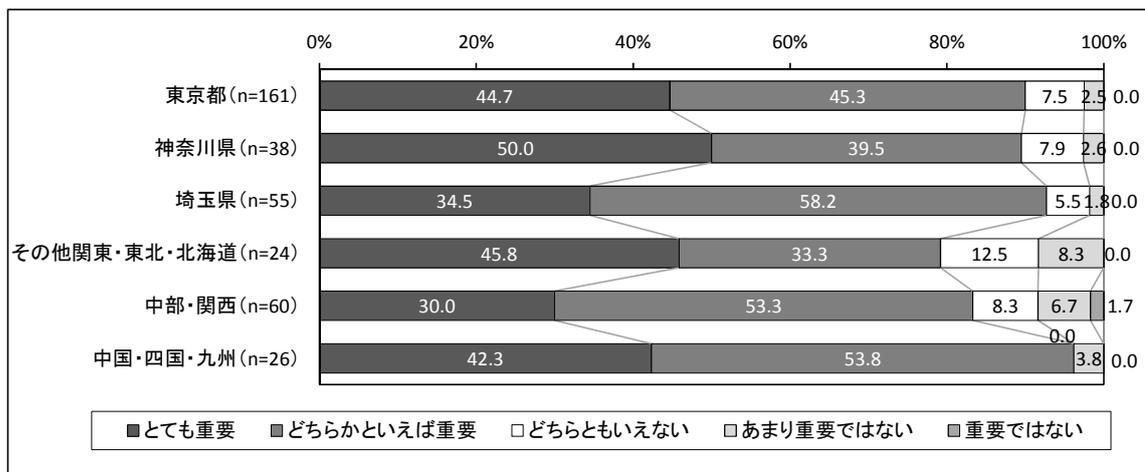
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



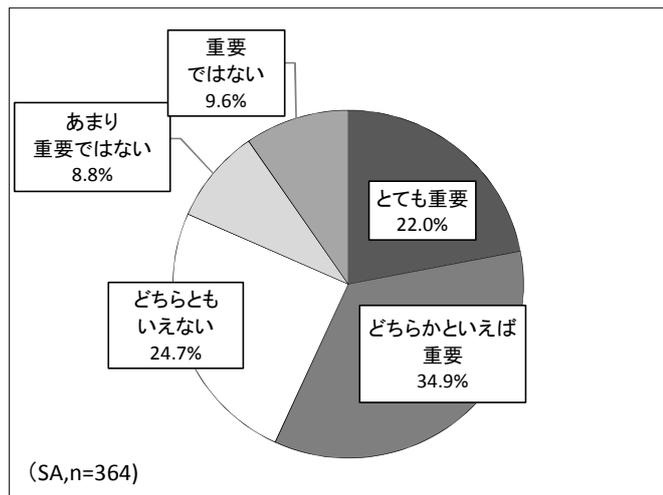
○年齢とともに「重要」と考える比率が高まり、60歳以上では全員が「とても重要」もしくは「どちらかといえば重要」と回答している。

○子どもの属性別では、高校生以上の子どもを持つ人の回答において「とても重要」が51.4%と、他に比べて高い比率を示している。

○現在の居住地別では、「とても重要」の比率が最も高いのは神奈川県で50.0%となっており、また、「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）の比率では中国・四国・九州が96.1%と最も高い。

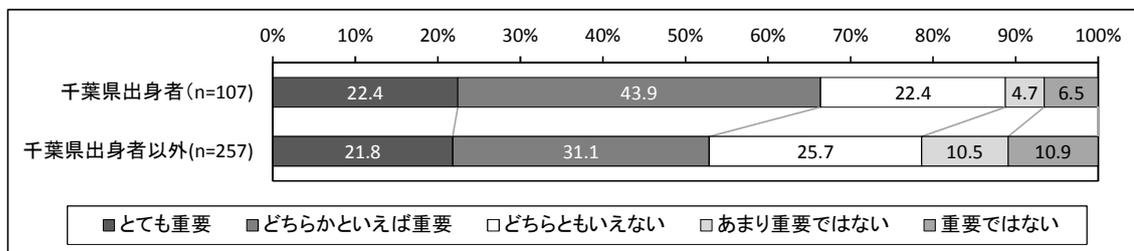
(3) - 6. 住まいを選ぶ際に重視する点 (教育環境の充実さ)

問 住まいを選ぶにあたり、「教育環境の充実さ」はどのくらい重要ですか。(SA)
 ⇒教育環境の充実さについて、「重要」とした人(「とても」と「どちらかといえ
 ば」の合計で56.9%であった。

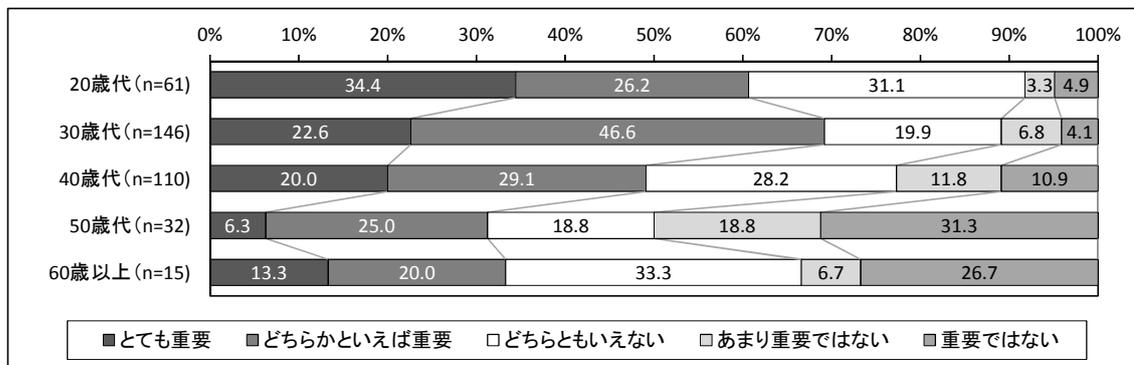


■ 属性別動向

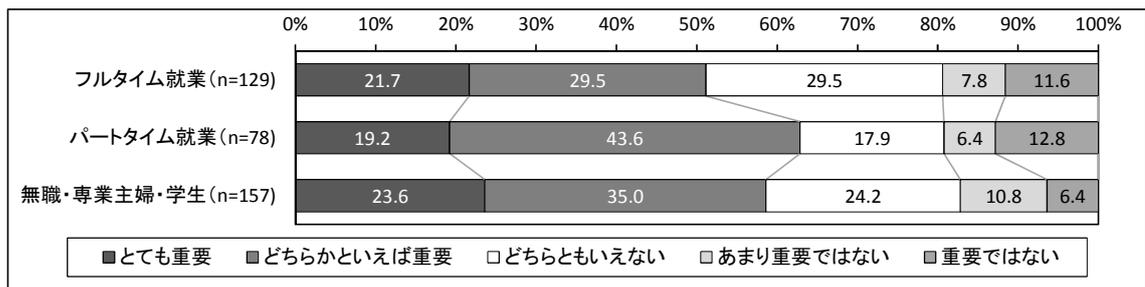
① 出身別



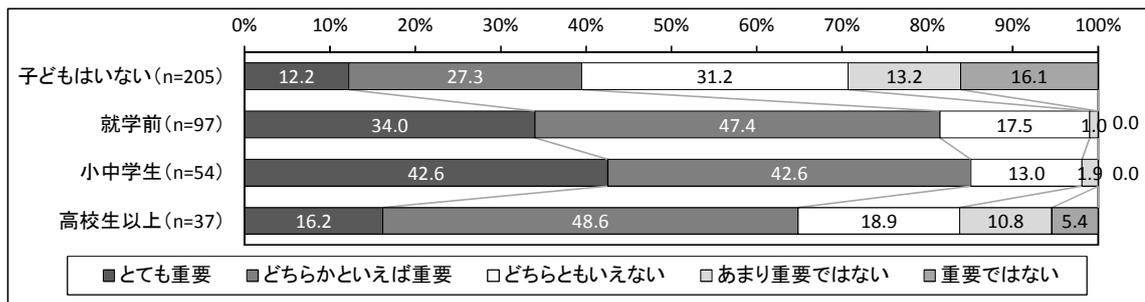
② 年齢別



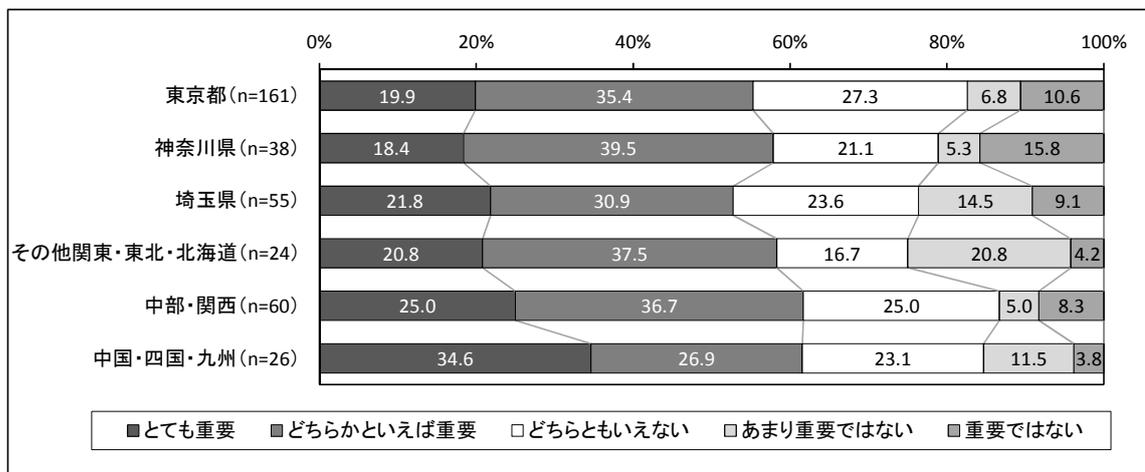
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○千葉県出身の方が、千葉県出身者以外よりも「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）と回答した比率が高い。

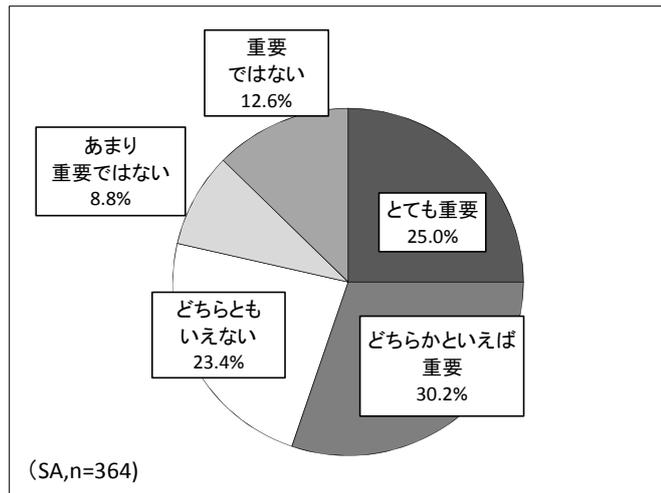
○年齢別および子どもの属性別を見ると、就学前児童や小中学生の子どもを持っていると思われる20歳代から30歳代において、教育環境の充実さが「重要」との回答比率が高い。

○現在の居住地別では、中国・四国・九州において「とても重要」が34.6%と、他の地域に比べて高い比率となっている。

(3) - 7. 住まいを選ぶ際に重視する点 (子育て環境の充実さ)

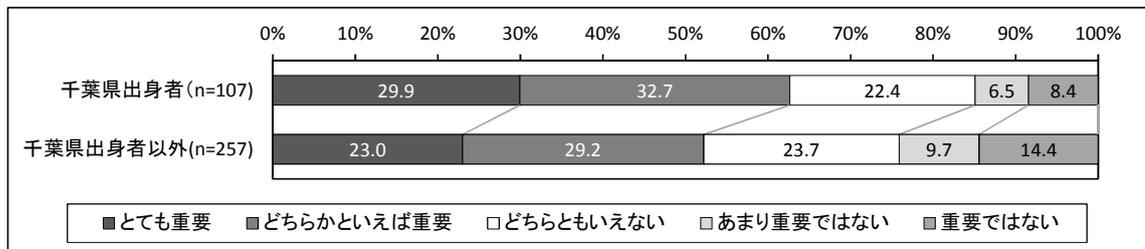
問 住まいを選ぶにあたり、「子育て環境の充実さ」はどのくらい重要ですか。
(SA)

⇒「とても重要」(25.0%)、「どちらかといえば重要」(30.2%)の合計が55.2%と、5割強が重要と考えている。

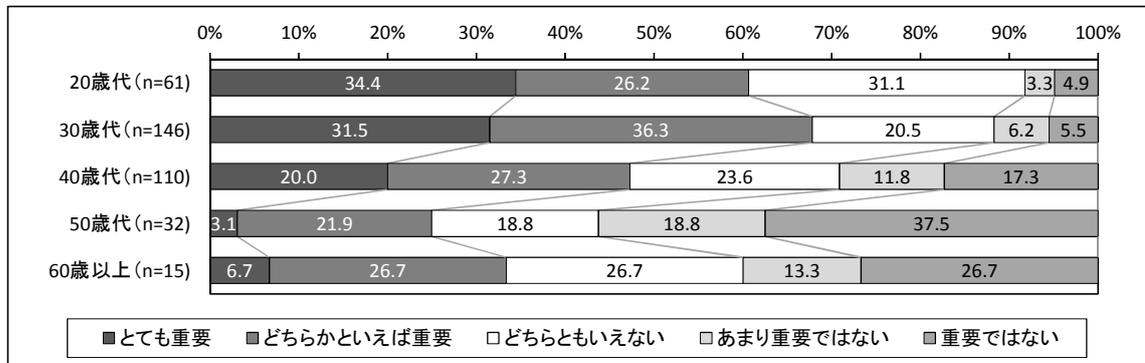


■ 属性別動向

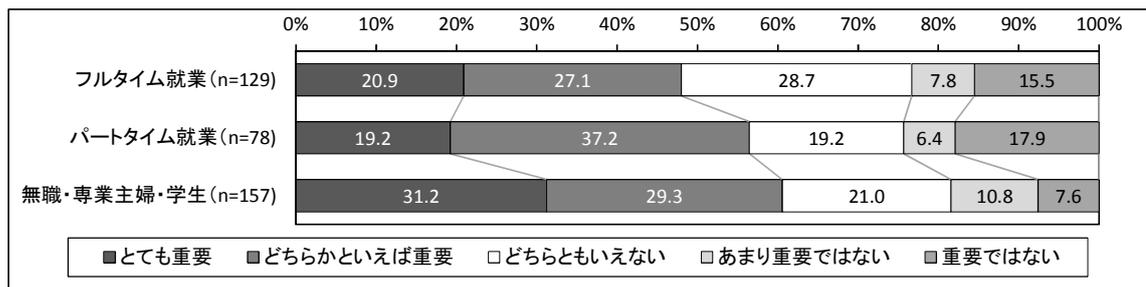
① 出身別



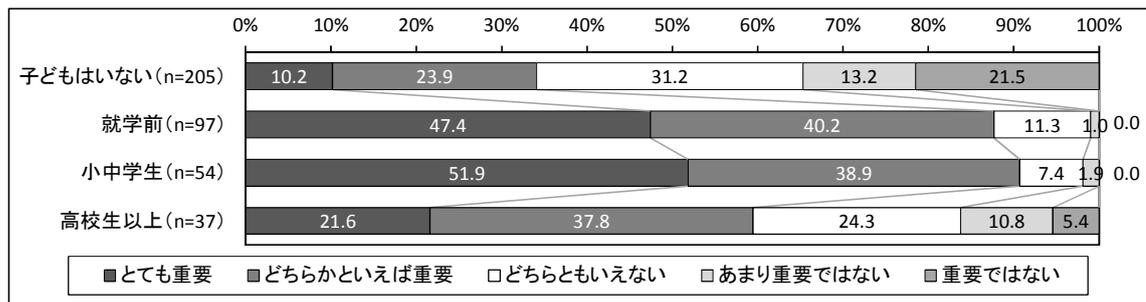
② 年齢別



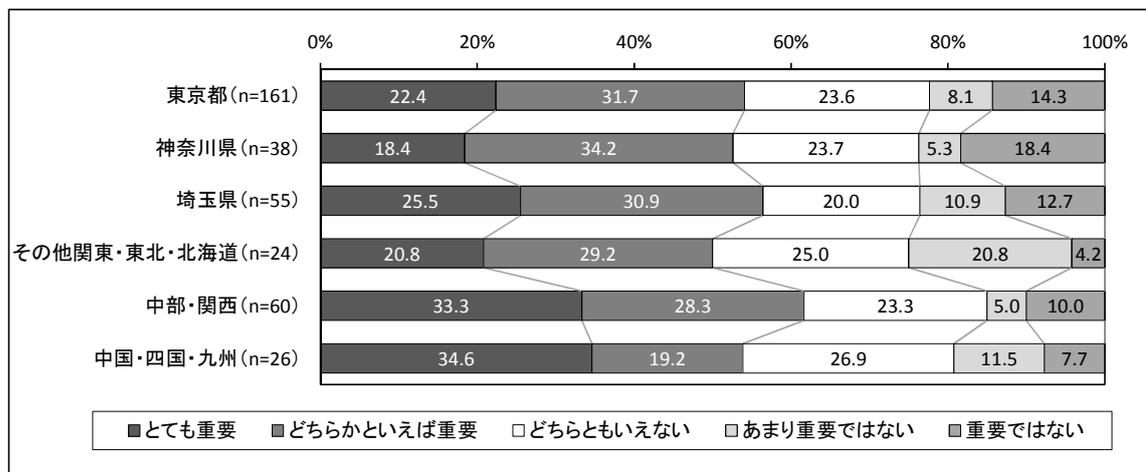
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○前問（教育環境）と同様、子育て環境についても、年齢別および子どもの属性別を見ると、就学前児童や小中学生の子どもを持つと思われる20歳代から30歳代において「重要」との回答比率が高い。

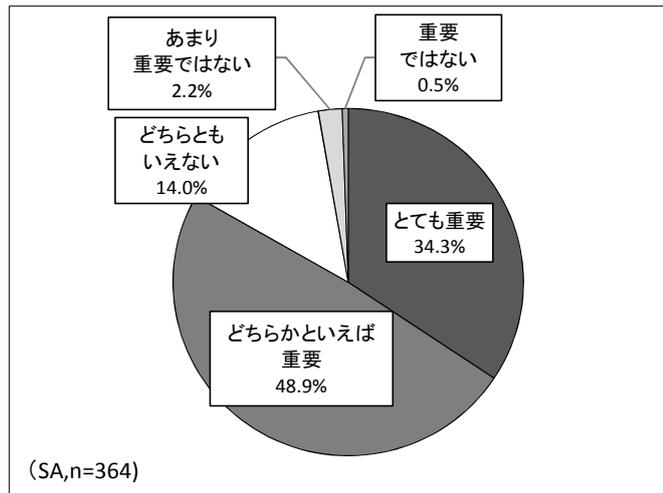
○フルタイム就業よりもパートタイム就業、パートタイム就業よりも無職・専業主婦・学生の方が、子育て環境の充実さを重要と考えている。

○現在の居住地別では、中国・四国・九州（34.6%）、中部・関西（33.3%）において「とても重要」の比率が他の地域に比べて高い。

(3) - 8. 住まいを選ぶ際に重視する点 (医療環境の充実さ)

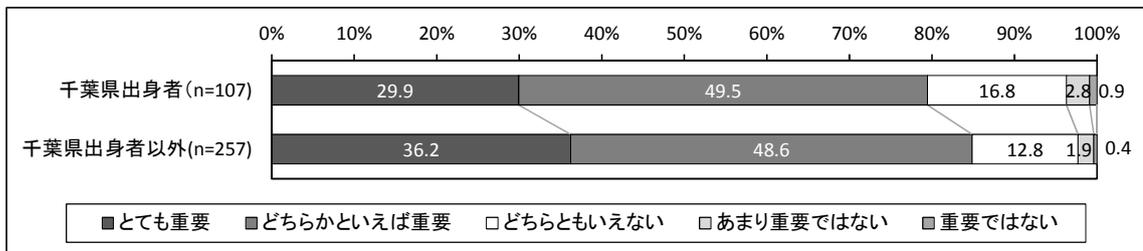
問 住まいを選ぶにあたり、「医療環境の充実さ」はどのくらい重要ですか。(SA)

⇒「とても重要」(34.3%)に、「どちらかといえば重要」(48.9%)を加えると、「重要」とした人は8割を超えた。

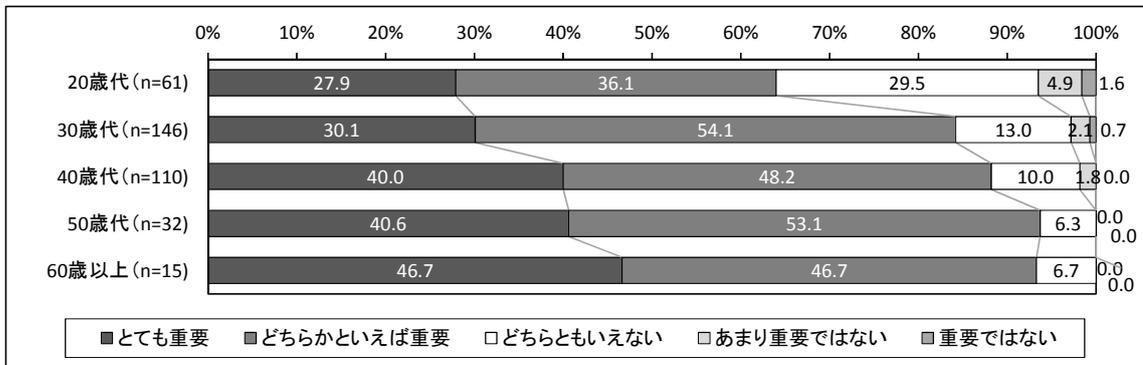


■ 属性別動向

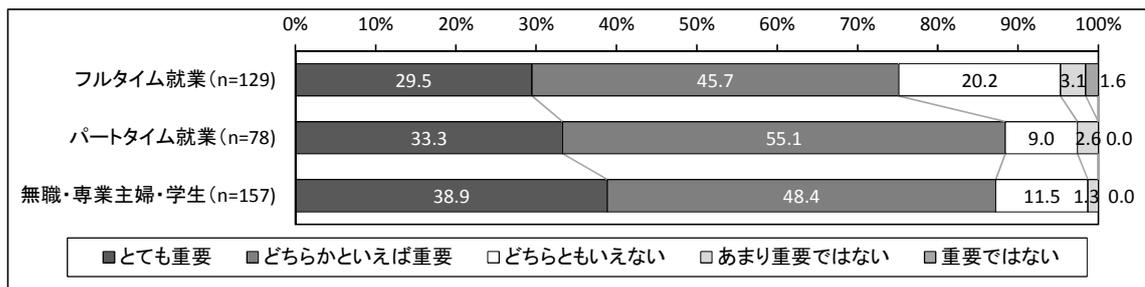
① 出身別



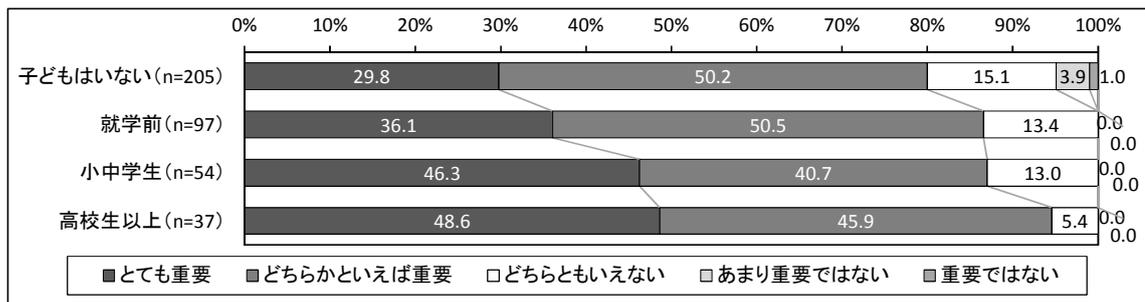
② 年齢別



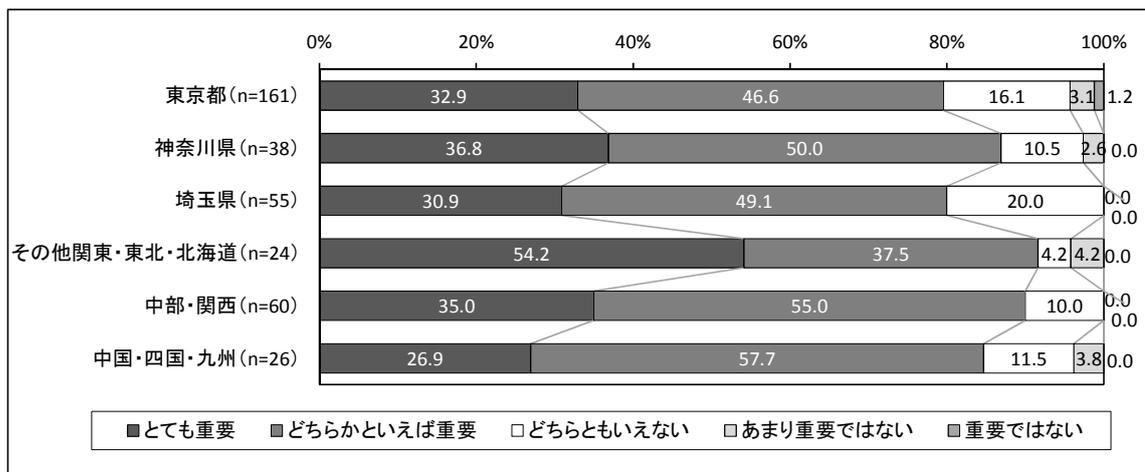
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○年齢とともに、医療環境を重要と考える傾向が強くなり、60歳以上において、「とても重要」が46.7%、また、「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）が93.4%と最も高くなっている。

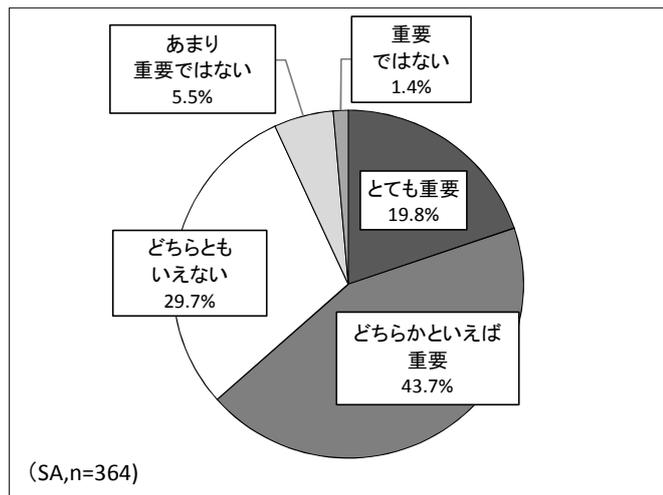
○50歳代および60歳以上では、「あまり重要ではない」「重要ではない」と回答した人はいなかった。

○現在の居住地別では、その他関東・東北・北海道において「とても重要」が54.2%と、他の地域に比べて高い。

(3) - 9. 住まいを選ぶ際に重視する点（福祉環境の充実さ）

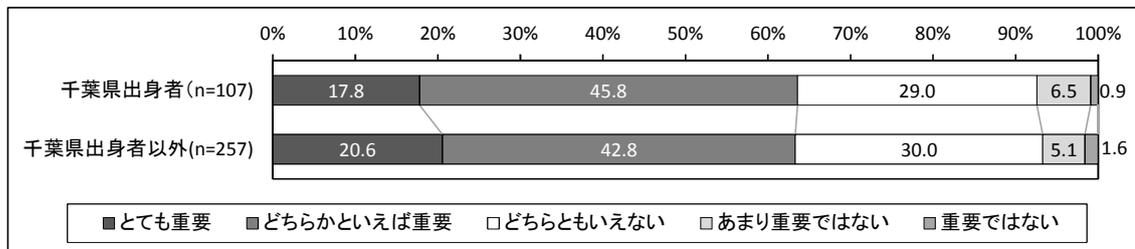
問 住まいを選ぶにあたり、「福祉環境の充実さ」はどのくらい重要ですか。(SA)

⇒「とても重要」は19.8%にとどまるものの、「どちらかといえば重要」を含めると6割超（63.5%）が重要と考えている。

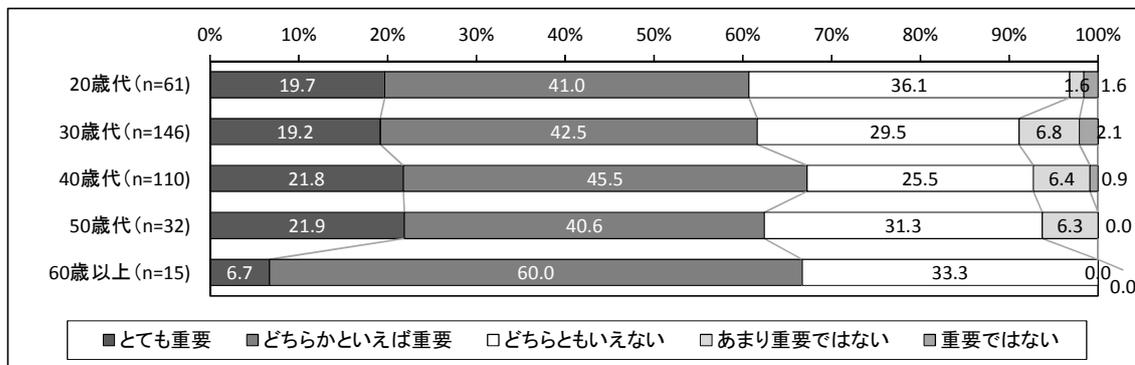


■ 属性別動向

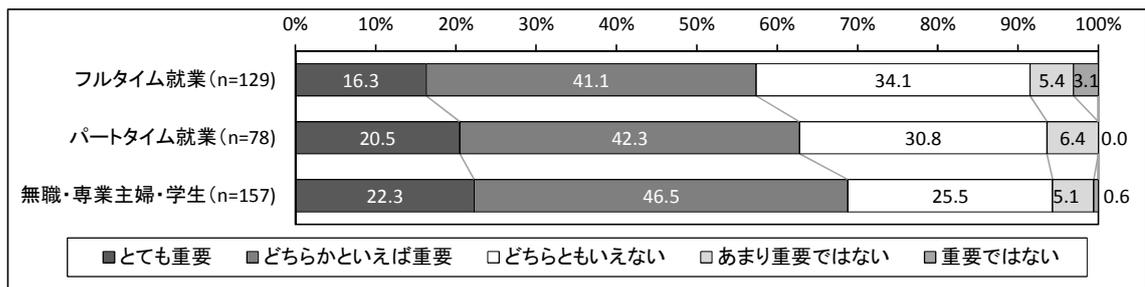
① 出身別



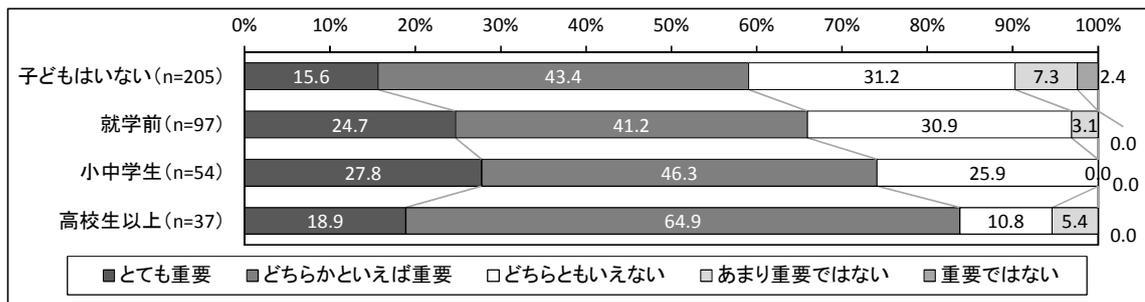
② 年齢別



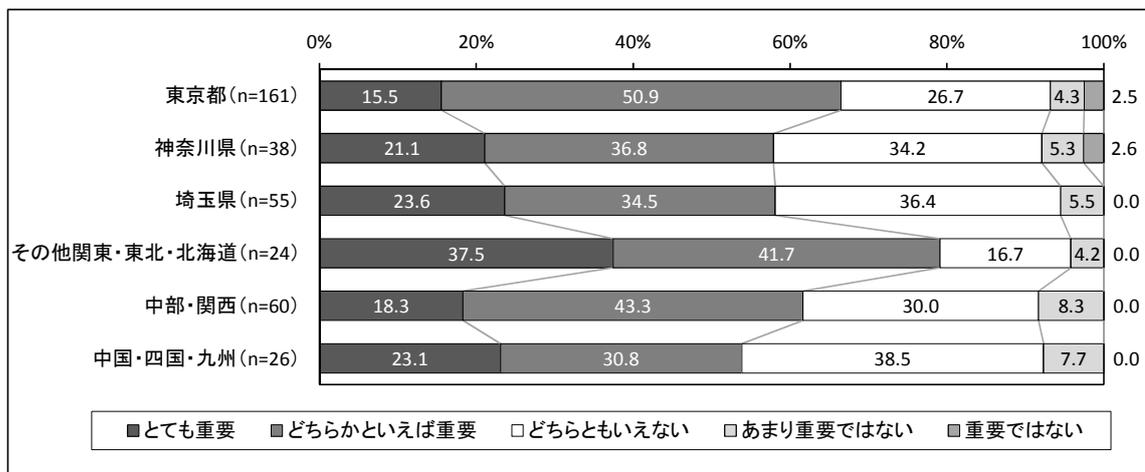
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○福祉環境の充実さを「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）と考えているのは、年齢別に顕著な差は見られないが、60歳以上において「とても重要」の比率が6.7%と低い。

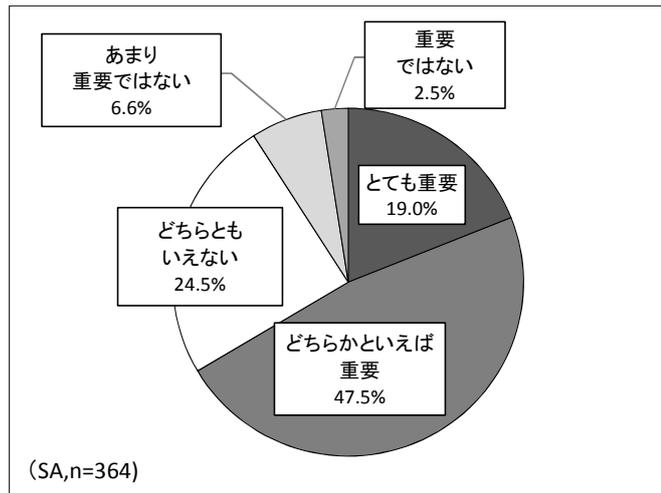
○一方、子どもの属性別を見ると、子どもが大きくなるほど、「重要」の比率が高まっている。

○現在の居住地別に「重要」の比率を比べると、その他関東・東北・北海道が79.2%と最も高く、次いで、東京都が66.4%となっている。

(3) - 10. 住まいを選ぶ際に重視する点（商業・レジャー施設の充実さ）

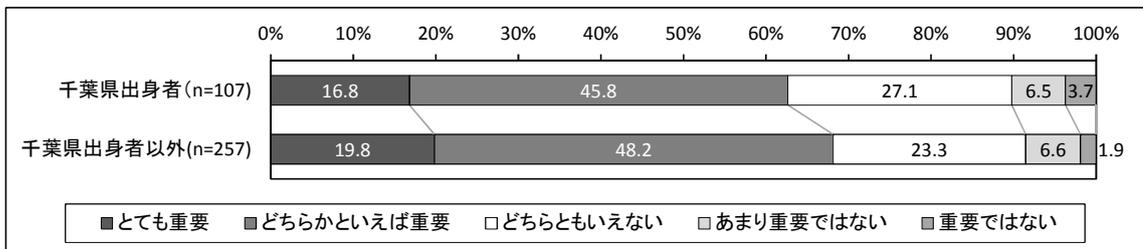
問 住まいを選ぶにあたり、「商業・レジャー施設の充実さ」はどのくらい重要ですか。（SA）

⇒「とても重要」は19.0%にとどまるものの、「どちらかといえば重要」を含めると66.5%が重要と考えている。

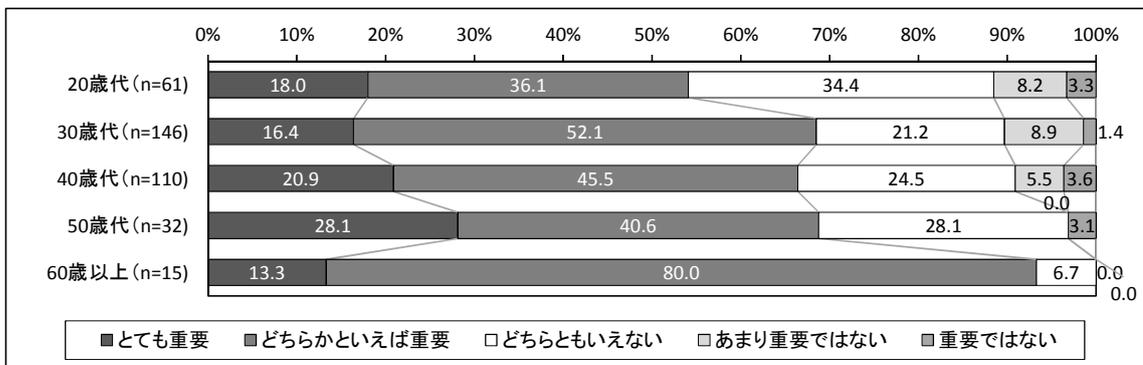


■ 属性別動向

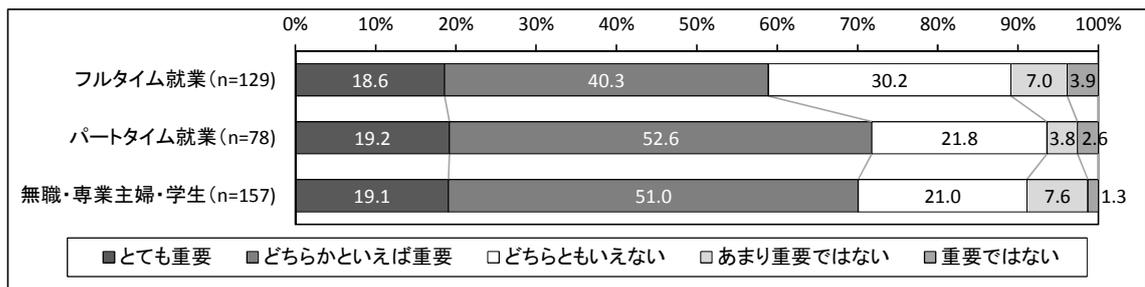
① 出身別



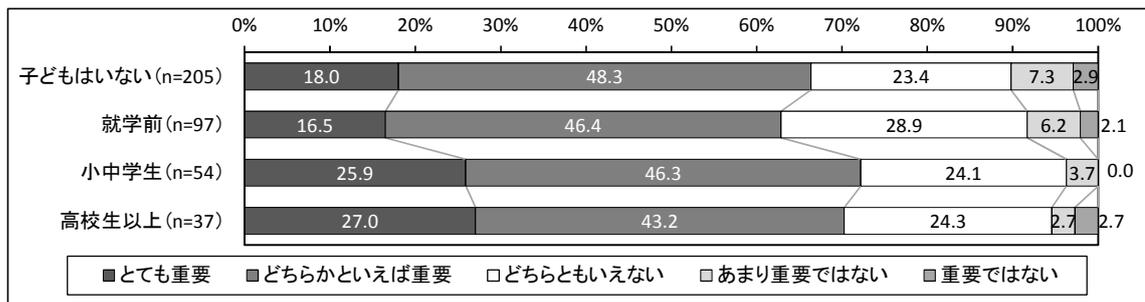
② 年齢別



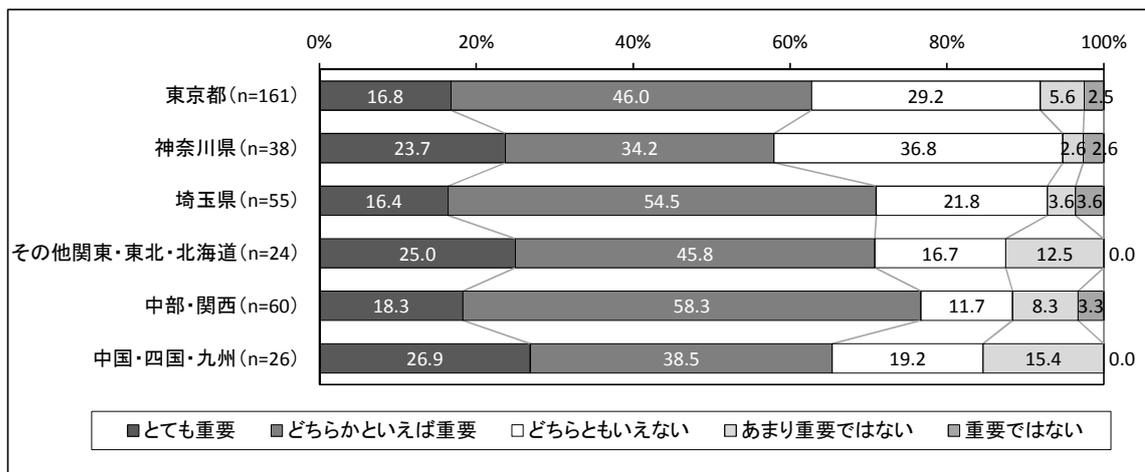
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



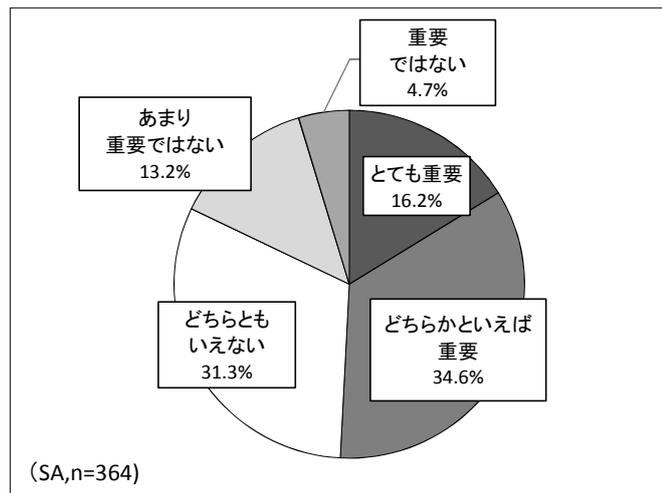
○年齢別では、60歳以上において「どちらかといえば重要」の回答比率が80.0%と高く、「とても重要」と「どちらかといえば重要」の合計の比率でも、他の年代に大きく差を開けている。

○就業・就学形態別では、フルタイム就業よりもパートタイム就業や無職・専業主婦・学生の方が、商業・レジャー施設の充実さを重要と考える傾向が窺える。

(3) - 1 1. 住まいを選ぶ際に重視する点（身内（家族・親戚）、知人、友人の多さ）

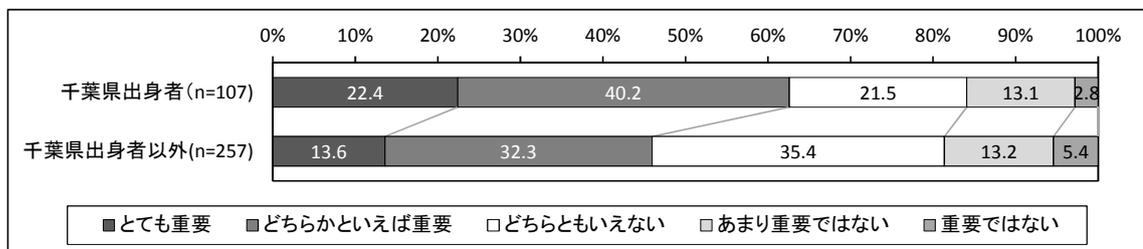
問 住まいを選ぶにあたり、「身内（家族・親戚）、知人、友人の多さ」はどのくらい重要ですか。（SA）

⇒「とても重要」と「どちらかといえば重要」の合計で、5割程度にとどまっている。

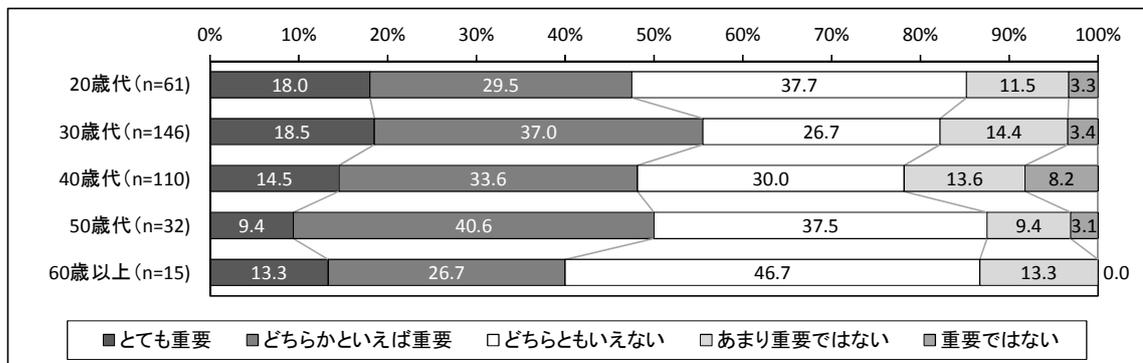


■ 属性別動向

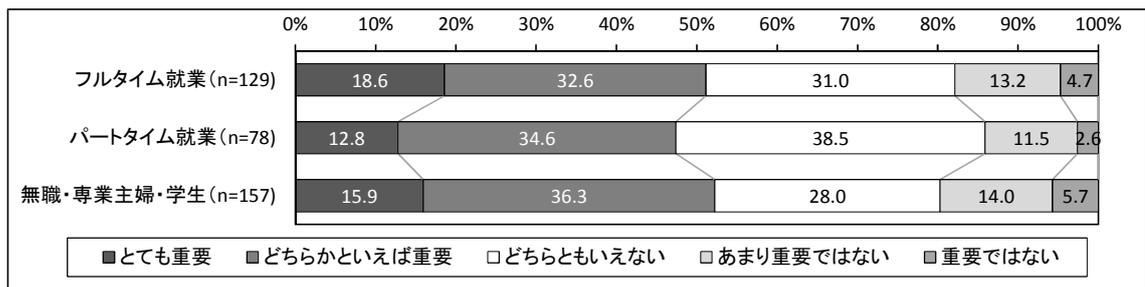
① 出身別



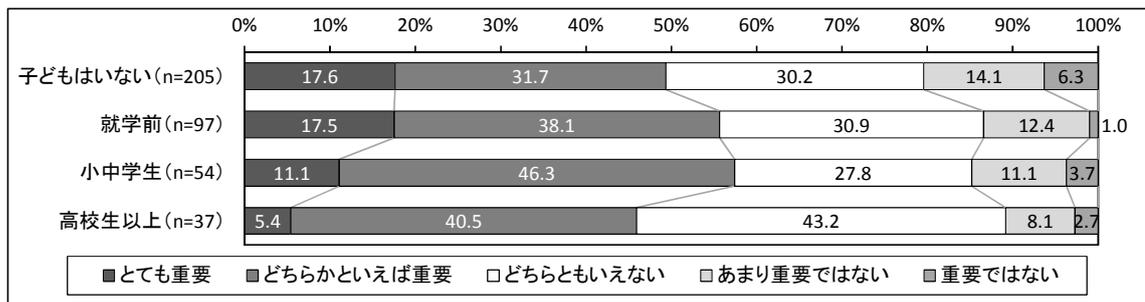
② 年齢別



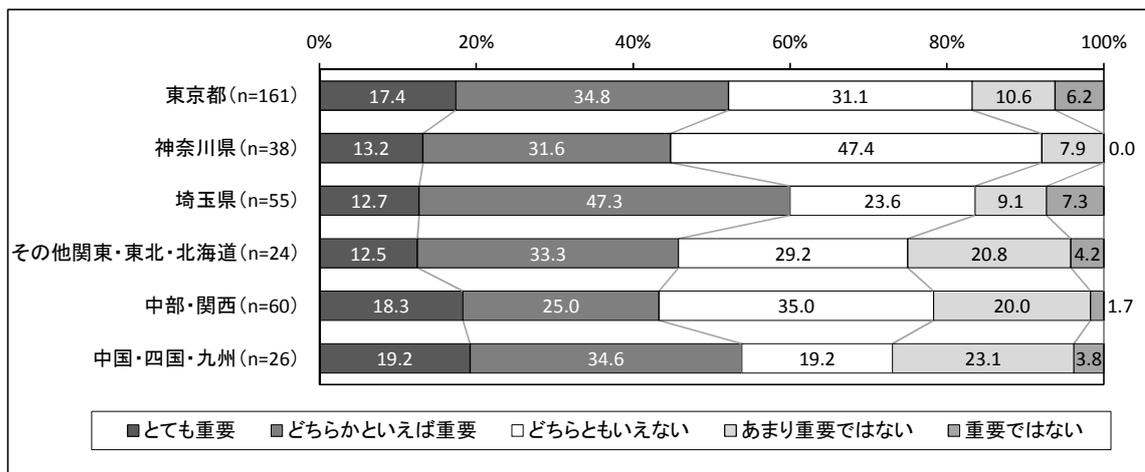
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



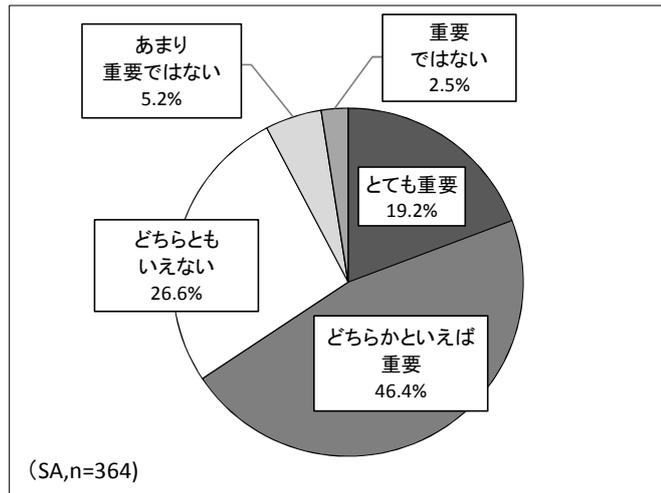
○年齢別に見ると、30歳代において「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）の回答比率が55.5%と、他の年齢に比較して高い。

○また、子どもの属性別では、就学前児童や小中学生の子どもを持つ人において、身内や知人、友人の多さが「重要」と考えていることがわかる。

(3) - 1 2. 住まいを選ぶ際に重視する点（自然の豊かさ・気候の温暖さ）

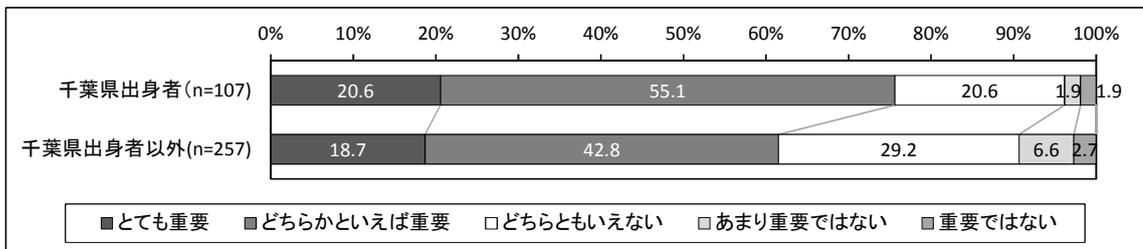
問 住まいを選ぶにあたり、「自然の豊かさ・気候の温暖さ」はどのくらい重要ですか。（SA）

⇒「とても重要」が 19.2%、「どちらかといえば重要」が 46.4%であり、合計 65.2%が重要と考えている。

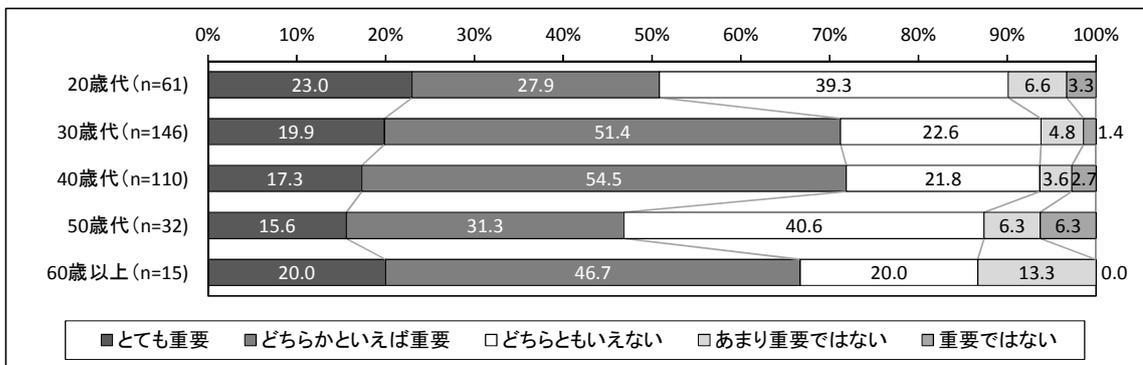


■ 属性別動向

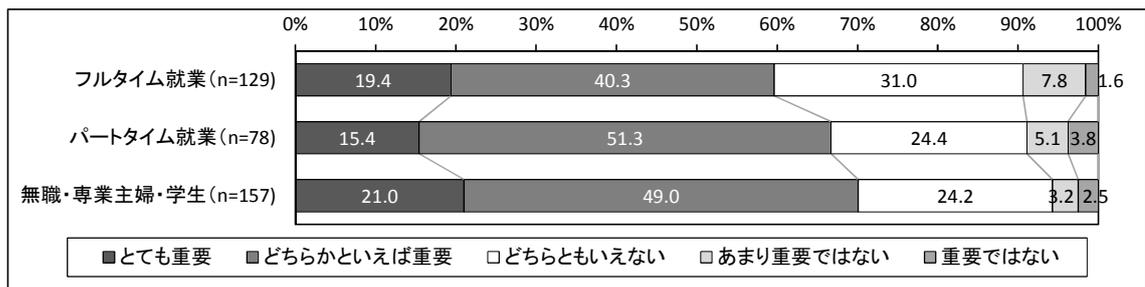
① 出身別



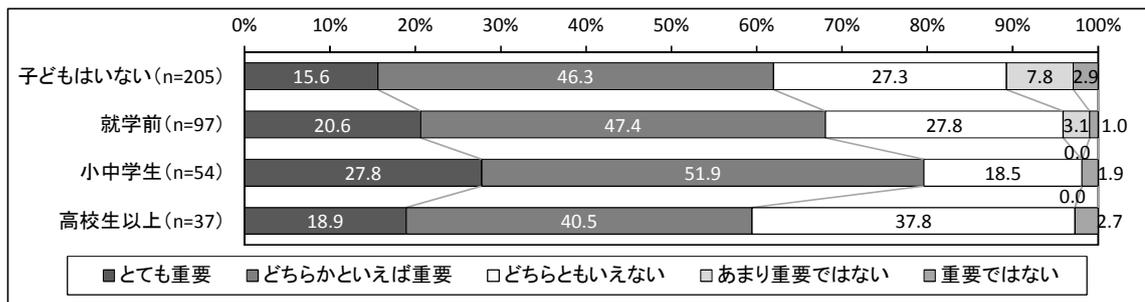
② 年齢別



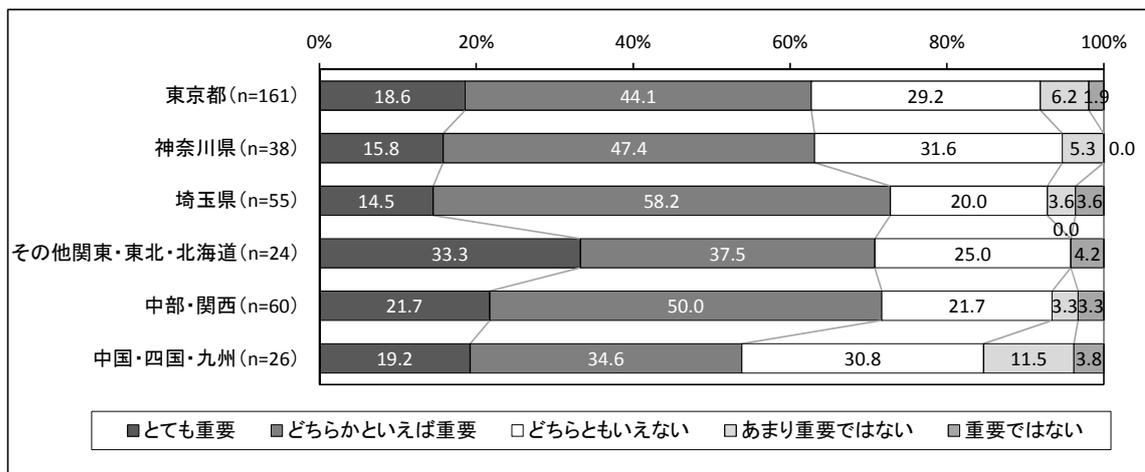
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



○年齢別に「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）の比率を見ると、40歳代が71.8%と最も高く、30歳代が71.3%、60歳代が66.7%と続く。

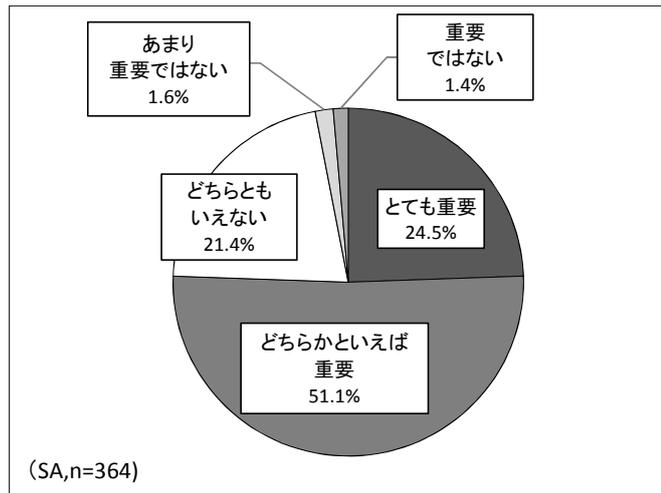
○子どもの属性別では、小中学生の子どもを持つ人の約8割が、自然の豊かさや気候の温暖さについて「重要」と考えている。

○現在の居住地別において「とても重要」の回答比率が最も高いのは、その他関東・東北・北海道の33.3%、「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）の回答比率が最も高いのは、埼玉県の72.7%となった。

(3) - 13. 住まいを選ぶ際に重視する点 (まちのイメージの良さ)

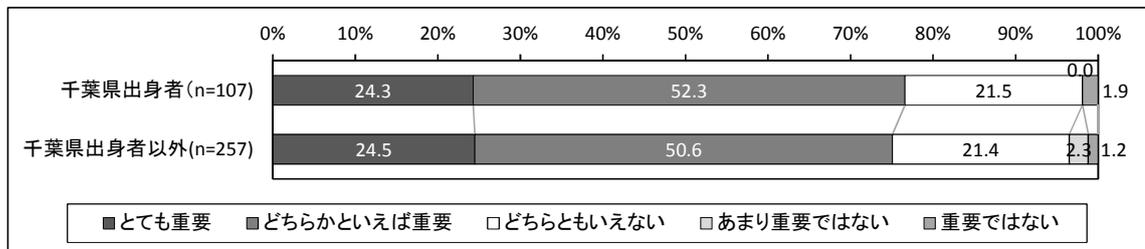
問 住まいを選ぶにあたり、「まちのイメージの良さ」はどのくらい重要ですか。
(SA)

⇒「とても重要」24.5%に、「どちらかといえば重要」51.5%を加えると、「重要」と考えている人は76.0%となる。

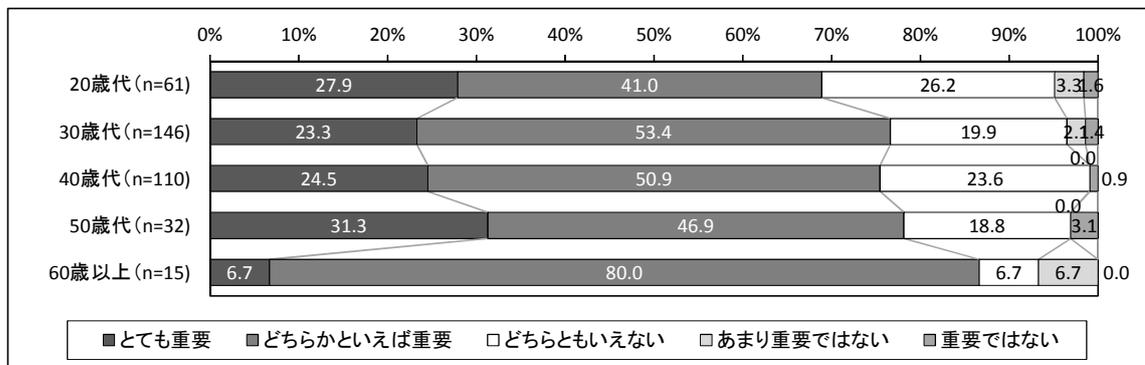


■ 属性別動向

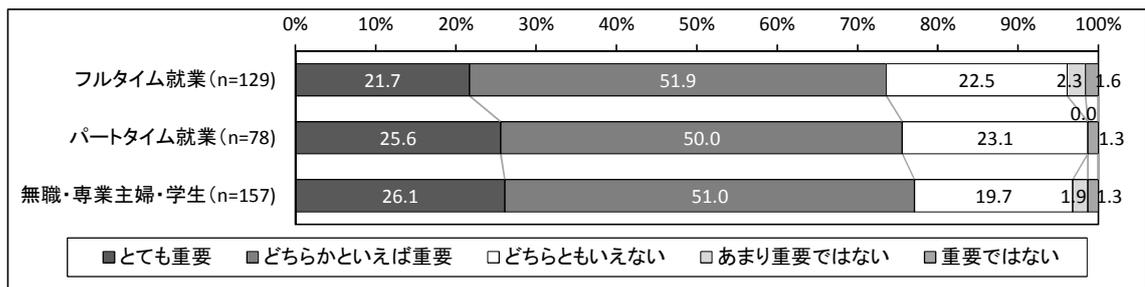
① 出身別



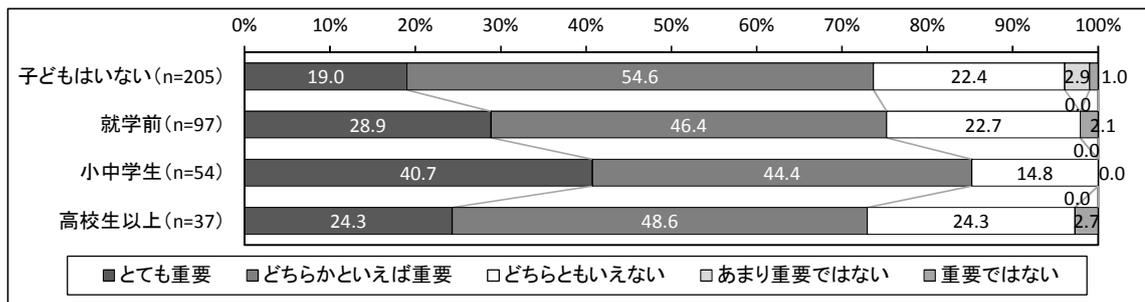
② 年齢別



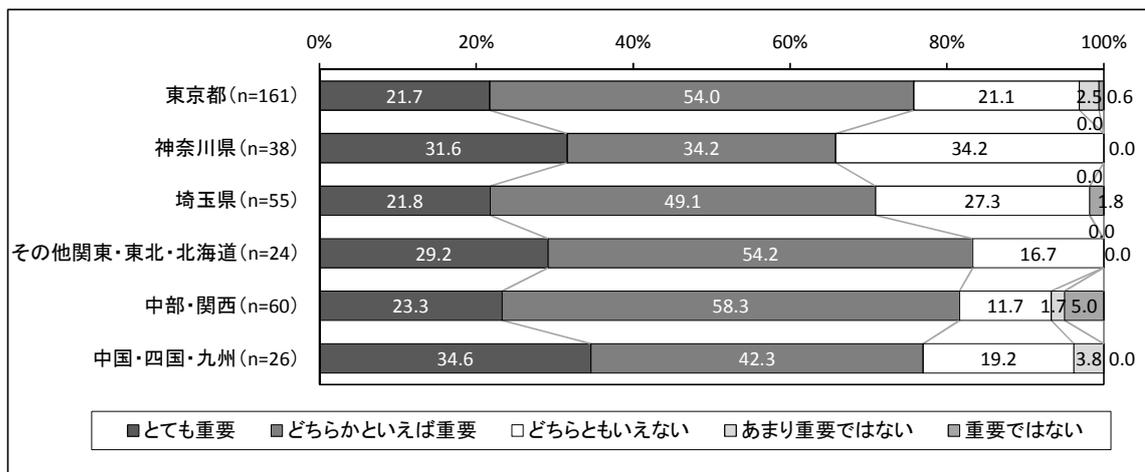
③就業・就学形態別



④子どもの属性別



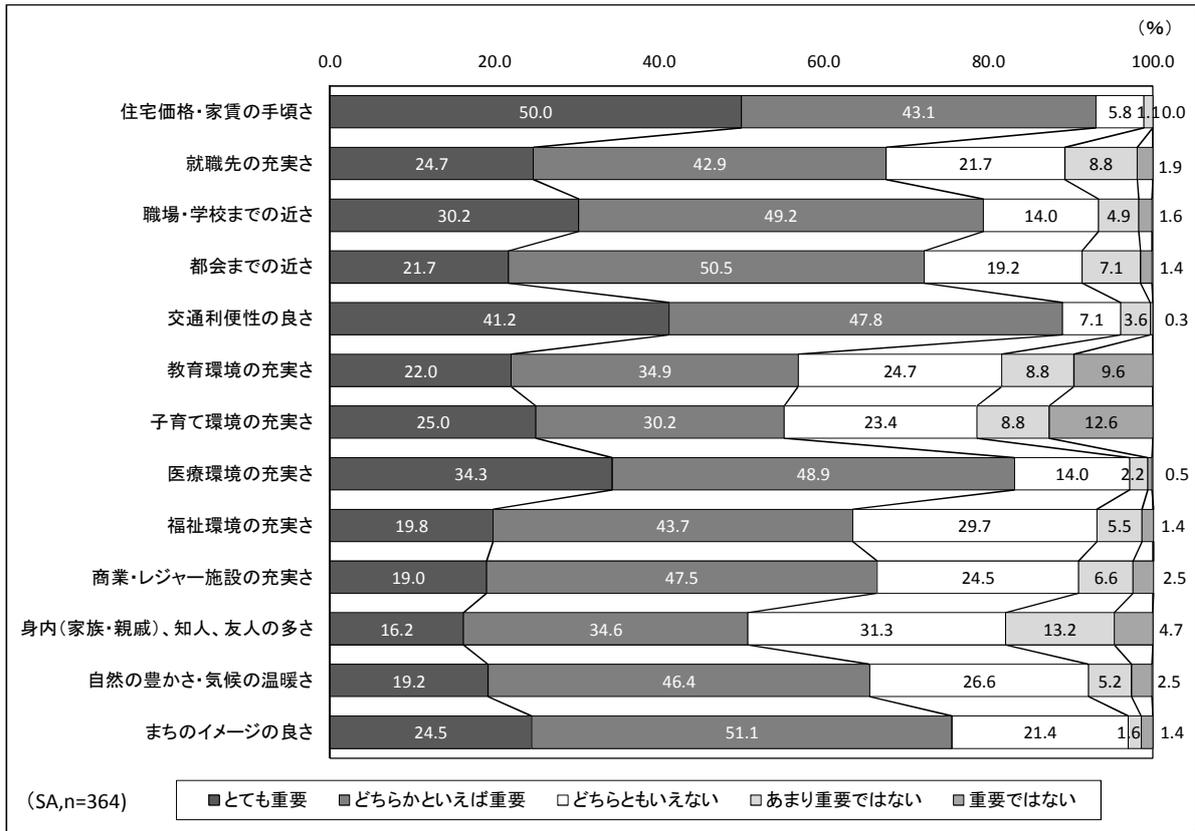
⑤現在の居住地別



○年齢別では、60歳以上において「重要」（「とても」と「どちらかといえば」の合計）が86.7%と最も高くなっている。

○子どもの属性別では、小中学生の子どもを持つ人の回答のうち「まちのイメージが重要」とした比率が85.1%と8割を超えている。このことから、子育て世代の移住促進には、まちのイメージアップも訴求効果があると考えられる。

◆住まいを選ぶ際に重視する点（まとめ）



「とても重要」と回答した比率

項目	%
1 住宅価格・家賃の手頃さ	50.0
2 交通便利性の良さ	41.2
3 医療環境の充実さ	34.3
4 職場・学校までの近さ	30.2
5 子育て環境の充実さ	25.0
6 就職先の充実さ	24.7
7 まちのイメージの良さ	24.5
8 教育環境の充実さ	22.0
9 都会までの近さ	21.7
10 福祉環境の充実さ	19.8
11 自然の豊かさ・気候の温暖さ	19.2
12 商業・レジャー施設の充実さ	19.0
13 身内(家族・親戚)、知人、友人の多さ	16.2

「重要」(「とても」「どちらかといえば」の合計)と回答した比率

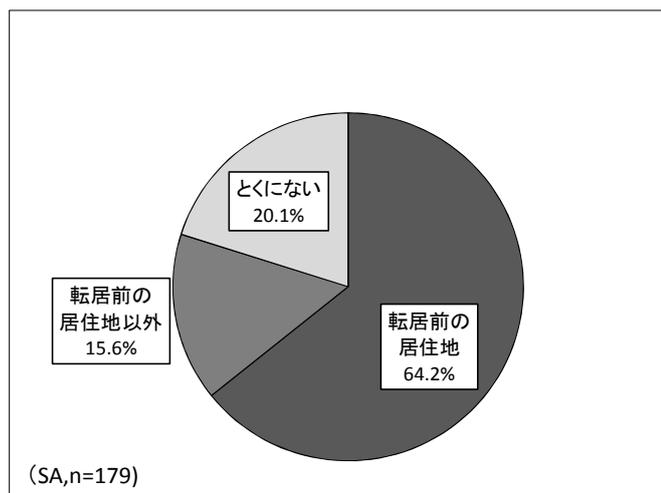
項目	%
1 住宅価格・家賃の手頃さ	93.1
2 交通便利性の良さ	89.0
3 医療環境の充実さ	83.2
4 職場・学校までの近さ	79.4
5 まちのイメージの良さ	75.6
6 都会までの近さ	72.2
7 就職先の充実さ	67.6
8 商業・レジャー施設の充実さ	66.5
9 自然の豊かさ・気候の温暖さ	65.6
10 福祉環境の充実さ	63.5
11 教育環境の充実さ	56.9
12 子育て環境の充実さ	55.2
13 身内(家族・親戚)、知人、友人の多さ	50.8

2. 将来ふたたび千葉県に「とても住みたい」「やや住みたい」と回答した人

(1) 再居住希望の市町村

問 具体的に千葉県で住みたい市町村はありますか。(SA)

⇒「転居前の居住地」が64.2%と、かつて住んでいた馴染みのある市町村にふたたび住みたいとの意向が強い。



■ 転居前の居住地以外の市町村

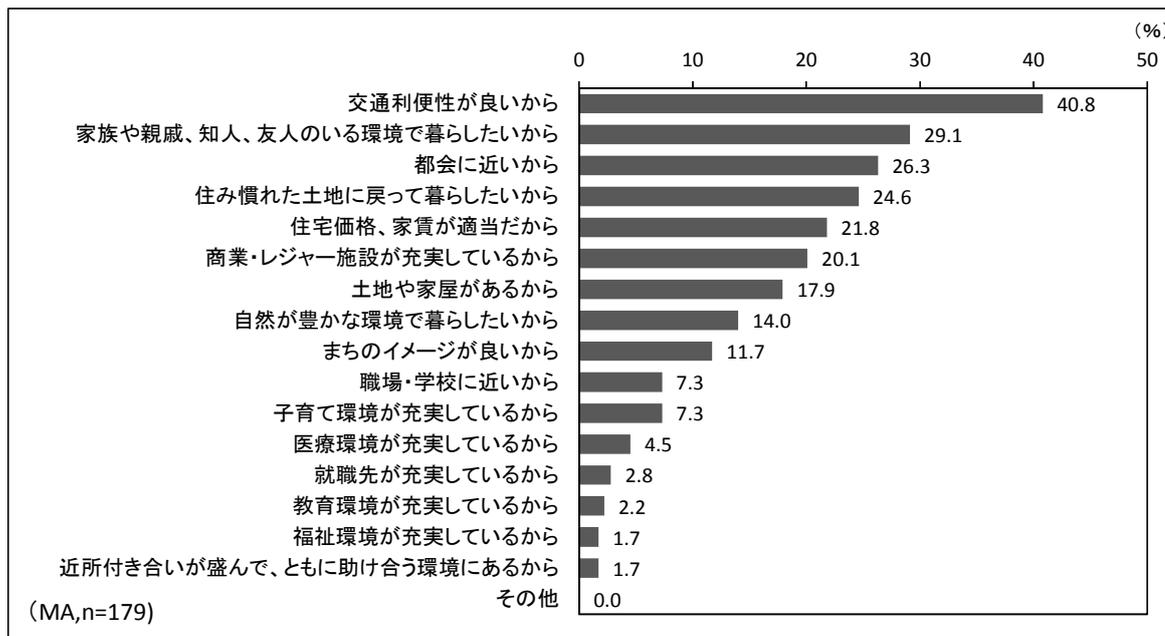
	市町村	回答数	%
1	千葉市	5	17.9
1	柏市	5	17.9
3	船橋市	4	14.3
4	市川市	3	10.7
4	浦安市	3	10.7
6	松戸市	2	7.1
6	流山市	2	7.1
8	習志野市	1	3.6
8	野田市	1	3.6
8	成田市	1	3.6
8	南房総市	1	3.6
	合計	28	100.0

○「転居前の居住地」以外の回答をした人のうち、具体的に県内市町村の名前を挙げたのは、全体の15.6%（28人）。その大半が、いわゆる「都市部」に住みたいと考えていることが窺える。

(2) 再居住希望の理由

問 将来ふたたび千葉県に「とても住みたい」「やや住みたい」と思う理由は何ですか。
(MA)

⇒「交通利便性が良いから」が40.8%と最も高く、「家族や親せき、知人、友人のいる環境で暮らしたいから」29.1%、「都会に近いから」26.3%と続く。



○属性別動向（41 ページ）を見ると、千葉県に住んでいたときに「交通利便性の良さ」を享受していた人が多いと思われる。

○現在の居住地別に見ると、その他関東・東北・北海道や、中国・四国・九州へ転出した人の6割以上が、「交通利便性の良さ」を、ふたたび千葉県に住みたい理由に挙げている。

○また、千葉県が「住み慣れた土地」であり、「家族や親戚、知人、友人がいる」ということも、将来ふたたび千葉県に住みたいと思う理由になることがわかる。

○就学前児童や小中学生の子どもを持つ人と思われる30歳代は、「交通利便性の良さ」以外にも、「家族や親戚、知人、友人がいる」、「商業・レジャー施設が充実」の比率が高い。

■属性別動向

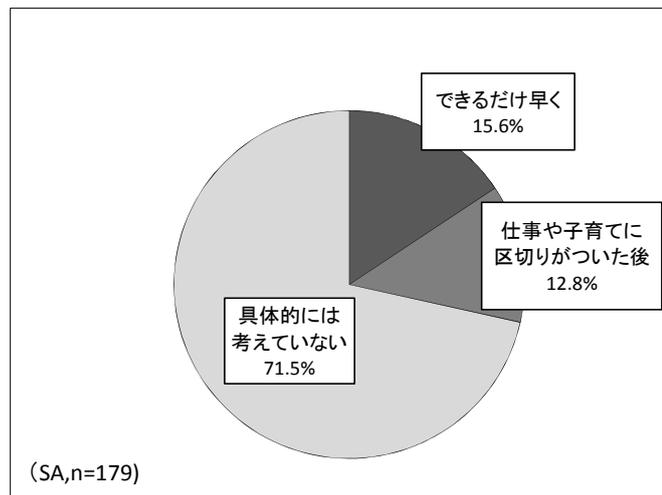
(単位:%)

		回答数 (n)	交通利便性が良い	家族や親戚、知人、友人がいる	都会に近い	住み慣れた土地	住宅価格・家賃が適当	商業・レジャー施設が充実	土地や家屋をもっている	自然が豊か	まちのイメージが良い	職場・学校に近い	子育て環境が充実	医療環境が充実	就職先が充実	教育環境が充実	福祉環境が充実	近所付き合いが盛ん
全体		179	40.8	29.1	26.3	24.6	21.8	20.1	17.9	14.0	11.7	7.3	7.3	4.5	2.8	2.2	1.7	1.7
年齢	20歳代	41	46.3	24.4	26.8	36.6	22.0	7.3	19.5	9.8	14.6	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	-
	30歳代	80	33.8	33.8	22.5	21.3	25.0	27.5	16.3	11.3	7.5	8.8	11.3	5.0	3.8	1.3	1.3	2.5
	40歳以上	58	46.6	25.9	31.0	20.7	17.2	19.0	19.0	20.7	15.6	6.9	5.2	5.2	1.7	3.4	1.7	1.7
就業・就学	フルタイム就業	72	34.7	26.4	26.4	31.9	27.8	12.5	22.2	13.9	13.9	8.3	4.2	-	2.8	2.8	2.8	1.4
	パートタイム就業	33	36.4	36.4	24.2	33.3	18.2	33.3	18.2	9.1	3.0	6.1	12.1	6.1	-	3.0	-	-
	無職・専業主婦・学生	74	48.6	28.4	27.0	13.5	17.6	21.6	13.5	16.2	13.5	6.8	8.1	8.1	4.1	1.4	1.4	2.7
家族構成	一人暮らし等	35	42.9	25.7	28.6	25.7	22.9	14.3	31.4	17.1	8.6	5.7	-	-	-	-	5.7	2.9
	夫婦のみ	60	43.3	31.7	26.7	26.7	26.7	18.3	18.3	18.3	15.0	8.3	1.7	5.0	-	1.7	1.7	-
	二世帯同居(親と子)	79	36.7	30.4	25.3	22.8	17.7	24.1	12.7	10.1	8.9	7.6	13.9	6.3	6.3	3.8	-	2.5
	三世帯同居(祖父母と親と子)	5	60.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-
子どもの属性	子どもはいない	104	42.3	30.8	26.0	28.8	25.0	18.3	22.1	16.3	11.5	7.7	1.0	2.9	1.9	1.0	2.9	1.0
	就学前	47	38.3	31.9	25.5	21.3	19.1	12.8	17.0	8.5	8.5	6.4	12.8	6.4	4.3	2.1	-	4.3
	小中学生	23	39.1	13.0	26.1	13.0	8.7	47.8	8.7	17.4	13.0	4.3	30.4	4.3	-	8.7	-	-
	高校生以上	6	33.3	33.3	33.3	50.0	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	33.3	-	-
転居前居住地	千葉市	28	35.7	32.1	17.9	17.9	28.6	21.4	14.3	14.3	25.0	10.7	7.1	3.6	7.1	-	-	-
	船橋市	29	55.2	31.0	31.0	27.6	13.8	20.7	20.7	3.4	10.3	3.4	-	3.4	-	10.3	3.4	3.4
	市川市	17	47.1	11.8	52.9	17.6	17.6	17.6	23.5	17.6	11.8	5.9	5.9	11.8	-	-	-	5.9
	浦安市	12	58.3	8.3	25.0	25.0	-	50.0	16.7	-	33.3	16.7	25.0	8.3	-	-	8.3	-
	八千代・習志野市	9	33.3	22.2	11.1	22.2	33.3	22.2	-	22.2	-	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1
	松戸市	16	18.8	43.8	18.8	18.8	12.5	12.5	25.0	18.8	6.3	6.3	-	6.3	6.3	-	-	-
	柏市	19	57.9	26.3	36.8	21.1	26.3	15.8	5.3	15.8	5.3	10.5	10.5	5.3	-	-	-	-
	流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷市	15	40.0	40.0	20.0	40.0	26.7	13.3	20.0	13.3	13.3	-	13.3	-	6.7	-	-	-
	印旛ブロック	18	16.7	33.3	16.7	27.8	38.9	11.1	16.7	16.7	5.6	5.6	16.7	-	5.6	-	-	-
	君津ブロック・市原市	9	33.3	55.6	11.1	55.6	11.1	11.1	44.4	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	7	42.9	-	42.9	-	28.6	42.9	14.3	42.9	-	14.3	-	14.3	-	-	14.3	-
現在の居住地	東京都	75	36.0	22.7	20.0	30.7	28.0	10.7	22.7	14.7	9.3	5.3	6.7	4.0	-	1.3	1.3	1.3
	神奈川県	20	50.0	30.0	25.0	35.0	25.0	5.0	20.0	20.0	10.0	15.0	10.0	5.0	-	5.0	5.0	5.0
	埼玉県	29	17.2	37.9	24.1	13.8	20.7	27.6	13.8	13.8	10.3	10.3	6.9	6.9	3.4	-	3.4	-
	その他関東・東北・北海道	11	63.6	54.5	27.3	18.2	-	18.2	18.2	-	9.1	9.1	-	18.2	-	-	-	-
	中部・関西	31	51.6	32.3	29.0	16.1	9.7	35.5	12.9	19.4	19.4	3.2	9.7	-	6.5	6.5	-	3.2
	中国・四国・九州	13	61.5	15.4	61.5	23.1	30.8	46.2	7.7	-	15.4	7.7	7.7	-	15.4	-	-	-

(3) 再居住希望の時期

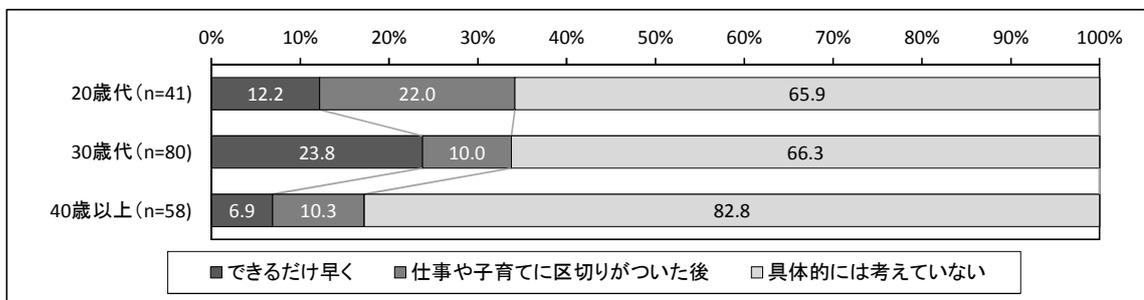
問 いつ頃、千葉県に戻りたいとお考えですか。(SA)

⇒「具体的には考えていない」との回答が7割超であり、漠然と千葉県に戻りたいと考えている人が多い。

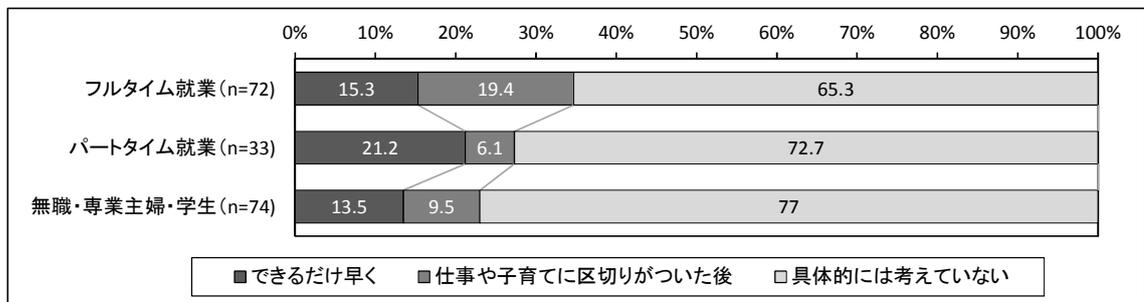


■属性別動向

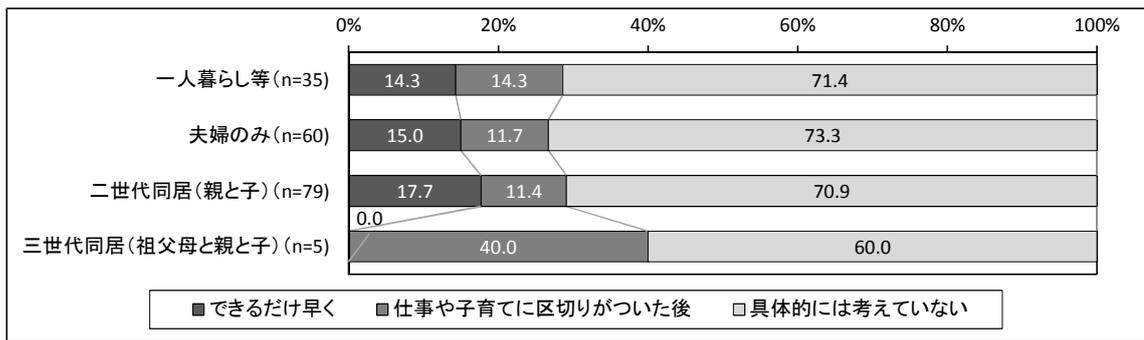
①年齢別



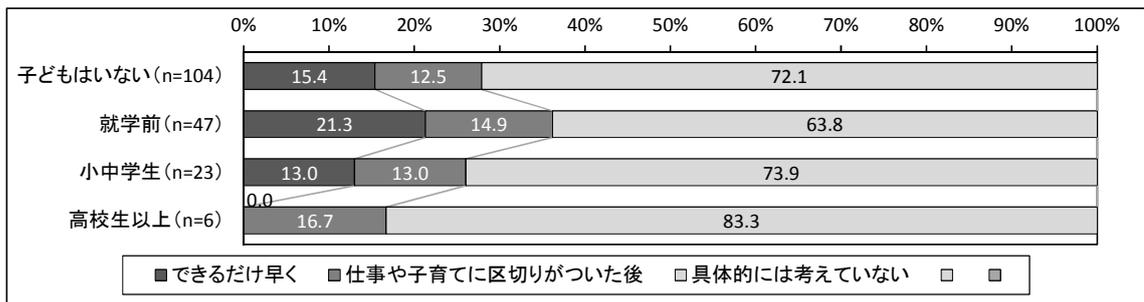
②就業・就学形態別



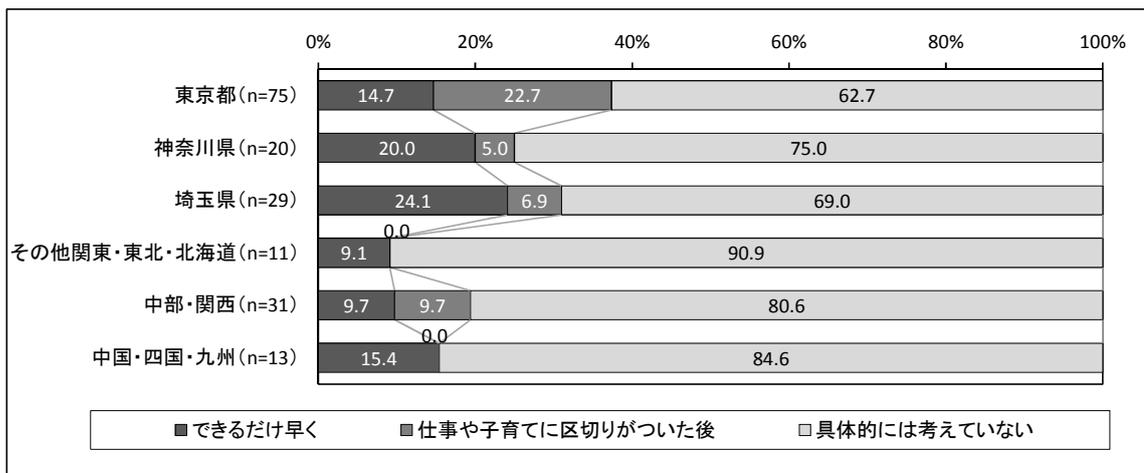
③家族構成別



④子どもの属性別



⑤現在の居住地別



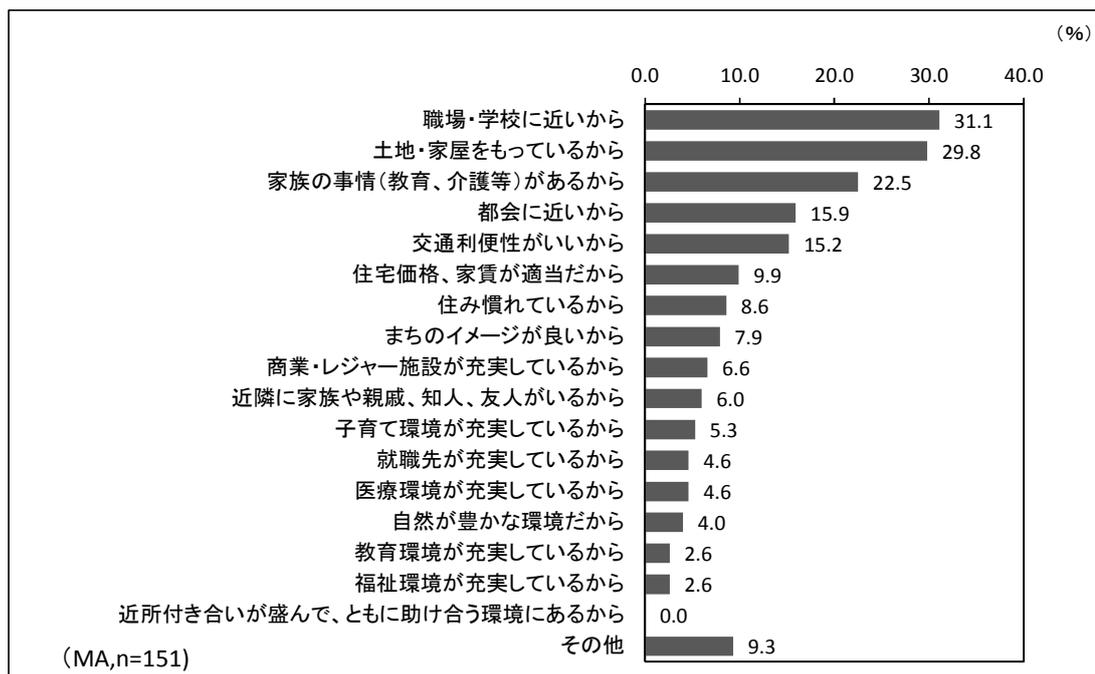
- 年齢別で比較すると、30歳代において、「できるだけ早く」千葉県に戻りたい（23.8%）と考えている人が相対的に多い。
- 家族構成別では、二世帯同居が、「できるだけ早く」千葉県に戻りたい（17.7%）の回答比率が最も高い。
- 現在の居住地別に見ると、「できるだけ早く」と「仕事や子育てに区切りがついた後」の合計は、東京都（37.4%）、埼玉県（31.0%）、神奈川県（25.0%）といった首都圏へ転出した人の回答比率が高く、遠方へ転出した人の回答比率は低い。

(4) すぐに千葉県に戻らない（戻れない）理由

※前問で「仕事や子育てに区切りがついた後」「具体的には考えていない」を回答した人に対する設問)

問 千葉県に戻りたいというお考えがあるものの、すぐには戻らない（戻れない）理由は何ですか。(MA)

⇒「職場・学校に近いから」が31.1%と最も高く、「土地・家屋をもっているから」29.8%、「家庭の事情（教育、介護等）があるから」22.5%と続く。



- 「職場・学校に近いから」「土地・家屋をもっているから」「家庭の事情（教育、介護等）があるから」といったように、現在の居住地に生活基盤があることが、すぐに千葉県に戻らない（戻れない）理由としてウエイトが大きいことがわかる。
- 属性別動向（45 ページ）を見ると、「職場・学校に近いから」と回答した人の比率が高いのは、「20 歳代」、「フルタイム就業」、「一人暮らし等」、「子どもはいない」といった属性であることがわかる。
- 一方、「土地・家屋をもっているから」と回答した人の比率が高いのは、「50 歳代」、「二世帯同居」といった属性である。
- 現在の居住地別に見ると、首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県）へ転出した人は、「職場・学校に近いから」、「土地・家屋をもっているから」という理由が多い。逆に、遠方へ転出した人は、「家庭の事情（教育、介護等）があるから」の比率が高く、それぞれ転出の背景が異なっていることが窺える。

■属性別動向

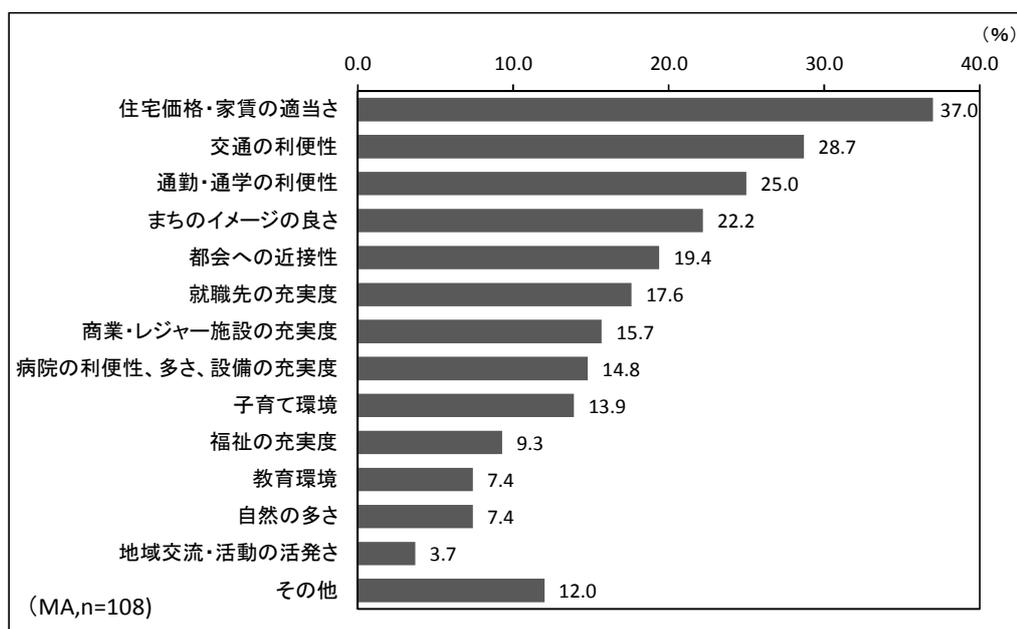
(単位:%)

		回答数 (n)	職場・学校に近い	土地・家屋をもっている	子供の教育や親の介護等、 家族の事情	都会に近い	交通利便性が高い	住宅価格、家賃が適当	住み慣れている	まちなイメージが良い	商業・レジャー施設が充実	親戚、知人、友人がいる	子育て環境が充実	就職先が充実	医療環境が充実	自然が豊か	教育環境が充実	福祉環境が充実	近所付き合いが盛ん
全体		151	31.1	29.8	22.5	15.9	15.2	9.9	8.6	7.9	6.6	6.0	5.3	4.6	4.6	4.0	2.6	2.6	-
年齢	20歳代	36	38.9	11.1	16.7	33.3	30.6	11.1	8.3	8.3	13.9	8.3	5.6	13.9	5.6	2.8	5.6	2.8	-
	30歳代	61	29.5	23.0	23.0	11.5	13.1	8.2	11.5	11.5	1.6	4.9	6.6	3.3	3.3	4.9	3.3	3.3	-
	40歳以上	54	27.8	50.0	25.9	9.3	7.4	9.3	5.6	3.7	7.4	5.6	3.7	0.0	5.6	3.7	0.0	1.9	-
就学・就業	フルタイム就業	61	42.6	21.3	6.6	24.6	24.6	8.2	13.1	13.1	6.6	4.9	8.2	6.6	6.6	3.3	6.6	4.9	-
	パートタイム就業	26	30.8	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	-	7.7	3.8	3.8	-	-	-
	無職・専業主婦・学生	64	20.3	37.5	34.4	10.9	9.4	12.5	4.7	6.3	6.3	6.3	4.7	1.6	3.1	4.7	-	1.6	-
家族構成	一人暮らし等	30	60.0	13.3	-	36.7	33.3	10.0	13.3	6.7	16.7	3.3	-	13.3	3.3	-	3.3	-	-
	夫婦のみ	51	39.2	31.4	21.6	13.7	17.6	7.8	5.9	7.8	5.9	5.9	5.9	2.0	5.9	3.9	2.0	3.9	-
	二世帯同居(親と子)	65	13.8	36.9	33.8	9.2	4.6	12.3	7.7	6.2	3.1	4.6	6.2	3.1	3.1	4.6	1.5	1.5	-
	三世帯同居(祖父母と親と子)	5	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	40.0	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-
子どもの属性	子どもはいない	88	44.3	25.0	15.9	20.5	22.7	8.0	9.1	6.8	9.1	5.7	4.5	5.7	5.7	3.4	3.4	3.4	-
	就学前	38	15.8	26.3	36.8	13.2	5.3	10.5	7.9	7.9	2.6	5.3	7.9	5.3	2.6	2.6	2.6	2.6	-
	小中学生	28	7.1	46.4	35.7	3.6	3.6	14.3	3.6	10.7	3.6	7.1	7.1	-	3.6	7.1	-	-	-
	高校生以上	14	14.3	57.1	7.1	-	-	21.4	14.3	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-
転居前居住地	千葉市	23	34.8	17.4	34.8	21.7	13.0	4.3	-	13.0	4.3	4.3	4.3	-	4.3	-	4.3	4.3	-
	船橋市	23	39.1	34.8	8.7	13.0	21.7	13.0	4.3	13.0	4.3	4.3	-	4.3	4.3	4.3	-	-	-
	市川市	15	13.3	13.3	40.0	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-
	浦安市	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	20.0	10.0	-	10.0	-	10.0	10.0	-
	八千代・習志野市	8	12.5	50.0	25.0	12.5	12.5	25.0	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-
	松戸市	12	41.7	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	25.0	-	8.3	-	8.3	-	-	8.3	-	-	-
	柏市	17	35.3	41.2	29.4	23.5	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9	-	11.8	5.9	11.8	-	-	-
	流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷市	14	21.4	35.7	21.4	21.4	7.1	28.6	7.1	21.4	7.1	21.4	14.3	-	7.1	7.1	-	7.1	-
	印旛ブロック	17	41.2	47.1	5.9	11.8	17.6	5.9	17.6	5.9	5.9	5.9	-	-	-	5.9	-	-	-
	君津ブロック・市原市	7	57.1	14.3	14.3	28.6	42.9	-	14.3	-	42.9	-	14.3	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-
	その他	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-
現在の居住地	東京都	64	37.5	26.6	10.9	26.6	23.4	6.3	9.4	9.4	10.9	3.1	7.8	9.4	6.3	-	3.1	4.7	-
	神奈川県	16	43.8	43.8	18.8	6.3	12.5	12.5	6.3	12.5	12.5	6.3	-	-	12.5	12.5	-	6.3	-
	埼玉県	22	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2	13.6	9.1	9.1	-	9.1	9.1	-	-	4.5	9.1	-	-
	その他関東・東北・北海道	10	30.0	20.0	40.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-
	中部・関西	28	17.9	25.0	32.1	3.6	3.6	14.3	-	3.6	-	3.6	3.6	3.6	-	7.1	-	-	-
	中国・四国・九州	11	18.2	54.5	45.5	-	-	-	27.3	-	-	-	27.3	-	-	-	9.1	-	-

3. 将来ふたたび千葉県に住む意向について「どちらともいえない」と回答した人

問 千葉県のこういった点が改善されれば、千葉県に戻りたいとお考えになりますか。
(MA)

⇒「住宅価格・家賃の適当さ」が37.0%と最も高く、「交通の利便性」28.7%、「通勤・通学の利便性」25.0%と続く。



○属性別動向（47 ページ）で現在の居住地別を見ると、東京都、神奈川県を除いた全ての地域において、「住宅価格・家賃の適当さ」が回答比率が最も高く、千葉県に戻るうえで、「住宅価格・家賃」が高いことがネックであることがわかる。

○一方、東京都および神奈川県に転出した人は、千葉県の「交通の利便性」や「通勤・通学の利便性」が悪いと感じていることが窺える。

○また、年齢別で見ると、20 歳代にとって、千葉県は「商業・レジャー施設」が充実していないと感じるようである。

■属性別動向

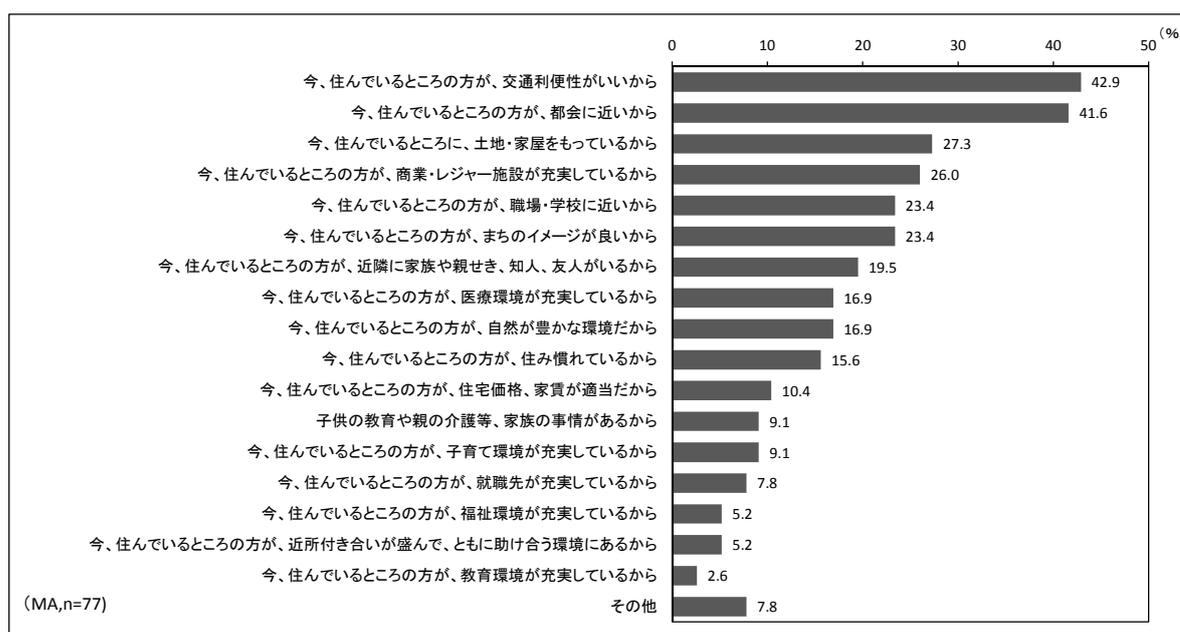
(単位:%)

		回答数 (n)	住宅 価格・家賃 の適当さ	交通 の利便性	通勤・通学 の利便性	まちのイメ ージの良さ	都会への 近接性	就職先の 充実度	商業・レ ジャー施設 の充実度	病院の利 便性・多 さ・設備	子育て環 境	福祉の充 実度	教育環 境	自然の多 さ	地域交 流・活動 の活発さ
全体		108	37.0	28.7	25.0	22.2	19.4	17.6	15.7	14.8	13.9	9.3	7.4	7.4	3.7
年齢	20歳代	11	18.2	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2	36.4	9.1	9.1	9.1	-	-	9.1
	30歳代	37	37.8	35.1	21.6	24.3	24.3	8.1	13.5	18.9	24.3	5.4	13.5	5.4	5.4
	40歳以上	60	40.0	25.0	26.7	20.0	16.7	23.3	13.3	13.3	8.3	11.7	5.0	10.0	1.7
就業・ 就学	フルタイム就業	36	25.0	36.1	44.4	27.8	27.8	25.0	19.4	8.3	5.6	5.6	8.3	8.3	8.3
	パートタイム就業	28	50.0	21.4	17.9	21.4	7.1	21.4	14.3	14.3	17.9	10.7	7.1	3.6	-
	無職・専業主婦・学生	44	38.6	27.3	13.6	18.2	20.5	9.1	13.6	20.5	18.2	11.4	6.8	9.1	2.3
家族 構成	一人暮らし等	18	27.8	61.1	44.4	11.1	33.3	11.1	22.2	5.6	-	-	-	11.1	-
	夫婦のみ	32	43.8	25.0	15.6	31.3	15.6	15.6	12.5	15.6	6.3	6.3	3.1	9.4	-
	二世帯同居(親と子)	51	37.3	21.6	23.5	19.6	17.6	17.6	17.6	19.6	25.5	15.7	13.7	5.9	5.9
	三世帯同居(祖父母と親と子)	7	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	42.9	-	-	-	-	-	-	14.3
子 属 の 性 別	子どもはいない	54	37.0	38.9	27.8	22.2	24.1	16.7	14.8	13.0	3.7	5.6	1.9	9.3	-
	就学前	31	35.5	22.6	25.8	25.8	16.1	12.9	12.9	12.9	25.8	6.5	12.9	6.5	9.7
	小中学生	15	46.7	13.3	6.7	20.0	13.3	13.3	26.7	26.7	40.0	13.3	26.7	6.7	6.7
	高校生以上	11	36.4	9.1	27.3	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	-	27.3	-	9.1	9.1
転 居 前 居 住 地	千葉市	13	30.8	23.1	30.8	38.5	30.8	30.8	23.1	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	-
	船橋市	17	41.2	17.6	17.6	23.5	17.6	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-	-
	市川市	23	47.8	17.4	21.7	17.4	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	17.4	4.3	21.7	8.7
	浦安市	7	28.6	42.9	14.3	28.6	28.6	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	-
	八千代・習志野市	3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
	松戸市	14	28.6	14.3	14.3	35.7	-	-	14.3	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1
	柏市	5	60.0	80.0	40.0	-	20.0	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-
	流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷市	10	40.0	30.0	30.0	20.0	40.0	30.0	30.0	30.0	10.0	-	10.0	10.0	-
	印旛ブロック	6	16.7	50.0	66.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-	-
	君津ブロック・市原市	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-
	その他	5	-	60.0	40.0	-	20.0	60.0	-	40.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0
現 在 の 居 住 地	東京都	47	27.7	34.0	46.8	12.8	31.9	21.3	14.9	19.1	12.8	12.8	8.5	8.5	2.1
	神奈川県	10	10.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	10.0	-	-	10.0	10.0	-	-
	埼玉県	18	38.9	27.8	16.7	22.2	5.6	-	33.3	27.8	33.3	5.6	5.6	-	11.1
	その他関東・東北・北海道	10	40.0	20.0	-	30.0	10.0	20.0	20.0	-	10.0	-	10.0	10.0	-
	中部・関西	18	55.6	16.7	-	33.3	11.1	11.1	5.6	11.1	11.1	11.1	5.6	16.7	5.6
	中国・四国・九州	5	100.0	20.0	-	20.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-

4. 将来ふたたび千葉県に「あまり住みたくない」「まったく住みたくない」と回答した人

問 千葉県に戻りたいというお考えがない理由（今お住まいのところの方が千葉県よりも暮らしやすいと感じる点）は何ですか。（MA）

⇒「今、住んでいるところの方が、交通利便性がいいから」が42.9%と最も高く、「都会に近いから」、「土地・家屋を持っているから」が続く。



○属性別動向（49 ページ）を見ると、ほとんどの属性で、交通利便性が良く、都会に近く、かつ職場・学校に近いといった要素が、今、住んでいるところのメリットであることがわかる。東京都および神奈川県に居住している人の回答に、その傾向が顕著に表れている。

○40 ページの問に対し、主に首都圏以外に転出した人が、「千葉県の交通利便性の良さ」を理由に、ふたたび千葉県に住みたいとした回答と対照的である。

○この2つの結果から、「交通利便性」が移住における重要な要素の1つであることがわかる。

○また、その他関東・東北・北海道へ転出した人は「土地・家屋をもっているから」、中部・関西へ転出した人は「親戚・知人、友人がいるから」との回答があり、これらは、交通利便性よりも地縁・血縁から、ふたたび千葉県に「住みたくない」と回答したものと思われる。

■属性別動向

(単位:%)

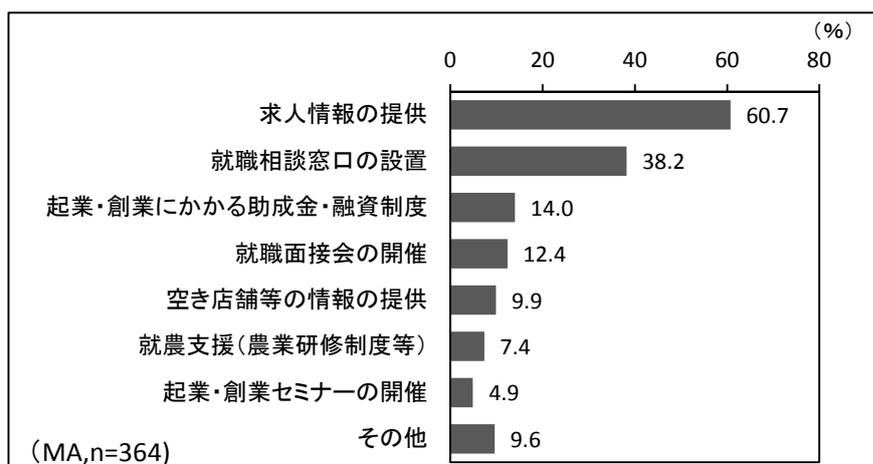
		回答数 (n)	交通利 便性が いい	都 会に 近い	土 地・ 家 屋を も つ て い る	商 業・ レ ジ ャ ー 施 設 が 充 実	職 場・ 学 校 に 近 い	ま ち の イ メ ー ジ が 良 い	親 戚、 知 人、 友 人 が い る	医 療 環 境 が 充 実	自 然 が 豊 か	住 み 慣 れ て い る	住 宅 価 格・ 家 賃 が 適 当	子 供の 教 育 や 親 の 介 護 等、 家 族 の 事 情	子 育 て 環 境 が 充 実	就 職 先 が 充 実	福 祉 環 境 が 充 実	近 所 付 き 合 い が 盛 ん	教 育 環 境 が 充 実
全体		77	42.9	41.6	27.3	26.0	23.4	23.4	19.5	16.9	16.9	15.6	10.4	9.1	9.1	7.8	5.2	5.2	2.6
年 齢	20歳代	9	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	-	22.2	22.2	22.2	-	22.2	-	11.1	-	11.1
	30歳代	29	44.8	41.4	27.6	27.6	27.6	27.6	13.8	17.2	13.8	10.3	10.3	13.8	10.3	6.9	-	6.9	-
	40歳以上	39	48.7	43.6	28.2	28.2	20.5	23.1	23.1	20.5	17.9	17.9	7.7	7.7	5.1	10.3	7.7	5.1	2.6
就 業・ 就 学	フルタイム就業	21	42.9	42.9	23.8	14.3	42.9	14.3	23.8	4.8	19.0	19.0	4.8	4.8	-	9.5	-	-	-
	パートタイム就業	17	64.7	64.7	29.4	47.1	29.4	41.2	35.3	23.5	17.6	11.8	-	5.9	-	17.6	11.8	17.6	-
	無職・専業主婦・学生	39	33.3	30.8	28.2	23.1	10.3	20.5	10.3	20.5	15.4	15.4	17.9	12.8	17.9	2.6	5.1	2.6	5.1
家 族 構 成	一人暮らし等	13	46.2	53.8	7.7	23.1	23.1	23.1	15.4	-	23.1	23.1	7.7	-	-	7.7	7.7	-	-
	夫婦のみ	27	55.6	51.9	44.4	29.6	33.3	22.2	14.8	29.6	11.1	11.1	3.7	7.4	3.7	14.8	3.7	7.4	-
	二世帯同居(親と子)	32	31.3	28.1	21.9	25.0	15.6	21.9	25.0	15.6	18.8	9.4	15.6	15.6	12.5	3.1	6.3	6.3	6.3
	三世帯同居(祖父母と親と子)	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	60.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-
子 ど も の 属 性	子どもはいない	47	46.8	46.8	36.2	25.5	27.7	21.3	19.1	19.1	17.0	17.0	6.4	4.3	4.3	10.6	6.4	6.4	-
	就学前	18	27.8	33.3	16.7	27.8	16.7	38.9	22.2	11.1	27.8	11.1	22.2	22.2	22.2	-	-	5.6	11.1
	小中学生	8	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0	-	-	-	12.5
	高校生以上	5	40.0	20.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-
転 居 前 居 住 地	千葉市	15	33.3	33.3	6.7	13.3	46.7	20.0	13.3	13.3	20.0	6.7	13.3	13.3	6.7	-	6.7	-	-
	船橋市	10	50.0	30.0	20.0	30.0	10.0	20.0	50.0	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	20.0	-
	市川市	9	11.1	33.3	55.6	11.1	11.1	-	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	-	-	-	22.2	-
	浦安市	6	33.3	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-
	八千代・習志野市	3	33.3	100.0	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
	松戸市	11	54.5	36.4	36.4	9.1	27.3	18.2	18.2	18.2	9.1	-	9.1	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1
	柏市	6	33.3	50.0	33.3	50.0	-	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-
	流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷市	6	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	83.3	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	50.0	16.7	-	-
	印旛ブロック	4	75.0	75.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-
	君津ブロック・市原市	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	その他	5	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	60.0	-	20.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-
	現 在 の 居 住 地	東京都	39	64.1	61.5	17.9	25.6	28.2	23.1	10.3	23.1	7.7	15.4	2.6	7.7	7.7	7.7	5.1	2.6
神奈川県		8	62.5	62.5	62.5	75.0	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	-	25.0	25.0	-	-	-
埼玉県		8	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	25.0	-
その他関東・東北・北海道		3	-	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
中部・関西		11	18.2	9.1	36.4	9.1	18.2	18.2	54.5	9.1	45.5	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
中国・四国・九州	8	-	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	

5. ふたたび千葉県に住むことを検討する場合、自治体の取組みで重要なこと(全員回答)

(1)「就職、起業・創業」に関する取組み

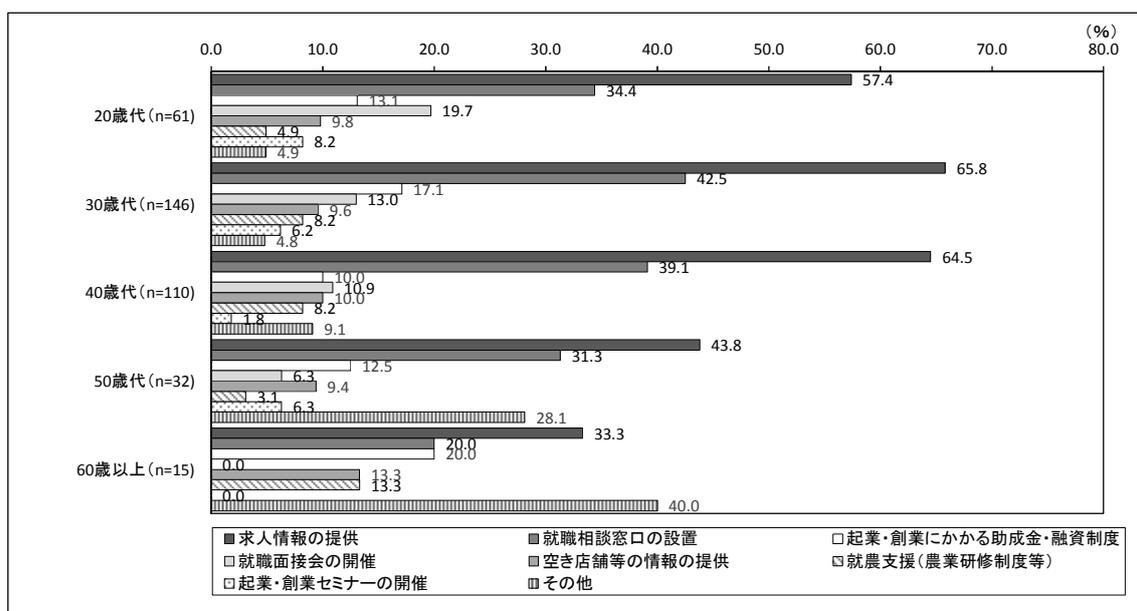
問 以下の「就職、起業・創業」に関する自治体の取組みの中で、特に重要と思うものはどれですか。(MA)

⇒「求人情報の提供」が60.7%と最も高く、「就職相談窓口」が38.2%、「起業・創業にかかる助成金・融資制度」が14.0%と続く。

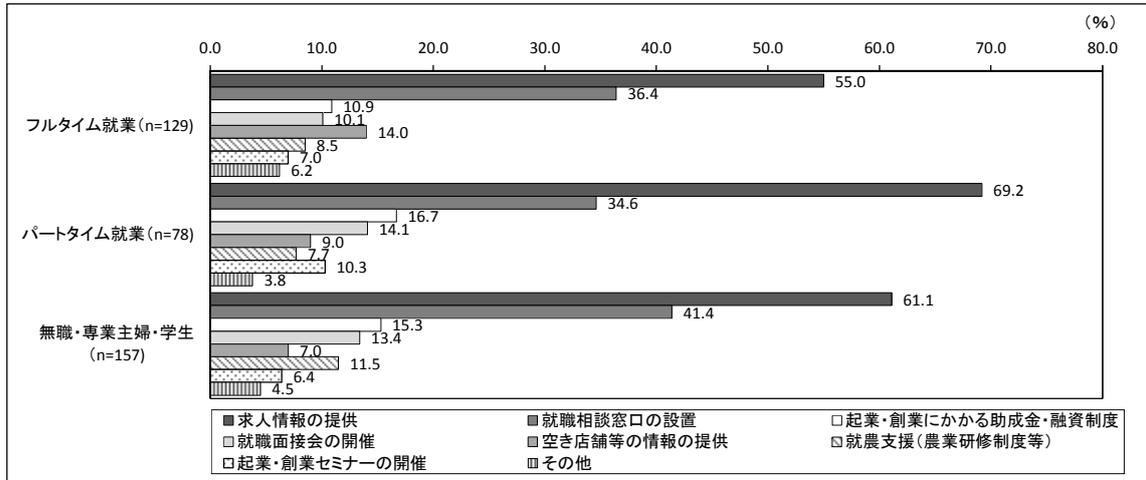


■ 属性別動向

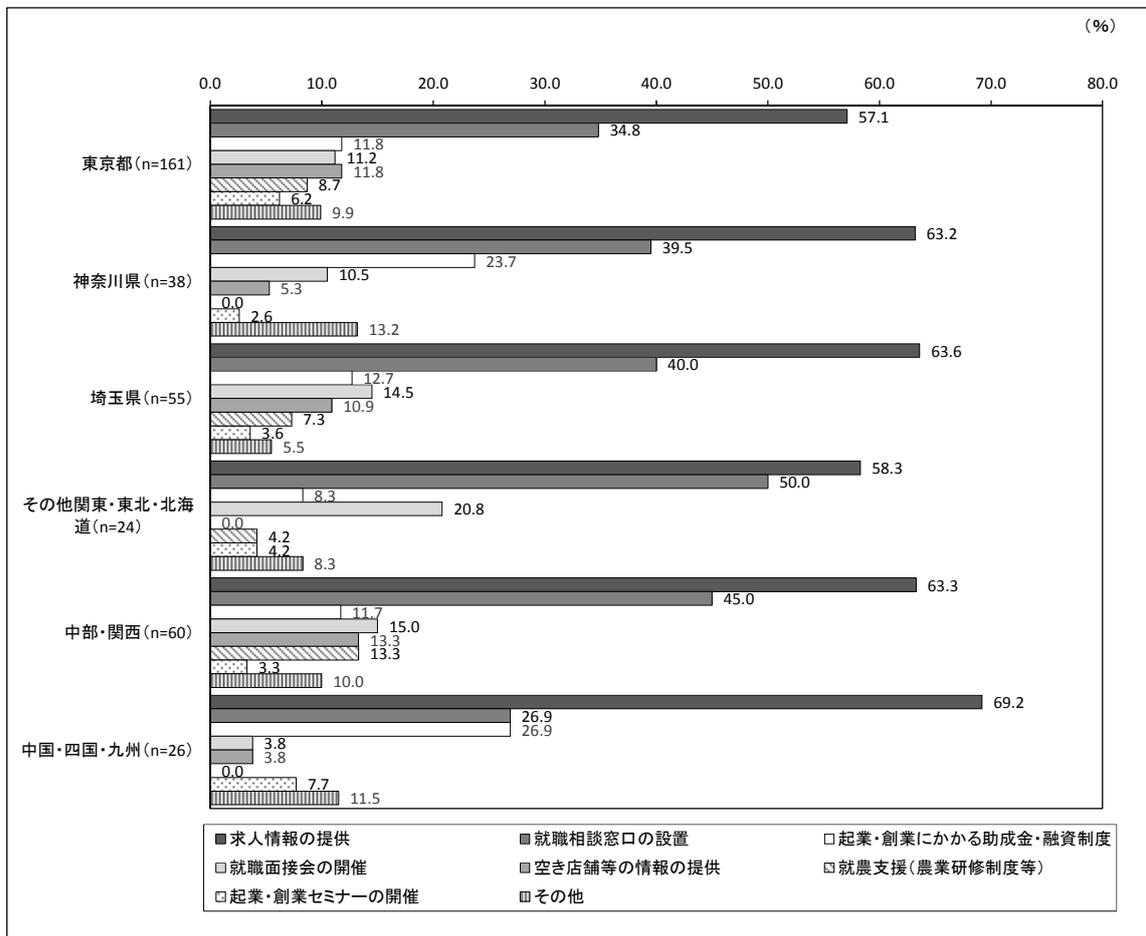
① 年齢別



②就業・就学形態別



③現在の居住地別



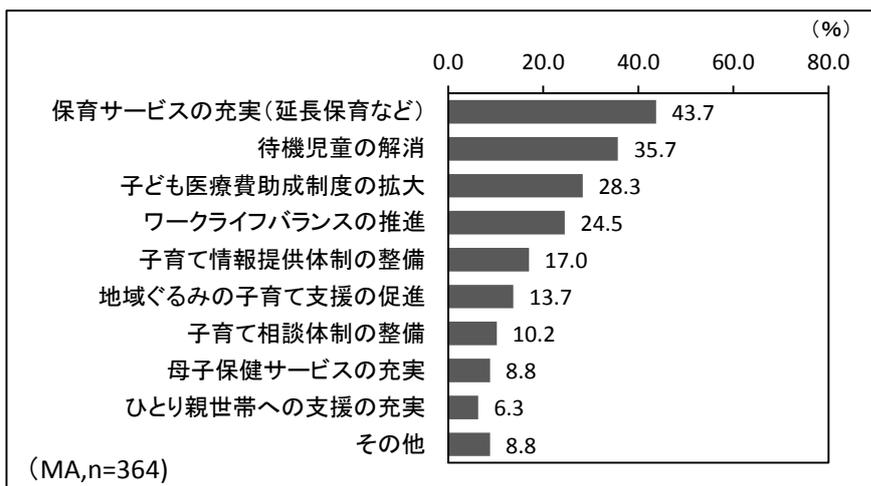
○いずれの年齢においても、「求人情報の提供」との回答比率が最も高い。

○フルタイム就業よりもパートタイム就業の方が「求人情報の提供」を重視している。これは、パートタイム就業が転居とともに職を変えることを想定しているのに対し、フルタイム就業は職を変えない範囲での転居を想定しているとも考えられる。

(2)「子育て」に関する取組み

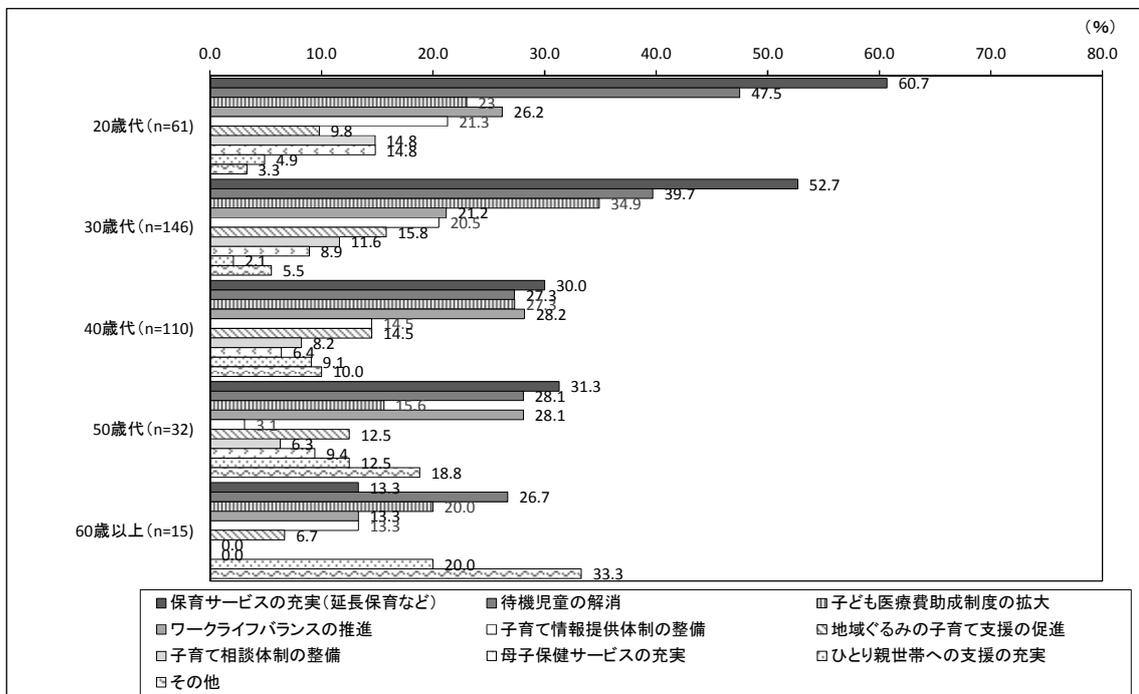
問 以下の「子育て」に関する自治体の取組みの中で、特に重要と思うものはどれですか。(MA)

⇒「保育サービスの充実(延長保育など)」が43.7%と最も高く、「待機児童の解消」が35.7%、「子ども医療費助成制度の拡大」が28.3%と続く。

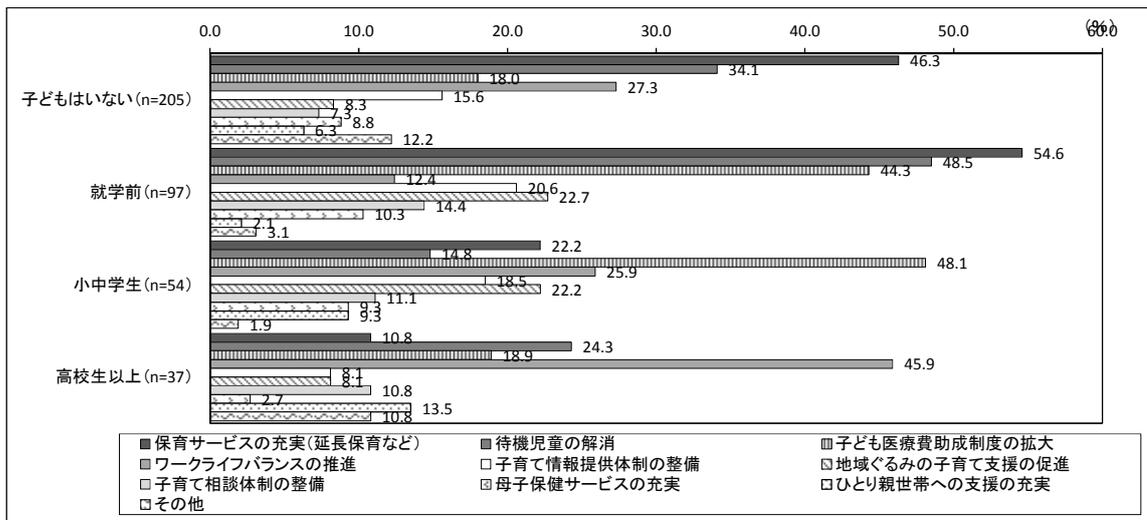


■属性別動向

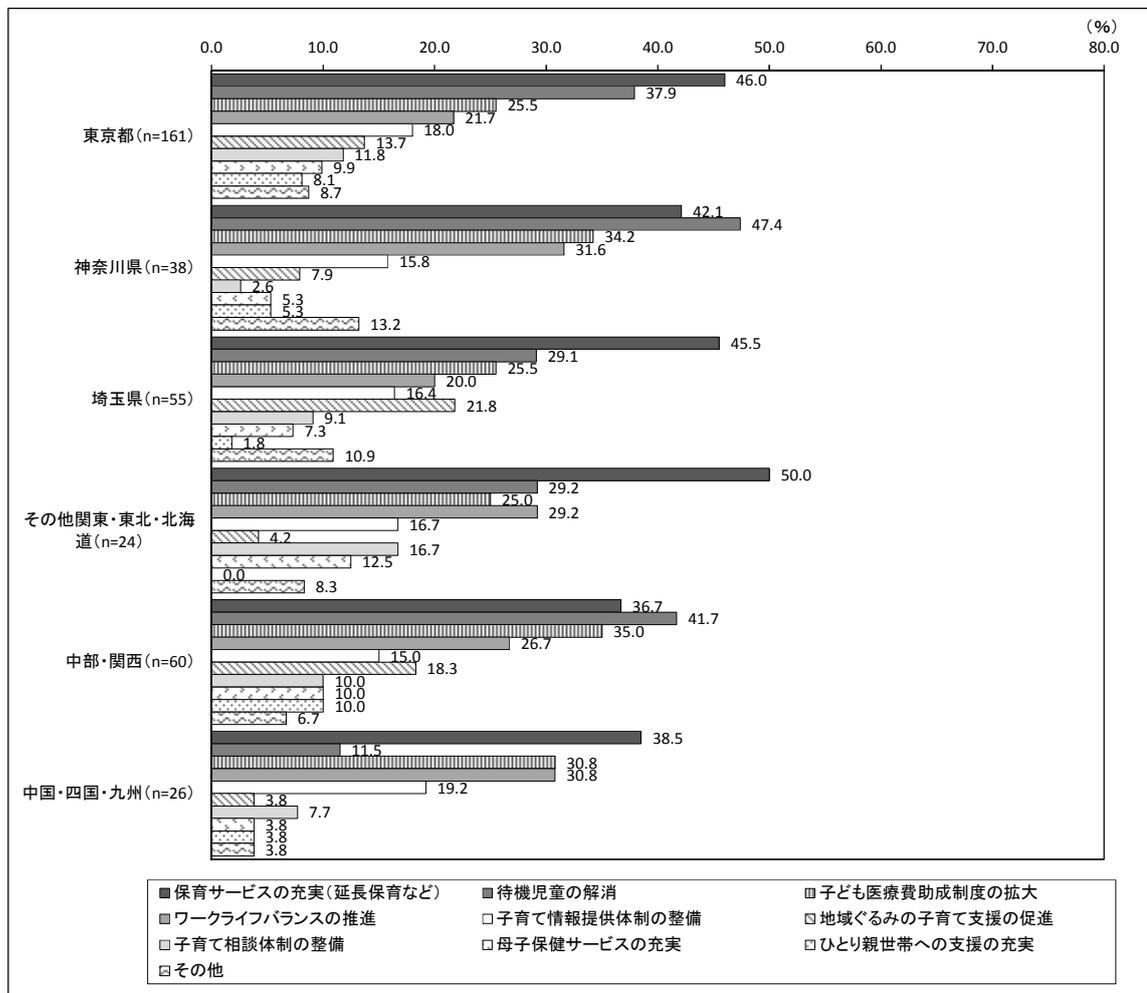
①年齢別



②子どもの属性別



③現在の居住地別



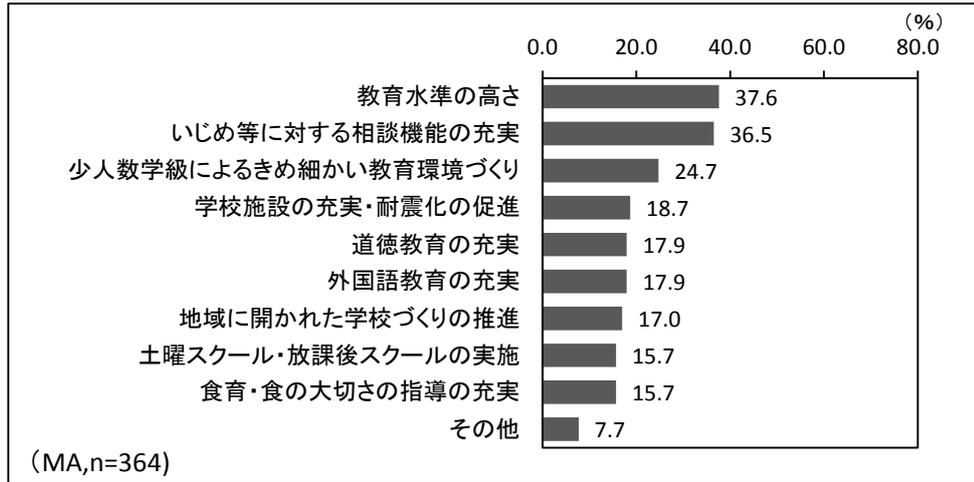
○就学前児童を持つ親が、「子育て」に関する取組みを重要と捉えている。

○地域的には、関西以西の方が「子育て」に関する取組みについての重要度が低い。

(3)「教育」に関する取組み

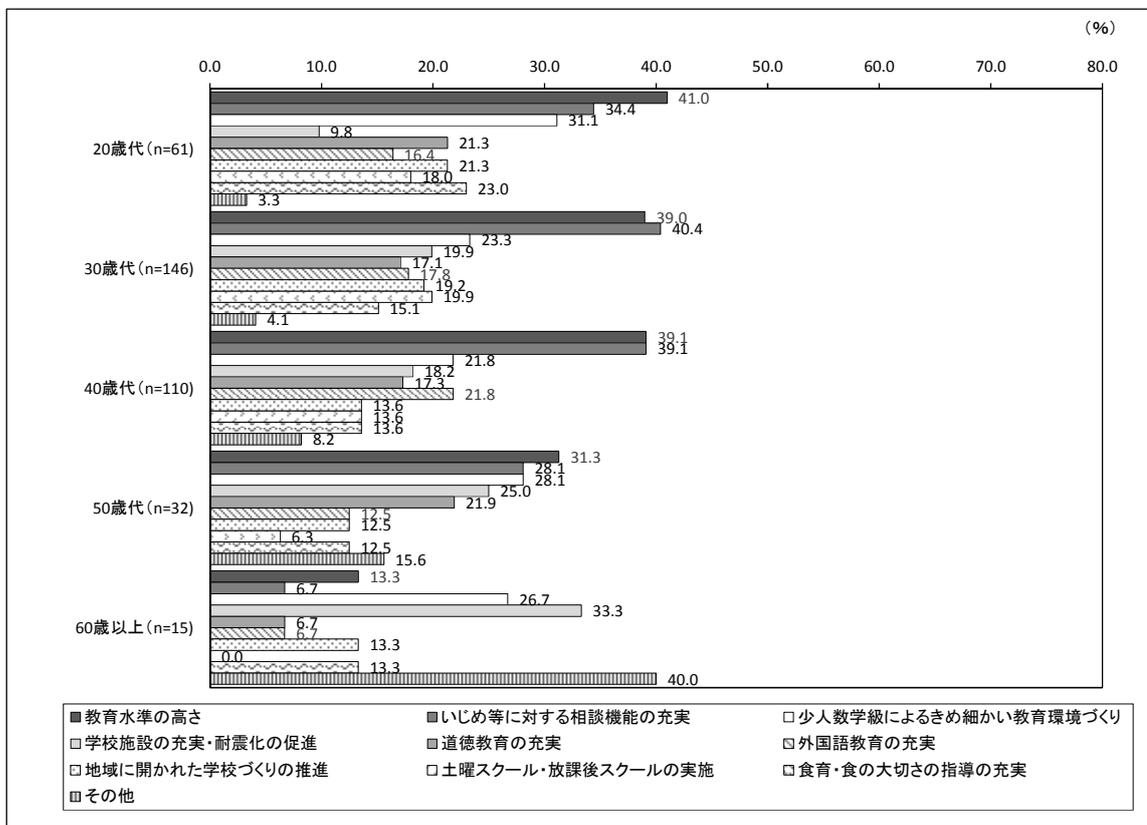
問 以下の「教育」に関する自治体の取組みの中で、特に重要と思うものはどれですか。(MA)

⇒「教育水準の高さ」(37.6%)、「いじめ等に対する相談機能の充実」(36.5%)が重要との回答比率が高い。

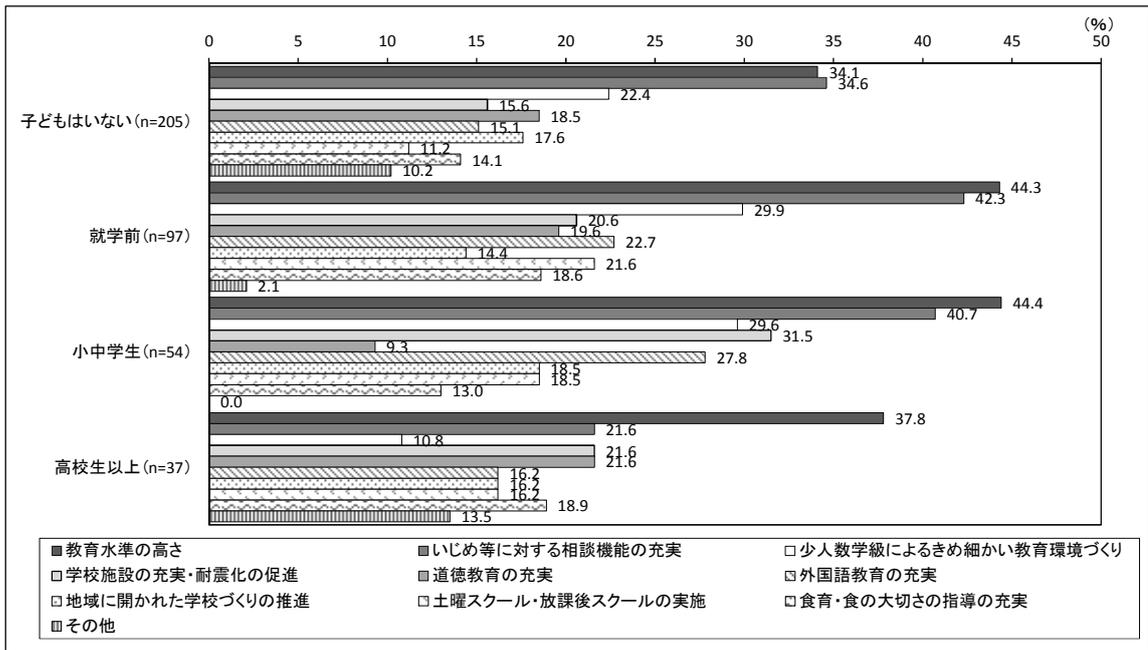


■ 属性別動向

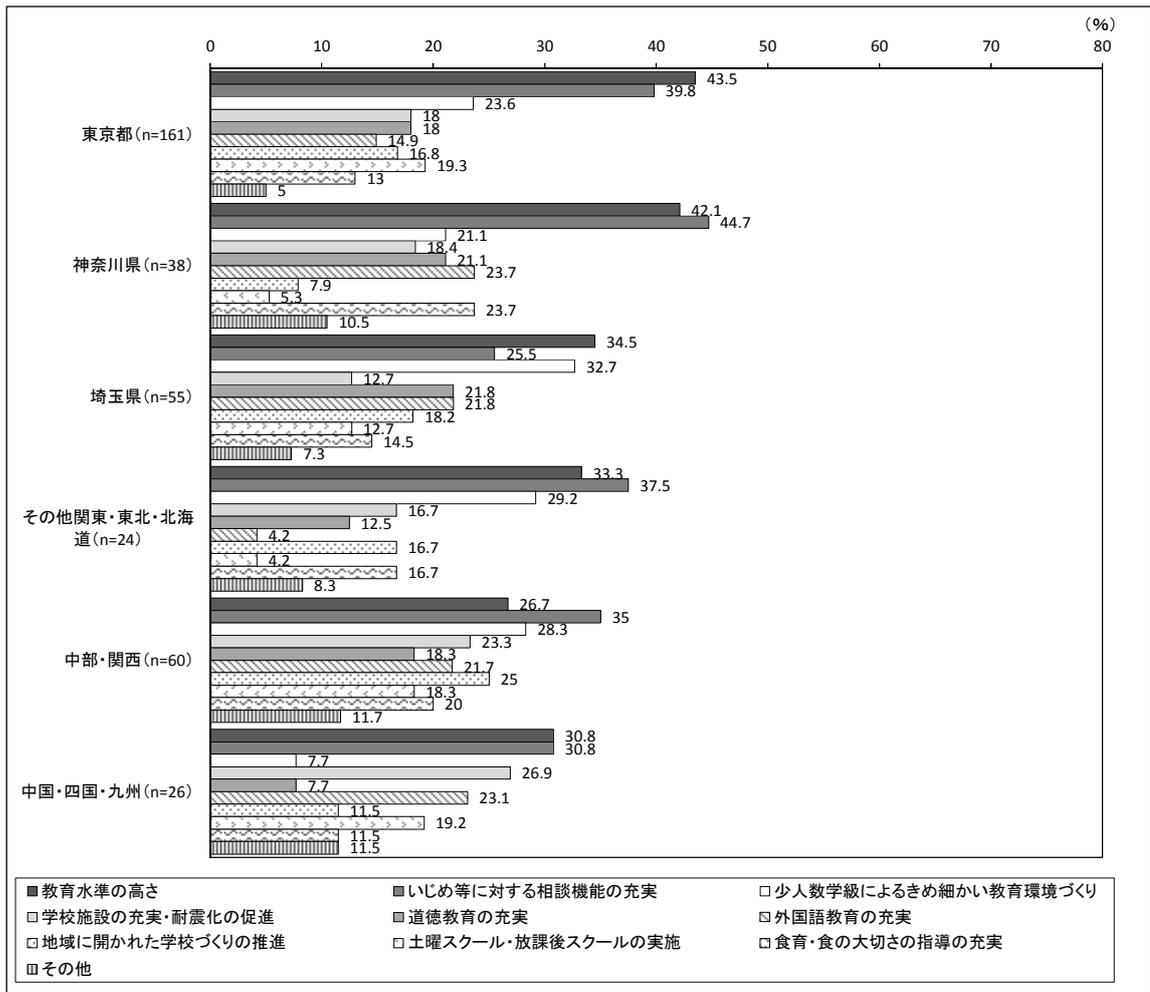
① 年齢別



②子どもの属性別



③現在の居住地別

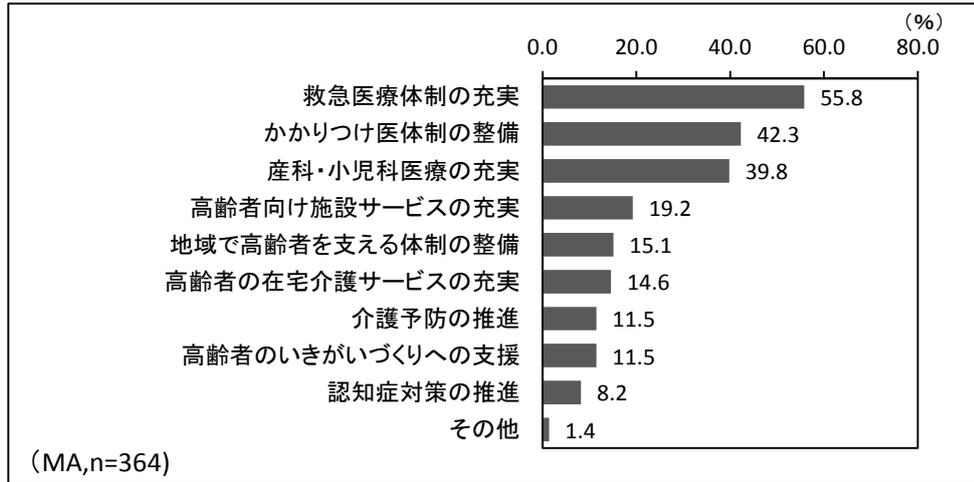


- 20歳代から40歳代が、「教育」に関する取組みを重要と捉えている。
- 東京都、神奈川県在住者は、他の地域よりも「教育」に関する取組みを重視している。

(4) 「医療・高齢者福祉」に関する取組み

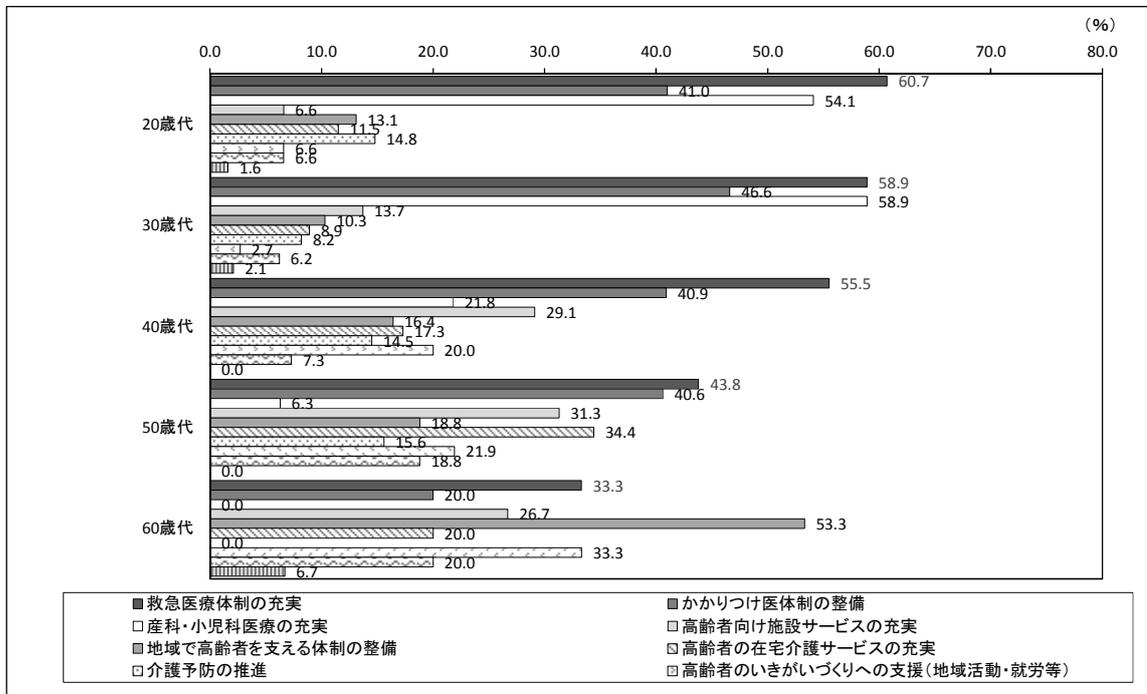
問 以下の「医療・高齢者福祉」に関する自治体の取組みの中で、特に重要と思うものはどれですか。(MA)

⇒「救急医療体制の充実」が55.8%と最も高く、「かかりつけ医体制の整備」が42.3%、「産科・小児科医療の充実」が39.8%と続く。

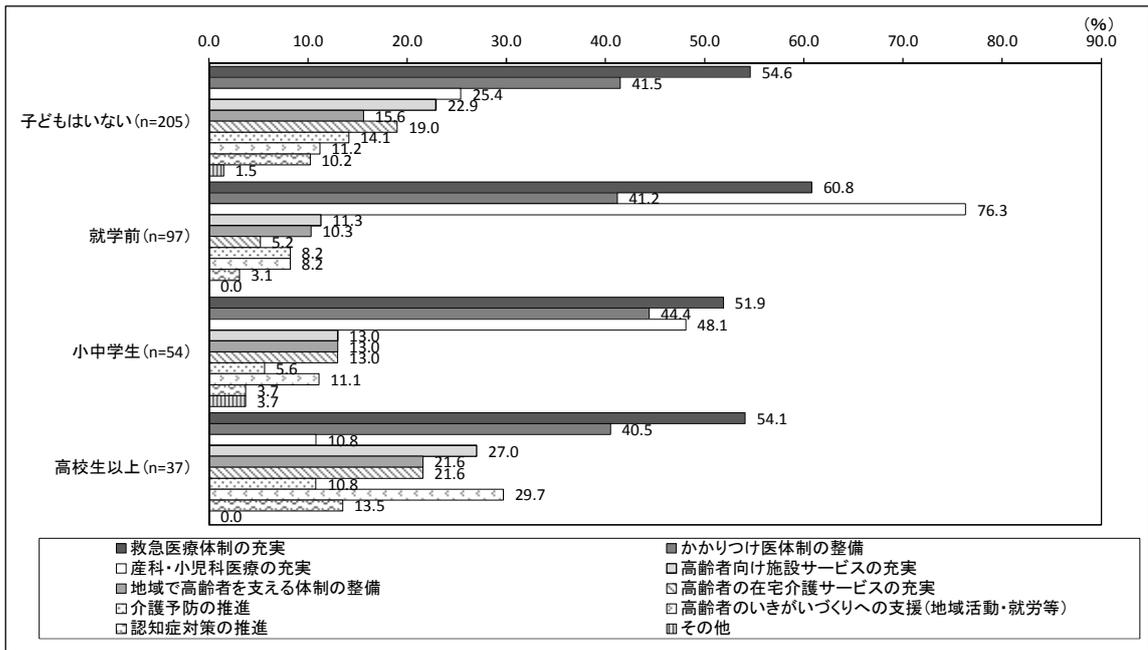


■ 属性別動向

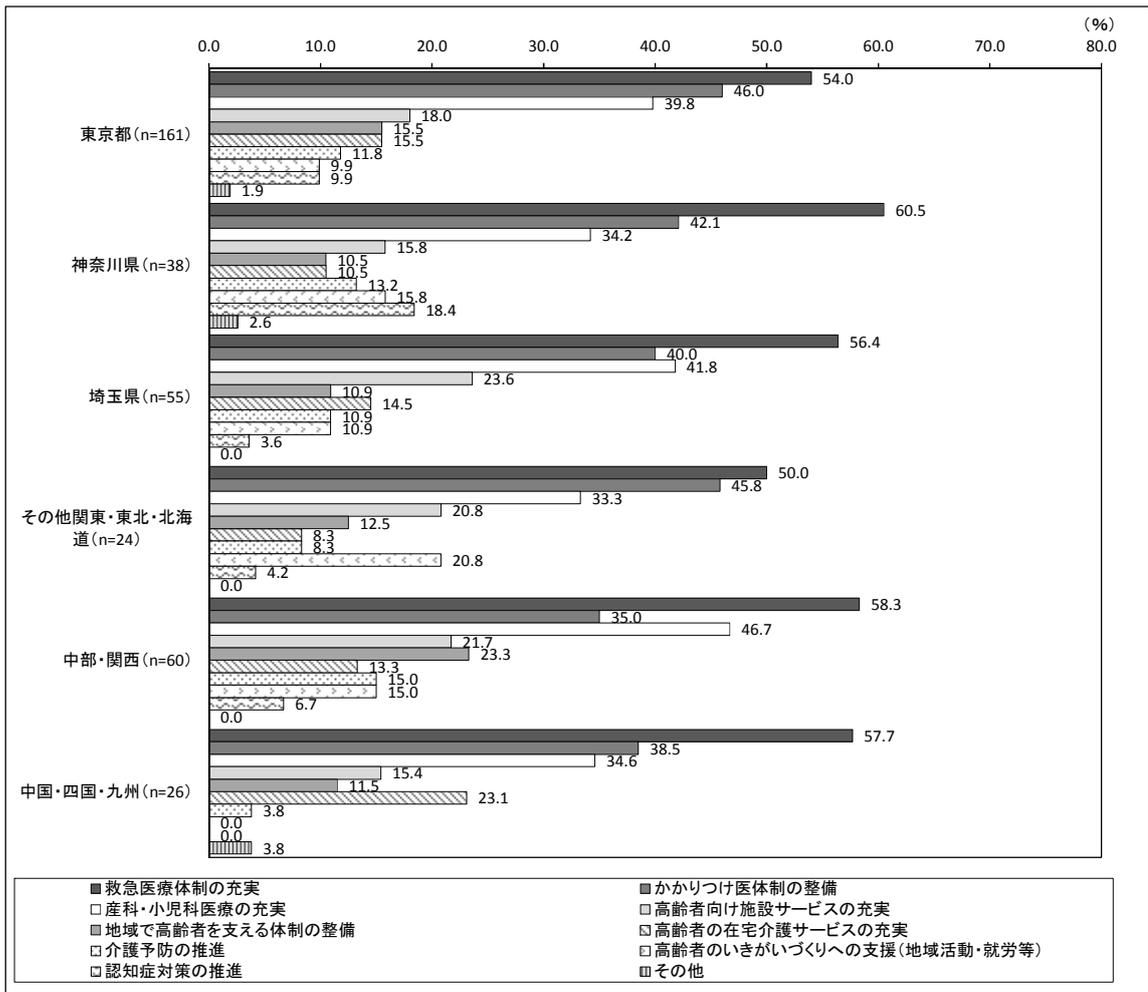
① 年齢別



②子どもの属性別



③現在の居住地別

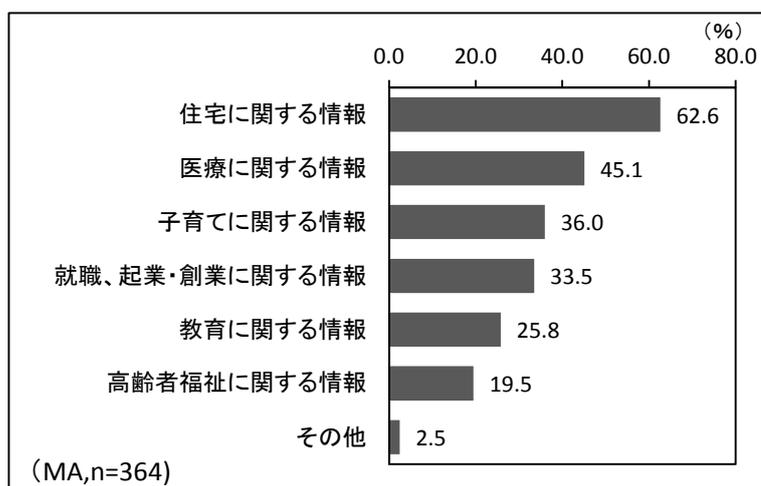


○「救急医療体制の充実」は20歳代から40歳代、「地域で高齢者を支える体制の整備」は60歳代以上において、特に重要な取組みと考えていることがわかる。

(5) 知りたい情報

問 以下の各種情報の中で、知りたい情報は何ですか。(MA)

⇒「住宅に関する情報」が62.6%と最も高く、「医療に関する情報」が45.1%、「子育てに関する情報」が36.0%と続く。



- 属性別動向（59 ページ）を見ると、ほぼすべての属性において「住宅に関する情報」を知りたいと考えていることがわかる。
- 年齢別に見ると、20 歳代、30 歳代は「子育てに関する情報」、40 歳代以上は「医療に関する情報」を求めている。
- 子どもの属性別に見ると、就学前児童や小中学生の子どもを持つ人は、それぞれ子育てや教育に関する情報を知りたいと考えている。
- 転居してふたたび千葉県に住むにあたり生活の糧を得る必要があり、「就職、起業・創業に関する情報」についての関心も高い。現在の居住地別では、その他関東・東北・北海道が 50.0%、神奈川県が 47.4%となっている。

■属性別動向

(単位:%)

		回答数 (n)	住宅に関する情報	医療に関する情報	子育てに関する情報	就職・起業・創業に関する情報	教育に関する情報	高齢者福祉に関する情報
全体		364	62.6	45.1	36.0	33.5	25.8	19.5
年齢	20歳代	61	62.3	29.5	49.2	37.7	27.9	1.6
	30歳代	146	60.3	44.5	52.1	34.2	33.6	15.1
	40歳代	110	66.4	49.1	22.7	35.5	24.5	23.6
	50歳代	32	65.6	56.3	-	31.3	3.1	46.9
	60歳以上	15	53.3	60.0	-	-	-	46.7
就業・就学	フルタイム就業	129	63.6	39.5	34.1	36.4	24.0	16.3
	パートタイム就業	78	60.3	47.4	32.1	41.0	24.4	19.2
	無職・専業主婦・学生	157	63.1	48.4	39.5	27.4	28.0	22.3
家族構成	一人暮らし等	66	75.8	40.9	19.7	39.4	9.1	12.1
	夫婦のみ	119	67.2	52.9	26.1	32.8	15.1	24.4
	二世帯同居(親と子)	162	57.4	42.0	51.9	30.9	38.9	19.8
	三世帯同居(祖父母と親と子)	17	29.4	35.3	17.6	41.2	41.2	11.8
子どもの属性	子どもはいない	205	68.3	48.3	22.9	35.6	13.2	20.0
	就学前	96	58.3	35.4	68.8	32.3	45.8	9.4
	小中学生	46	54.3	45.7	43.5	26.1	58.7	21.7
	高校生以上	22	54.5	54.5	9.1	27.3	18.2	50.0
転居前居住地	千葉市	56	64.3	32.1	37.5	28.6	25.0	23.2
	船橋市	56	64.3	50.0	32.1	21.4	30.4	19.6
	市川市	49	69.4	46.9	28.6	38.8	22.4	20.4
	浦安市	25	72.0	56.0	24.0	40.0	20.0	32.0
	八千代・習志野市	15	26.7	46.7	40.0	13.3	26.7	33.3
	松戸市	41	63.4	43.9	43.9	26.8	24.4	12.2
	柏市	30	53.3	46.7	50.0	33.3	23.3	10.0
	流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷市	31	67.7	41.9	32.3	41.9	25.8	16.1
	印旛ブロック	28	64.3	46.4	46.4	39.3	21.4	21.4
	君津ブロック・市原市	16	62.5	56.3	31.3	56.3	37.5	6.3
	その他	17	52.9	41.2	29.4	52.9	35.3	23.5
	現在の居住地	東京都	161	58.4	44.7	34.8	31.1	24.2
神奈川県		38	63.2	44.7	34.2	47.4	23.7	15.8
埼玉県		55	63.6	38.2	45.5	21.8	23.6	18.2
その他関東・東北・北海道		24	75.0	50.0	41.7	50.0	29.2	16.7
中部・関西		60	68.3	50.0	33.3	31.7	33.3	20.0
中国・四国・九州		26	61.5	46.2	26.9	42.3	23.1	15.4